

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年3月19日
【発行者名】	東京海上アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長澤 和哉
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【事務連絡者氏名】	尾崎 正幸
【電話番号】	03 - 3212 - 8421
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	東京海上セレクション・バランス30 東京海上セレクション・バランス50 東京海上セレクション・バランス70
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	上限 各1兆円
【縦覧に供する場所】	該当なし

第一部【証券情報】

(1)【ファンドの名称】

東京海上セレクション・バランス30
東京海上セレクション・バランス50
東京海上セレクション・バランス70

上記のそれぞれをまたは総称して、以下「当ファンド」または「ファンド」といいます。

「東京海上セレクション・バランス30」は「バランス30」、「東京海上セレクション・バランス50」は「バランス50」、「東京海上セレクション・バランス70」は「バランス70」ということがあります。

(2)【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託の受益権です。

当ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定に基づく投資信託の受益権であり、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社である東京海上アセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」といいます。）は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。なお、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

当初の1口当たり元本は1円です。

委託会社の依頼により、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

(3)【発行（売出）価額の総額】

各1兆円を上限とします。

(4)【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額

基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせください。

委託会社のお問い合わせ先（以下「委託会社サービスデスク」といいます。）

東京海上アセットマネジメント サービスデスク

0120-712-016（営業日の9時~17時）

ホームページ

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

(5)【申込手数料】

無手数料とします。

(6)【申込単位】

申込単位は販売会社が定めます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

収益分配金を再投資する場合は、1口単位とします。

(7)【申込期間】

2026年3月20日から2026年9月18日まで

申込期間は、上記期間満了前に委託会社が有価証券届出書を提出することにより更新されます。

(8)【申込取扱場所】

販売会社の本・支店等で取扱います。ただし、一部取扱いを行わない支店等がある場合がありますので、販売会社の最寄りの本・支店等にお問い合わせください。なお、販売会社については、委託会社サービスデスクにお問い合わせください。

(9)【払込期日】

取得申込者は、申込金（発行価格に取得申込口数を乗じて得た申込時の支払総額をいいます。）を販売会社所定の期日までに販売会社に支払うものとします。

各取得申込日の発行価額の総額は各追加信託が行われる日に、販売会社から、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定する当ファンドの口座に振込まれます。

(10)【払込取扱場所】

申込金は、お申込みの販売会社にお支払いください。

(11)【振替機関に関する事項】

当ファンドの受益権の振替機関は下記の通りです。

株式会社証券保管振替機構

(12)【その他】

該当ありません。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。

基本的性格

当ファンドは、追加型投信 / 内外 / 資産複合に属します。

当ファンドの商品分類表および属性区分表は、以下の通りです。

商品分類表

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型投信	国内	株式
	海外	債券
追加型投信	内外	不動産投信
		その他資産 ()
		資産複合

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル (日本を含む)		
	年2回	日本		
	年4回	北米	ファミリーファン ド	あり ()
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性()	年6回 (隔月)	欧州		
	年12回 (毎月)	アジア		
	日々	オセアニア		
不動産投信		中南米		
その他資産(投資信託証券 (資産複合(株式・債券)資 産配分固定型))(注)	その他 ()	アフリカ	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
		中近東 (中東)		
資産複合() 資産配分固定型 資産配分変更型		エマージング		

(注) 当ファンドは、組入比率を年に1回見直すものとしていますが、機動的に変更を行うものではないため、「資産配分固定型」としていません。

当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。

投資形態が、ファミリーファンドまたはファンド・オブ・ファンズに該当する場合、投資信託証券を通じて投資することとなりますので、商品分類表と属性区分表の投資対象資産が異なります。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

商品分類の定義

単位型・追加型	単位型投信	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいいます。
	追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
投資対象地域	国内	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	海外	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	内外	目論見書または投資信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資対象資産	株式	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	債券	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	不動産投信（リート）	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券および不動産投信以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	目論見書または投資信託約款において、株式、債券、不動産投信およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	一般社団法人投資信託協会の「MMF等の運営に関する規則」に定められるMMFをいいます。
	MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	一般社団法人投資信託協会の「MMF等の運営に関する規則」に定められるMRFをいいます。
	ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいいます。
補足分類	インデックス型	目論見書または投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいいます。
	特殊型	目論見書または投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

商品分類の定義は、一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」をもとに委託会社が作成しております。

属性区分の定義

投資対象資産	株式	一般	次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいいます。
		大型株	目論見書または投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
		中小型株	目論見書または投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
	債券	一般	次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいいます。
		公債	目論見書または投資信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいいます。

	社債	目論見書または投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいいます。	
	その他債券	目論見書または投資信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいいます。	
	格付等クレジットによる属性	目論見書または投資信託約款において、上記債券の「発行体」による区分のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記債券に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記します。	
	不動産投信	目論見書または投資信託約款において、主として不動産投信に投資する旨の記載があるものをいいます。	
	その他資産	目論見書または投資信託約款において、主として株式、債券および不動産投信以外に投資する旨の記載があるものをいいます。	
	資産複合	資産配分固定型	目論見書または投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいいます。
		資産配分変更型	目論見書または投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行う旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないものをいいます。
決算頻度	年1回	目論見書または投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。	
	年2回	目論見書または投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいいます。	
	年4回	目論見書または投資信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいいます。	
	年6回(隔月)	目論見書または投資信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいいます。	
	年12回(毎月)	目論見書または投資信託約款において、年12回(毎月)決算する旨の記載があるものをいいます。	
	日々	目論見書または投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいいます。	
	その他	上記属性にあてはまらない全てのものをいいます。	
投資対象地域	グローバル	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。	
	日本	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。	
	北米	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。	
	欧州	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。	
	アジア	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。	
	オセアニア	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。	
	中南米	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。	
	アフリカ	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。	

	中近東（中東）	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	エマージング	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資形態	ファミリーファンド	目論見書または投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するものをいいます。
	ファンド・オブ・ファンズ	一般社団法人投資信託協会の「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定されるファンド・オブ・ファンズをいいます。
為替ヘッジ	あり	目論見書または投資信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。
	なし	目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。
対象インデックス	日経225	目論見書または投資信託約款において、日経225に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいいます。
	TOPIX	目論見書または投資信託約款において、TOPIXに連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他	上記指数にあてはまらない全てのものをいいます。
特殊型	ブル・ベア型	目論見書または投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動若しくは逆連動（一定倍の連動若しくは逆連動を含む。）を目指す旨の記載があるものをいいます。
	条件付運用型	目論見書または投資信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいいます。
	ロング・ショート型 ／絶対収益追求型	目論見書または投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨若しくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他型	目論見書または投資信託約款において、上記特殊型に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

属性区分の定義は、一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」をもとに委託会社が作成しております。

信託金の限度額

当ファンドの信託金限度額は、信託約款の定めにより各1兆円となっています。ただし、受託会社と合意のうえ、変更することができます。

ファンドの特色

1

主として国内外の複数の資産（日本株式、日本債券、外国株式、外国債券）のマザーファンドおよび短期金融資産へ分散投資し、中長期的な信託財産の成長をめざします。

- ファンドの運用は、ファミリーファンド方式により行います。したがって、実質的な運用は、主にマザーファンドで行うこととなります。
- 各マザーファンドは、それぞれ以下の指数をベンチマークとし、当該ベンチマークを上回る投資成果を目標として運用を行います。

資産	マザーファンド	指数
日本株式	TMA日本株アクティブマザーファンド	TOPIX(配当込み)
日本債券	TMA日本債券マザーファンド	NOMURA-BPI(総合)
外国株式	TMA外国株式マザーファンド	MSCIコクサイ指数 (配当込み、円ヘッジなし・円ベース)
外国債券	TMA外国債券マザーファンド	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

2

資産配分は＜基本資産配分＞を基準に、原則として一定の範囲内（±5%）に変動幅を抑制します。

＜基本資産配分＞

	日本株式	日本債券	外国株式	外国債券	短期金融資産
バランス 30	20%	47%	10%	20%	3%
バランス 50	35%	27%	15%	20%	3%
バランス 70	50%	10%	20%	17%	3%

バランス 30

安定性に成長性を加味し、中長期的な資産の成長をめざします。

バランス 50

安定性と成長性をバランスさせ、中長期的な資産の成長をめざします。

バランス 70

成長性を重視し、中長期的な資産の成長をめざします。

次ページへ続く

資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

3

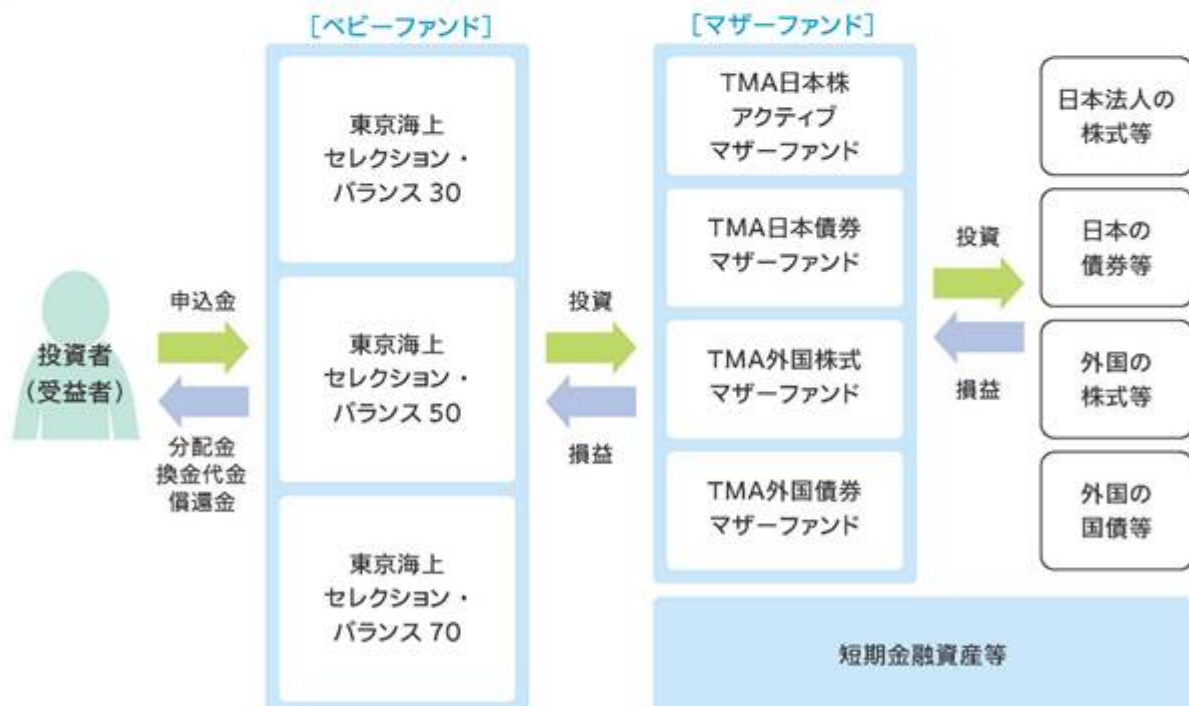
＜基本資産配分＞は、経済見通し、市況動向等の見通し、各資産のリターン予測等に基づいて、原則として年に1回見直し、委託会社が必要と判断した場合には、配分率を変更することがあります。

＜各マザーファンドが対象とする指数について＞

- 配当込みTOPIX(以下「TOPIX(配当込み)」といいます。)は、株式会社J P X総研が算出する株価指数であり、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての可能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。TOPIX(配当込み)の指数値およびTOPIX(配当込み)にかかる標準または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社(以下「J P X」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等TOPIX(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX(配当込み)にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX(配当込み)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。
- NOMURA-BPI(野村ボンド・パフォーマンス・インデックス)(総合)とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下、NFR Cといいます。)が公表する日本の公算債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPIは、NFR Cの知的財産です。NFR Cは、ファンドの運用成績等に関し、一切責任ありません。
- MSCIコクサイ指数とは、MSCI社が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCI社はファンドとは関係なく、ファンドから生じるいかなる責任も負いません。
- FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

ファンドの仕組み

- ファミリーファンド方式により運用を行います。



※「ファミリーファンド方式」とは、受益者の投資資金をベビーファンドとしてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用をマザーファンドにて行う方式です。ベビーファンドがマザーファンドに投資する際に投資コストはかかりません。また、他のベビーファンドが、マザーファンドへ投資することがあります。

次ページへ続く

資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

主な投資制限

バランス 30

株 式	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の45%未満とします。
外貨建資産	外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の45%未満とします。

バランス 50

株 式	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の70%未満とします。
外貨建資産	外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%未満とします。
デリバティブ等	デリバティブ取引等は、投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

バランス 70

株 式	株式への実質投資割合には制限を設けません。
外貨建資産	外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の55%未満とします。
デリバティブ等	デリバティブ取引等は、投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

分配方針

◎年1回決算を行います。

- 6月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として次の方針に基づき分配を行います。分配対象額は、経費控除後の、繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。

《イメージ図》

決算	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
分配												

①上図はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について、示唆・保証するものではありません。実際の分配金額は運用実績に応じて決定されます。

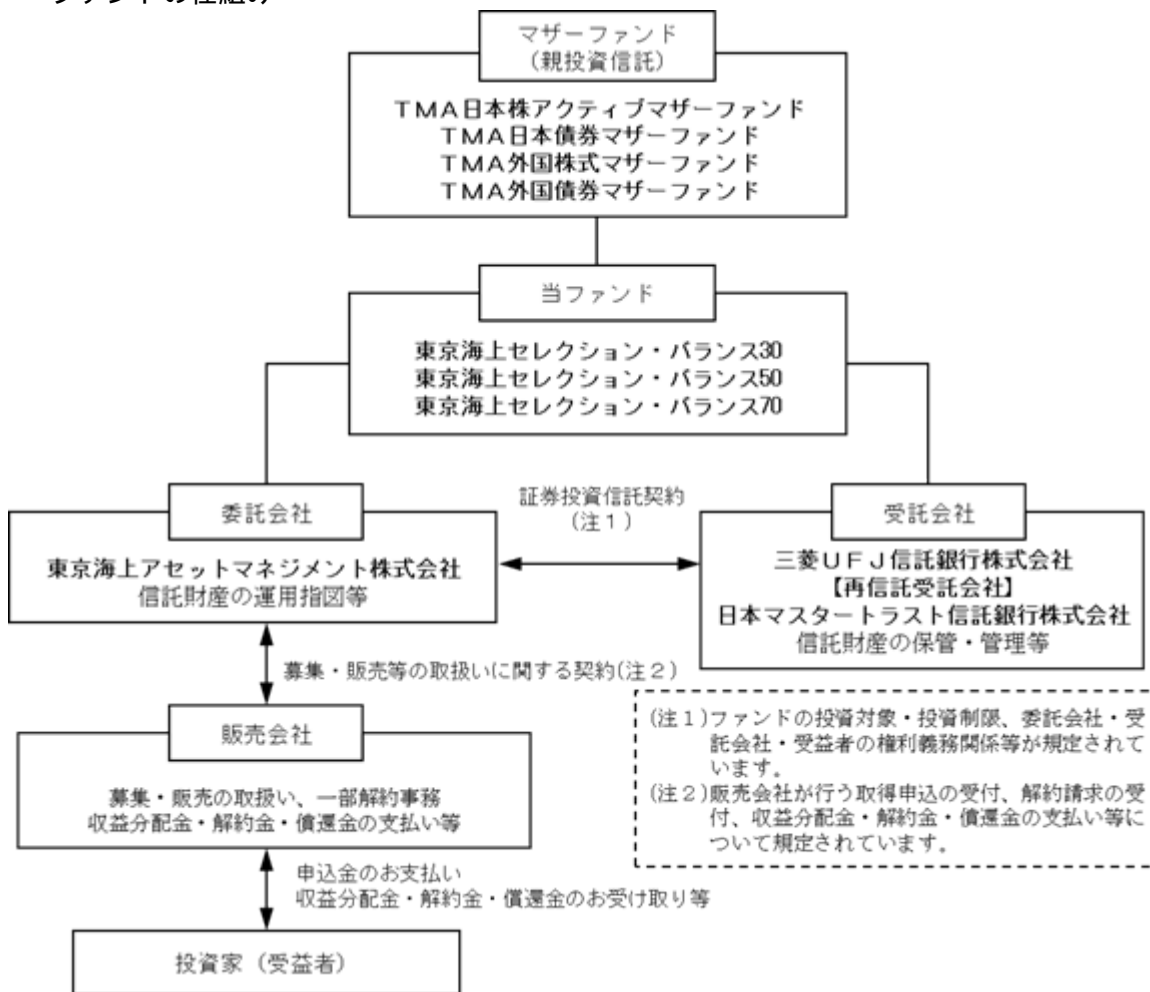
資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(2) 【ファンドの沿革】

2001年9月25日 信託契約締結、ファンドの設定、運用開始

(3) 【ファンドの仕組み】

ファンドの仕組み

**委託会社の概況**

- ・名称 東京海上アセットマネジメント株式会社
- ・資本金の額 20億円（2025年12月末日現在）
- ・会社の沿革

1985年12月 東京海上グループ（現：東京海上日動グループ）等の出資により、資産運用ビジネスの戦略的位置付けで、東京海上エム・シー投資顧問株式会社の社名にて資本金2億円で設立

1987年2月 投資顧問業者として登録

同年6月 投資一任業務認可取得

1991年4月 国内および海外年金の運用受託を開始

1998年5月 東京海上アセットマネジメント投信株式会社に社名変更し、投資信託法上の委託会社としての免許取得

2007年9月 金融商品取引業者として登録

2014年4月 東京海上アセットマネジメント株式会社に社名変更

2016年10月 東京海上不動産投資顧問株式会社と合併

・大株主の状況（2025年12月末日現在）

株主名	住所	所有株数	所有比率
東京海上ホールディングス株式会社	東京都千代田区大手町二丁目6番4号	38,300株	100.0%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

1．基本方針

当ファンドは、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

2．運用方法

(1) 主要投資対象

主として以下のマザーファンド受益証券および短期金融資産に投資します。

TMA日本株アクティブマザーファンド受益証券

TMA日本債券マザーファンド受益証券

TMA外国株式マザーファンド受益証券

TMA外国債券マザーファンド受益証券

(2) 投資態度

主として国内外の複数の資産（日本株式、日本債券、外国株式、外国債券）のマザーファンド受益証券および短期金融資産へ分散投資し、中長期的な信託財産の成長を目指します。

当ファンドの運用は、ファミリーファンド方式により行います。したがって、実質的な運用は、主にマザーファンドで行うこととなります。

資産配分は「基本資産配分」を基準に、原則として一定の範囲内（±5%）に変動幅を抑制します。

「基本資産配分」は、経済見通し、市況動向等の見通し、各資産のリターン予測等に基づいて、原則として年に1回見直し、委託会社が必要と判断した場合には、配分率を変更することがあります。

株式以外の資産（マザーファンド受益証券を通じて投資する場合は、当該マザーファンドの信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）への投資は、原則として信託財産総額の75%以下とします。

実質組入れ外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジは行いません。

ただし、資金動向、市況動向、残存期間等の事情によっては上記のような運用が出来ない場合があります。

<参考情報> マザーファンドの運用の基本方針、主な投資対象と投資制限(要約)

TMA日本株アクティブマザーファンド

1. 基本方針

信託財産の中長期的な成長を目標とし、日本法人の株式に投資します。

TOPIX（配当込み）をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目標とします。

2. 運用方法

(1) 主要投資対象

証券取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場を「取引所」といい、取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行なう市場および当該市場を開設するものを「証券取引所」といいます。（本書において、同じ。）。）に上場あるいは店頭市場に登録している日本法人の株式（これらに準じるものも含まれます。）を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

委託会社が年金運用でつちかしたノウハウを最大限に活用し、以下の方針で臨みます。

投資機会は、社会、経済、企業、技術などの変化の中に生まれてくるものと考えており、これらが証券価格に織り込まれる前にその変化を察知するべく、独自の調査を重視しています。

調査・分析はグローバルな視点から実施し、中長期的な世界的潮流を捉え、それを株式ポートフォリオの全体像、投資アイデアなどに反映しています。

ポートフォリオは、セクター判断（業種配分）と銘柄選択を付加価値の源泉として構築します。

セクター判断は、以下要領で行います。

ベンチマークに採用されている銘柄を委託会社独自の業種区分により分類し、各業種の株価時価総額ウェイトを算出したものをベースとし、以下の判断、要因を勘案の上、業種基準ポートフォリオを決定します。

ファンダメンタルズ、バリュエーション、テクニカルの以下3視点による計量分析に定性的判断を加味します。

- ・業種共通のマクロ指標と各業種ごとのセミマクロ指標によるファンダメンタルズ分析
- ・業種別PER、PBR等によるバリュエーション分析
- ・計量的アプローチを用いたテクニカル分析

構造的（長期的）要因と循環的（短期的）要因を考慮します。

当該企業の成長性と株価の割安度の双方をミックスした委託会社独自の分析システムの活用と、年間1,500件以上の企業訪問などによる徹底した調査・分析を基に行います。

成長性、割安度双方の視点のミックス（GARP：Growth at a Reasonable Price）

- ・成長性 - ROE、経常増益率、利益予想変化 など
- ・割安度 - 株価純資産倍率、株価収益率、キャッシュフロー倍率 など

アナリスト、ファンド・マネージャーによる企業訪問など調査・分析

銘柄選択の着眼点としては、市場動向分析や競合状態分析による「事業環境の予測」およびコスト分析、差異化分析や事業戦略分析による同業他社比較における「競争優位の評価」などが中心となります。

基本的には株式への組入比率を高位に保ちますが、資金動向、市況動向によっては実質株式組入比率の調整を機動的に行います。

有価証券等の価格変動リスクを回避するため、日本において行われる有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。以下同じ。）、有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。以下同じ。）、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場における日本の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引を行うことがあります。また、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（スワップ取引）を行うことがあります。

大量の追加設定または解約が生じたとき、市況の急激な変化が予想されるとき、ならびに信託財産の規模によっては上記のような運用ができない場合があります。

3. 運用制限

- (1) 株式への投資割合には、制限を設けません。
- (2) 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。
- (3) 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。
- (4) 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (5) 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- (6) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- (7) 同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- (8) デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、価格変動および金利変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
- (9) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

TMA日本債券マザーファンド

1. 基本方針

安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目標とし、日本の債券に投資します。
NOMURA - B P I (総合)をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目標とします。

2. 運用方法

(1) 主要投資対象

日本の債券を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

委託会社が年金運用でつちかったノウハウを最大限に活用し、以下の方針で臨みます。

ポートフォリオは、イールド選択(金利選択)、スプレッド選択および銘柄選択を付加価値の源泉として構築します。

イールド選択(金利選択)

金融政策やインフレ指標等の分析から長短金利の方向性を予測し、たとえば金利低下を予測する場合はデュレーションを長期化、金利上昇を予測する場合はデュレーションを短期化する戦略をとります。

*デュレーションとは、金利の変化に対する債券価格の変動性を示す指標です。その値が大きいほど、金利の変化に対して価格の動きが大きいことを意味します。

スプレッド選択

債券の信用度や流動性等の分析によりスプレッド(国債との利回り較差。信用度が低い企業の発行する債券は国債に比べて、より利回りが高い)の妥当性や変化の方向性を見定め、スプレッド縮小を予測する場合は、スプレッド縮小の恩恵を得られる社債等の比率を高めるなどの戦略をとります。

銘柄選択

債券の残存期間と最終利回りの関係を分析し、相対的に高利回りな銘柄を選別します。社債等においては、ファンドマネージャーによる企業訪問で得た情報等を分析し銘柄を選択します。

基本的には債券への組入比率を高位に保ちますが、資金動向、市況動向によっては実質債券組入比率の調整を機動的に行います。

有価証券等の価格変動リスクを回避するため、日本において行われる有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。以下同じ。)、有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。以下同じ。)、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場における日本の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引を行うことがあります。また、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(スワップ取引)を行うことがあります。

大量の追加設定または解約が生じたとき、市況の急激な変化が予想されるとき、ならびに信託財産の規模によっては上記のような運用ができない場合があります。

3. 運用制限

- (1) 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。(ただし、転換社債の転換、新株引受権の行使および新株予約権の行使により取得する場合に限りません。)
- (2) 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。
- (3) 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。
- (4) 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (5) 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (6) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (7) 同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (8) デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、価格変動および金利変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
- (9) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

TMA外国株式マザーファンド

1. 基本方針

信託財産の中長期的な成長を目標とし、外国の株式に投資します。

MSCIコクサイ指数(配当込み、円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目標とします。

2. 運用方法

(1) 主要投資対象

外国の株式を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

委託会社が年金運用でつちかったノウハウを最大限に活用し、以下の方針で臨みます。

投資機会は、社会、経済、企業、技術などの変化の中にも生まれてくるものと考えており、これらが証券価格に織り込まれる前にその変化を察知するべく、独自の調査を重視しています。

調査・分析はグローバルな視点から実施し、中長期的な世界的潮流を把握し、それをポートフォリオの全体像、投資アイデアなどに反映しています。

ポートフォリオは、個別銘柄の調査・分析に基づいた銘柄選択を付加価値の源泉として構築します。

調査対象銘柄の選定

委託会社が独自に開発した業種別銘柄選別モデルを活用し、主にMSCIコクサイ指数の構成銘柄から調査対象銘柄を絞り込みます。

個別銘柄の調査・分析

アナリスト・ファンドマネージャーが企業訪問等による情報収集・分析を行います。

ポートフォリオの構築

個別銘柄の情報・分析をもとに、国別配分・業種配分を勘案してポートフォリオを構築します。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

基本的には株式への組入比率を高位に保ちますが、資金動向、市況動向によっては実質株式組入比率の調整を機動的に行います。

有価証券等の価格変動リスクを回避するため、日本において行われる有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。以下同じ。)、有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。以下同じ。)、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場における日本の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引を行うことがあります。また、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(スワップ取引)を行うことがあります。

大量の追加設定または解約が生じたとき、市況の急激な変化が予想されるとき、ならびに信託財産の規模によっては上記のような運用ができない場合があります。

3. 運用制限

- (1) 株式への投資割合には、制限を設けません。
- (2) 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
- (3) 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。
- (4) 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (5) 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- (6) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- (7) 同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- (8) デリバティブ取引（法人税法第61条の5に定めるものをいいます。）は、価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
- (9) 外国為替予約取引は、為替相場の変動により生じるリスクを減じる目的以外には利用しません。
- (10) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

TMA外国債券マザーファンド

1. 基本方針

信託財産の中長期的な成長を目標とし、主に外国の国債に投資します。

F T S E世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目標とします。

2. 運用方法

(1) 主要投資対象

外国の国債を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

委託会社が年金運用でつちかったノウハウを最大限に活用し、以下の方針で臨みます。

調査・分析はグローバルな視点から実施し、中長期的な世界的潮流を把握し、それをポートフォリオの全体像、投資アイデアなどに反映しています。

ポートフォリオは、国別配分、デュレーション調整、銘柄選択を付加価値の源泉として構築します。

国別配分

各国のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）等を分析することにより金利・為替動向を予測し、それを基に各国債券市場の期待収益率を算出し、期待収益率が高い国の配分を高め、期待収益率が低い国の配分を低める戦略をとります。

デュレーション調整

各国の金融政策やインフレ指標等を分析し、金利低下を予測する国の債券のデュレーションを長期化、金利上昇を予測する国の債券のデュレーションを短期化する戦略をとります。

銘柄選択

国別にデュレーションを決定した後に、債券の残存期間と最終利回りの関係を表す曲線等を分析し、割安な銘柄群から選択します。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

基本的には債券への組入比率を高位に保ちますが、資金動向、市況動向によっては実質債券組入比率の調整を機動的に行います。

有価証券等の価格変動リスクを回避するため、日本において行われる有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。以下同じ。）、有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。以下同じ。）、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場における日本の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引を行うことがあります。また、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（スワップ取引）を行うことがあります。

大量の追加設定または解約が生じたとき、市況の急激な変化が予想されるとき、ならびに信託財産の規模によっては上記のような運用ができない場合があります。

3. 運用制限

- (1) 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。（ただし、転換社債の転換、新株引受権の行使および新株予約権の行使により取得する場合に限りません。）
- (2) 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
- (3) 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。
- (4) 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (5) 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (6) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (7) 同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (8) デリバティブ取引（法人税法第61条の5に定めるものをいいます。）は、価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
- (9) 外国為替予約取引は、為替相場の変動により生じるリスクを減じる目的以外には利用しません。
- (10) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

(2)【投資対象】

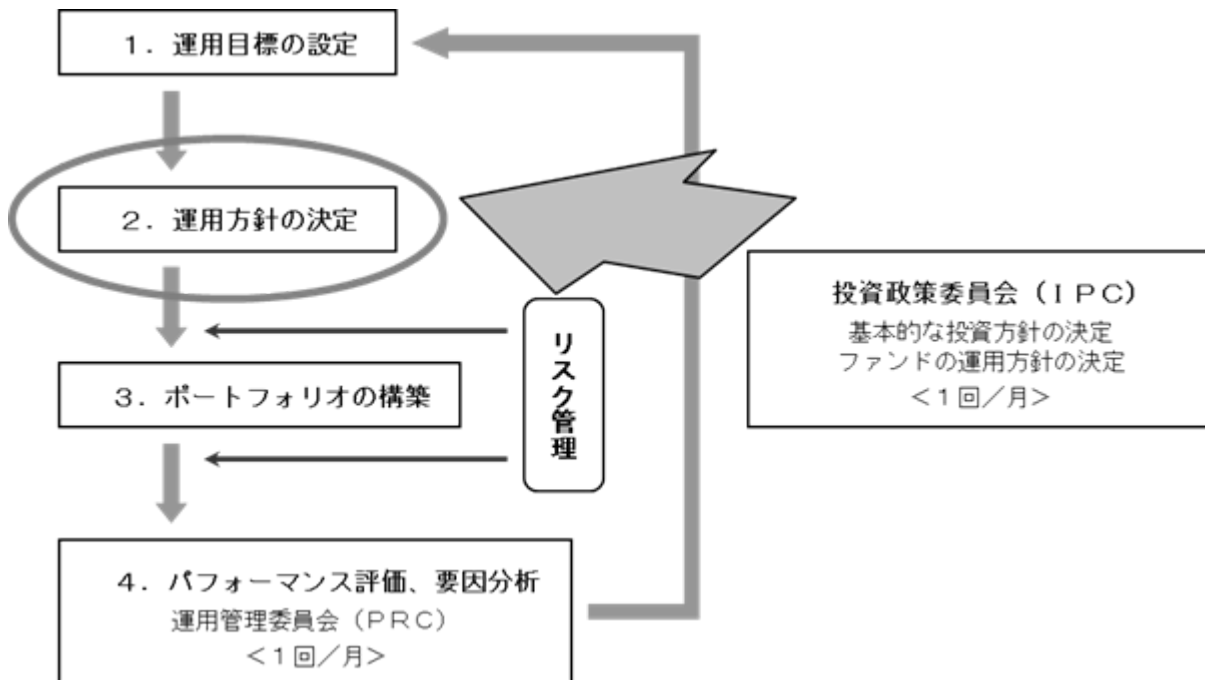
1. 当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。
 - (1) 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条で定めるものをいいます。以下同じ。）
 - 有価証券
 - デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第22条、第23条および第24条に定めるものに限りません。）
 - 金銭債権（ に掲げるものに該当するものを除きます。）
 - 約束手形（金融商品取引法第2条第1項第15号に掲げるものを除きます。）
 - (2) 次に掲げる特定資産以外の資産
為替手形
2. 委託会社は、信託金を、主として東京海上アセットマネジメント株式会社を委託会社とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託会社として締結された「TMA日本株アクティブマザーファンド」、「TMA日本債券マザーファンド」、「TMA外国株式マザーファンド」および「TMA外国債券マザーファンド」の受益証券および次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。
 - (1) 株券または新株引受権証券
 - (2) 国債証券
 - (3) 地方債証券
 - (4) 特別の法律により法人の発行する債券
 - (5) 社債券（新株引受権証券と社債券が一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）
 - (6) 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
 - (7) 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
 - (8) 協同組織金融機関にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
 - (9) 特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
 - (10) コマーシャル・ペーパー
 - (11) 新株引受権証券（新株引受権証券と社債券が一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。）および新株予約権証券
 - (12) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、上記(1)から(11)までの証券または証書の性質を有するもの
 - (13) 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
 - (14) 投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
 - (15) 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
 - (16) オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限りません。）
 - (17) 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
 - (18) 外国法人が発行する譲渡性預金証書
 - (19) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限りません。）
 - (20) 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
 - (21) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
 - (22) 外国の者に対する権利で上記(21)の有価証券の性質を有するものなお、(1)の証券または証書、(12)および(17)の証券または証書のうち(1)の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、(2)から(6)までの証券、(12)および(17)の証券または証書のうち(2)から(6)までの証券の性質を有するものならびに(14)の投資法人債券を以下「公社債」といい、(13)の証券および(14)の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。
3. 委託会社は、信託金を、上記2. に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。
 - (1) 預金

- (2) 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
- (3) コール・ローン
- (4) 手形割引市場において売買される手形
- (5) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
- (6) 外国の者に対する権利で上記(5)の権利の性質を有するもの

4. 上記2.の規定にかかわらず、当ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときは、委託会社は、信託金を、上記3.に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

(3) 【運用体制】

当ファンドの運用体制は以下の通りです。



ファンドの運用に関する社内規則として「投資運用業に係る業務運営規程」を設けております。

運用におけるリスク管理は、運用リスク管理部門（10名程度）による法令・運用ガイドライン等の遵守状況のチェックや運用リスク項目のチェック等が随時実施され、担当運用部へフィードバックされるとともに、原則として月1回開催される運用管理委員会（運用リスク管理部門担当役員を委員長に、運用・営業・商品企画などファンド運用に関係する各部長が参加）において投資行動の評価が行われます。（リスク管理についての詳細は、「3 投資リスク」の「3.管理体制」をご参照ください）

この運用管理委員会での評価もふまえて、投資政策委員会（運用本部長を委員長とし、各運用部長が参加）において運用方針を決定し、より質の高い運用体制の維持・向上を目指します。

また、受託銀行等の管理については、関連部署において、受託銀行業務等に関する「内部統制の整備及び運用状況報告書」の入手・検証、現地モニタリング等を通じて実施しております。

（上記の体制や人員等については、2025年12月末日現在）

(4) 【分配方針】

毎決算時に、原則として次の方針に基づき分配を行います。

分配対象額は、経費控除後の、繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(5) 【投資制限】

運用の基本方針に基づく制限（約款別紙「運用の基本方針」）

a. 「東京海上セレクション・バランス30」

委託会社は、信託財産に属する株式の時価総額とマザーファンドに属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額の合計額が、信託財産の純資産総額の100分の45以上となる投資の指図をしません。

「東京海上セレクション・バランス50」

委託会社は、信託財産に属する株式の時価総額とマザーファンドに属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額の合計額が、信託財産の純資産総額の100分の70以上となる投資の指図をしません。

「東京海上セレクション・バランス70」

株式への実質投資割合には、制限を設けません。

信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。(以下同じ。)

b. 「東京海上セレクション・バランス30」

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産の時価総額とマザーファンドに属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額の合計額が、信託財産の純資産総額の100分の45以上となる投資の指図をしません。

「東京海上セレクション・バランス50」

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産の時価総額とマザーファンドに属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額の合計額が、信託財産の純資産総額の100分の50以上となる投資の指図をしません。

「東京海上セレクション・バランス70」

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産の時価総額とマザーファンドに属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額の合計額が、信託財産の純資産総額の100分の55以上となる投資の指図をしません。

c. 委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドに属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額の合計額が、信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。

d. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券(マザーファンド受益証券を除きます。)の時価総額とマザーファンドに属する投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額の合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

e. 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額とマザーファンドに属する当該同一銘柄の株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

f. 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドに属する当該同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

g. 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の転換社債ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの(会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。)の時価総額とマザーファンドに属する当該同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

h. 「東京海上セレクション・バランス50」、「東京海上セレクション・バランス70」

デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。

i. 「東京海上セレクション・バランス50」、「東京海上セレクション・バランス70」

外国為替予約取引は、為替相場の変動により生じるリスクを減じる目的以外には利用しません。

投資する株式等の範囲(約款)

a. 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、証券取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものおよび証券取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。

b. 上記a.の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託会社が投資することを指図することができるものとします。

信用取引(約款)

a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡または買戻により行うことの指図をすることができます。

- b. 上記a.の信用取引の指図は、当該売付にかかる建玉の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該売付にかかる建玉の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により、上記b.の売付にかかる建玉の時価総額の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。

先物取引等(約款)

- a. 委託会社は、日本国内の証券取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。本書において同じ。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。本書において同じ。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。本書において同じ。)ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします(以下同じ。)
- b. 委託会社は、日本国内の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行うことの指図をすることができます。
- c. 委託会社は、日本国内の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

スワップ取引(約款)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行うことの指図をすることができます。
- b. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c. スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行うものとします。
- d. 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入が必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入の指図を行うものとします。

金利先渡取引および為替先渡取引(約款)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- b. 金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c. 金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で行うものとします。
- d. 委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入が必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入の指図を行うものとします。

デリバティブ取引等に係る投資制限(約款)

デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところにしたがい、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。

有価証券の貸付(約款)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸付の指図をすることができます。
- ・株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 - ・公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- b. 上記a.に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- c. 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入の指図を行うものとします。

公社債の空売(約款)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、公社債(信託財産において借入れた公社債を含みます。)の引渡または買戻により行うことの指図をすることができるものとします。
- b. 上記a.の売付の指図は、当該売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。

- c. 信託財産の一部解約等の事由により、上記b.の売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。

公社債の借入(約款)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入の指図をすることができます。なお、当該公社債の借入を行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- b. 上記a.の借入の指図は、当該借入にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内で行えるものとします。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により上記b.の借入にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- d. 上記a.の借入にかかる品借料は信託財産中から支弁します。

特別な場合の外貨建有価証券への投資制限(約款)

外貨建有価証券への投資については、日本の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

外国為替予約取引(約款)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- b. 上記a.の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産(マザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額を含みます。)の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により上記b.の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内にその超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

信用リスク集中回避のための投資制限(約款)

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

資金の借入(約款)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- b. 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。
- c. 収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- d. 借入金の利息は信託財産中から支弁します。

3【投資リスク】

1. 投資リスク

以下の記載は、当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドを組み入れることにより、当ファンドが間接的に受ける実質的なリスクを含みます。

基準価額の変動要因

- ・投資する有価証券等の値動きにより基準価額は変動します。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。
- ・運用による損益は、全て投資者に帰属します。
- ・投資信託は預貯金や保険と異なります。
- ・当ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定されます。

価格変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります（発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。）。組入銘柄の株価が大きく下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。

金利変動リスク

公社債は、一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、反対に金利が下落した場合には価格は上昇します。したがって、金利が上昇した場合、当ファンドの基準価額の下落要因となります。

信用リスク

一般に公社債や短期金融商品等の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合、またはデフォルトが予想される場合には、当該公社債等の価格は大幅に下落することになります。したがって、当ファンドの組入公社債等にデフォルトが生じた場合、またデフォルトが予想される場合には、当ファンドの基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動の他、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向にすすんだ場合には、基準価額が下落する要因となります。

カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

流動性リスク

受益者から短期間に相当金額の解約申込があった場合、ファンドは組入資産を売却することで解約金額の手当てを行います。組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。これに伴い基準価額が大きく下落することがあります。

2. その他の留意事項

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当ファンドは、大量の解約申込が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額が下落する可能性や、換金のお申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等による売買等が発生した場合等には、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全額が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

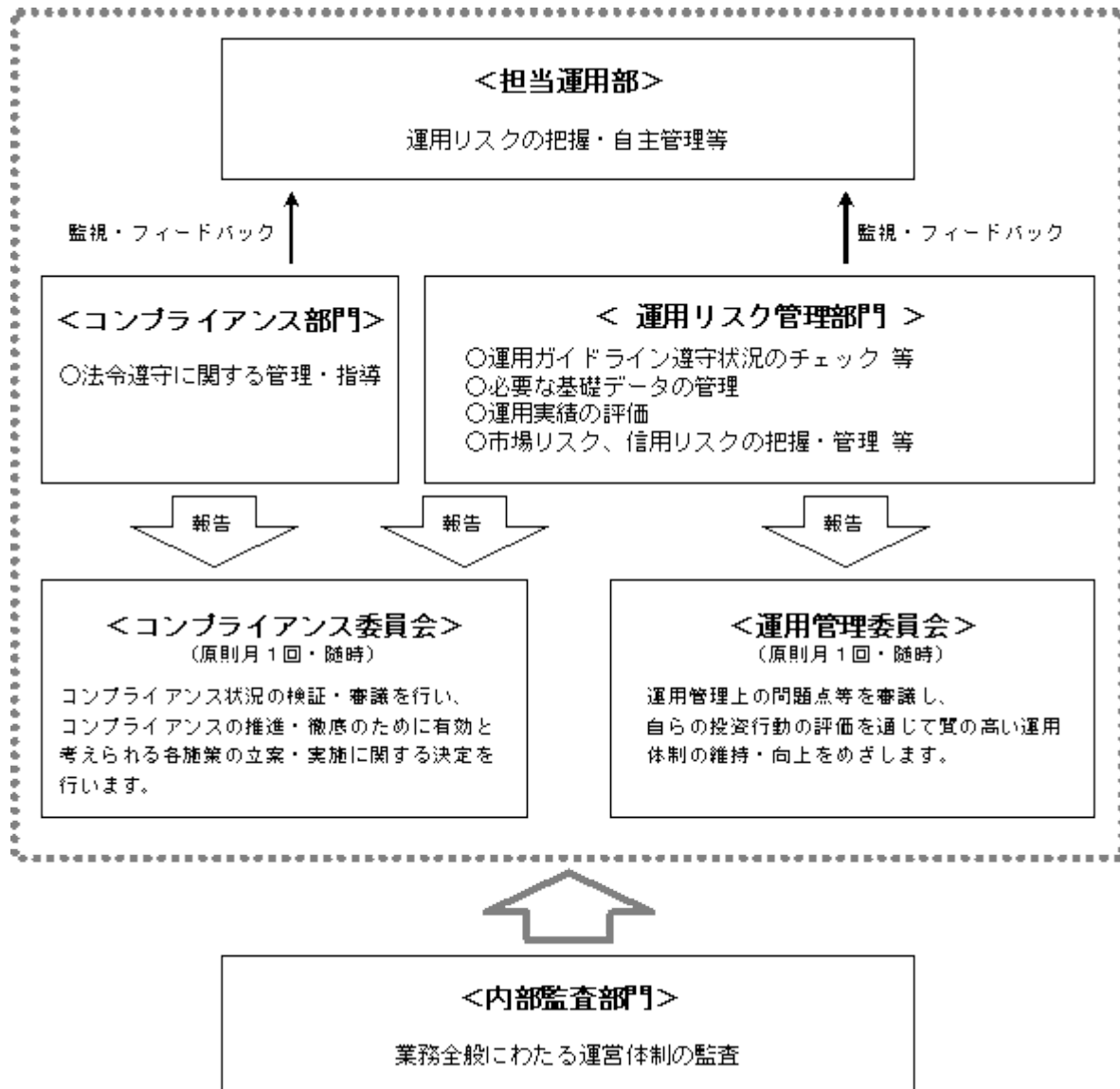
3. 管理体制

<リスク管理体制>

委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。

法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。

これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。



<流動性リスク管理>

委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。

取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

参考情報

2021年1月～2025年12月

ファンドの年間騰落率および
分配金再投資基準価額の推移

過去5年間の各月末における分配金再投資基準価額と直近1年間の騰落率を表示したものです。

バランス 30

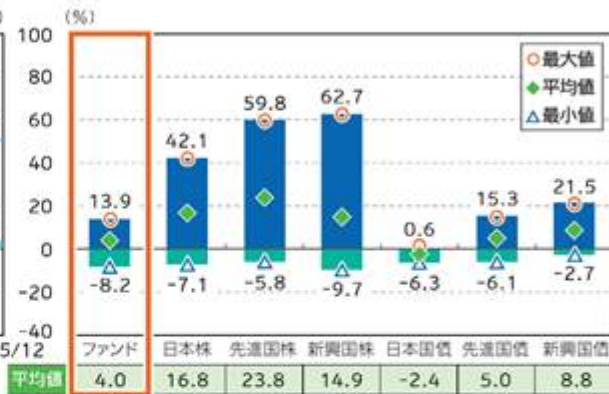


※分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものとして計算した基準価額であり、実際の基準価額とは異なる場合があります。

※年間騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

ファンドと代表的な資産クラスとの
騰落率の比較

ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。



※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドは分配金再投資基準価額の年間騰落率です。税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

バランス 50



※分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものとして計算した基準価額であり、実際の基準価額とは異なる場合があります。

※年間騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。



※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドは分配金再投資基準価額の年間騰落率です。税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

次ページへ続く

上記は過去の実績であり、将来の動向等を示唆・保証するものではありません。

バランス 70



※分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算した基準価額であり、実際の基準価額とは異なる場合があります。

※年間騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しているため、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドは分配金再投資基準価額の年間騰落率です。税引前分配金を再投資したものと計算しているため、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

代表的な資産クラスと指数名

日本株	TOPIX (東証株価指数) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ指数 (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

指数について

●TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる商標または商標は、株式会社J P X 編研または株式会社J P X 編研の関連会社（以下、J P X といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等TOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる商標または商標に関するすべての権利はJ P X が有します。J P X は、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。ファンドは、J P X により提供、保証または販売されるものではなく、ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P X は責任を負いません。●MSCIコクサイ指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCI社はファンドとは関係なく、ファンドから生じるいかなる責任も負いません。●MSCIエマージング・マーケット・インデックスの著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCI社はファンドとは関係なく、ファンドから生じるいかなる責任も負いません。●NOMURA-BPI (国債)に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。●FTSE世界国債インデックスは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

上記は過去の実績であり、将来の動向等を示唆・保証するものではありません。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

無手数料とします。

(2)【換金（解約）手数料】

換金（解約）手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

(3)【信託報酬等】

委託会社、販売会社および受託会社の信託報酬の総額は信託財産の純資産総額に対し、所定の信託報酬率を乗じて得た金額とし、計算期間を通じて、毎日計上します。

の信託報酬（消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）に相当する金額を含みます。）は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬率およびその配分については以下の通りとします。

	信託報酬率	委託会社 ^{*1} (税抜)	販売会社 ^{*2} (税抜)	受託会社 ^{*3} (税抜)
東京海上セレクション ・バランス30	年率0.9273% (税抜0.843%)	年率0.38%	年率0.39%	年率0.073%
東京海上セレクション ・バランス50	年率1.1363% (税抜1.033%)	年率0.47%	年率0.49%	年率0.073%
東京海上セレクション ・バランス70	年率1.3453% (税抜1.223%)	年率0.56%	年率0.59%	年率0.073%

*1 委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価

*2 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価

*3 運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価

(4)【その他の手数料等】

信託財産の財務諸表の監査に要する費用（消費税等相当額を含みます。）は、監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用であり、毎日、純資産総額に対し、年率0.0055%（税抜0.005%）を乗じて得た金額（ただし、年49.5万円（税抜45万円）の1日分相当額を上限とします。）を計上し、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託財産に関する租税および信託事務等に要する諸費用ならびに受託会社の立替えた立替金の利息は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

ファンドの組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額を含みます。）、先物・オプション取引に要する費用、外国における資産の保管等に要する費用等は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産の一部解約に伴う支払資金の手当て、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行った場合、借入金の利息は受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

監査費用を除くその他の手数料等については実際の取引等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

上記(1)から(4)の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

(5)【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として以下のような取扱いとなります。なお、税法が改正された場合は、以下の内容が変更になることがあります。また、以下は一般的な記載に過ぎませんので、課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認ください。

< 個人の受益者に対する課税 >

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として課税され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315% および地方税5%）の税率による源泉徴収が行われます。申告不要制度の適用がありますが、総合課税または申告分離課税を選択することも可能です。いずれの場合も配当控除の適用はありません。申告分離課税を選択した場合の税率は、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。収益分配金のうち課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）（1）は課税されません。

2037年12月31日までの間、復興特別所得税（所得税15%×2.1%）が付加されます。

解約時および償還時の差益（解約時および償還時の価額から取得費（申込手数料（税込）を含む）を控除した差額）は、その全額が譲渡所得等の金額とみなされ課税対象となります。譲渡所得等については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます（特定口座（源泉徴収選択口座）での取扱いも可能です。）。

普通分配金（申告分離課税を選択したものに限り、）ならびに解約時および償還時の損益については、確定申告により、上場株式等（特定公社債および公募公社債投信を含みます。）の利子所得および配当所得（申告分離課税を選択したものに限り、）ならびに譲渡所得等との間で損益通算を行うことができます。

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入する等、一定の条件に該当する方が対象となります。

「東京海上セレクション・バランス50」、「東京海上セレクション・バランス70」は、「NISA」の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

「東京海上セレクション・バランス30」は、「NISA」の対象ではありません。

外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記とは異なる場合があります。

< 法人の受益者に対する課税 >

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の「各受益者の個別元本」（2）超過額については、15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）の税率による源泉徴収が行われます。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）（1）は課税されません。

なお、益金不算入制度の適用はありません。

< 確定拠出年金に対する課税 >

受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および連合会等の場合は、収益分配金および解約時・償還時の「各受益者の個別元本」（2）超過額に対する所得税、復興特別所得税および地方税はかかりません。また、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。

（1）「元本払戻金（特別分配金）」とは、収益分配金落ち後の基準価額が各受益者の個別元本を下回る場合、収益分配金のうち当該下回る部分に相当する額をさし、元本の一部払戻しに相当するものです。この場合、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

（2）「各受益者の個別元本」とは、原則として、各受益者の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）をいい、追加信託のつど当該口数により加重平均され、元本払戻金（特別分配金）が支払われた際に調整されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数の支店等で同一ファンドを取得する場合は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

* 上記は、2025年12月末現在のもので、税法が改正された場合等には、内容等が変更される場合があります。

(参考情報) ファンドの総経費率

直近の運用報告書作成対象期間(以下「当期間」といいます。)(2024年6月21日~2025年6月20日)におけるファンドの総経費率は以下の通りです。

	総経費率(①+②)	①運用管理費用の比率	②その他費用の比率
バランス30	0.94%	0.93%	0.01%
バランス50	1.15%	1.14%	0.01%
バランス70	1.36%	1.35%	0.01%

(比率は年率、表示桁数未満を四捨五入)

※当期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。消費税等のかかるものは消費税等を含む。)を当期間の平均受益権口数に当期間の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した値です。

※入手し得る情報において計算に含まれていない費用はありません。

※これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

※詳細につきましては、当期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。

5【運用状況】

以下は2025年12月30日現在の運用状況です。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)【投資状況】

東京海上セレクション・バランス30

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	16,962,902,260	97.01
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		522,791,973	2.98
合計（純資産総額）		17,485,694,233	100.00

東京海上セレクション・バランス50

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	44,781,426,885	97.02
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		1,375,280,491	2.97
合計（純資産総額）		46,156,707,376	100.00

東京海上セレクション・バランス70

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	37,247,749,379	97.02
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		1,140,423,610	2.97
合計（純資産総額）		38,388,172,989	100.00

（ご参考：親投資信託の投資状況）

東京海上セレクション・バランス30、東京海上セレクション・バランス50、東京海上セレクション・バランス70が主要投資対象とする親投資信託の投資状況は以下の通りです。

TMA日本株アクティブマザーファンド

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	131,926,559,530	99.32
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		901,328,228	0.67
合計（純資産総額）		132,827,887,758	100.00

TMA日本債券マザーファンド

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	51,627,279,570	66.49
社債券	日本	25,430,092,862	32.75
	フィンランド	298,818,000	0.38
	小計	25,728,910,862	33.14
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		278,924,473	0.35
合計（純資産総額）		77,635,114,905	100.00

TMA外国株式マザーファンド

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	79,510,375,133	79.80
	カナダ	1,684,356,461	1.69
	ドイツ	299,468,416	0.30
	イタリア	237,267,806	0.23

	フランス	4,216,716,147	4.23
	オーストラリア	538,298,627	0.54
	イギリス	3,221,759,939	3.23
	スイス	2,742,540,736	2.75
	オランダ	2,414,839,802	2.42
	スペイン	236,513,823	0.23
	スウェーデン	768,487,404	0.77
	ノルウェー	939,619,824	0.94
	デンマーク	806,460,339	0.80
	アイルランド	644,872,518	0.64
	キュラソー	59,336,240	0.05
	小計	98,320,913,215	98.68
	コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）	1,311,409,786	1.31
	合計（純資産総額）	99,632,323,001	100.00

T M A 外国債券マザーファンド

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	18,256,020,637	45.39
	カナダ	838,699,578	2.08
	ドイツ	1,481,749,064	3.68
	イタリア	3,388,883,264	8.42
	フランス	2,959,464,407	7.35
	オーストラリア	922,062,022	2.29
	イギリス	3,675,327,713	9.13
	オランダ	346,667,141	0.86
	スペイン	1,815,833,311	4.51
	ベルギー	624,990,114	1.55
	オーストリア	366,354,151	0.91
	メキシコ	1,074,422,845	2.67
	中華人民共和国	3,894,202,174	9.68
	小計	39,644,676,421	98.57
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		574,451,112	1.42
合計（純資産総額）		40,219,127,533	100.00

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a. 主要銘柄の明細

東京海上セレクション・バランス30

順位	銘柄名	地域	種類	口数	帳簿価額		評価額		投資比率（％）
					単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	T M A 日本債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	6,613,069,972	1.2660	8,372,600,678	1.2353	8,169,125,336	46.71
2	T M A 外国債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	1,074,194,895	2.9604	3,180,064,497	3.2856	3,529,374,747	20.18
3	T M A 日本株アクティブマザーファンド	日本	親投資信託受益証券	894,572,772	3.1714	2,837,087,554	3.8964	3,485,613,348	19.93

4	TMA外国株式マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	202,812,673	7.3527	1,491,240,062	8.7706	1,778,788,829	10.17
---	----------------	----	-----------	-------------	--------	---------------	--------	---------------	-------

東京海上セレクション・バランス50

順位	銘柄名	地域	種類	口数	帳簿価額		評価額		投資比率(%)
					単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	TMA日本株アクティブマザーファンド	日本	親投資信託受益証券	4,126,234,276	3.1670	13,067,929,054	3.8964	16,077,459,233	34.83
2	TMA日本債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	10,013,066,560	1.2655	12,672,275,026	1.2353	12,369,141,121	26.79
3	TMA外国債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	2,831,256,025	2.9619	8,386,088,146	3.2856	9,302,374,795	20.15
4	TMA外国株式マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	801,821,054	7.3484	5,892,172,084	8.7706	7,032,451,736	15.23

東京海上セレクション・バランス70

順位	銘柄名	地域	種類	口数	帳簿価額		評価額		投資比率(%)
					単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	TMA日本株アクティブマザーファンド	日本	親投資信託受益証券	4,897,297,768	3.1707	15,528,062,883	3.8964	19,081,831,023	49.70
2	TMA外国株式マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	888,230,604	7.3651	6,541,987,475	8.7706	7,790,315,335	20.29
3	TMA外国債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	1,999,468,261	2.9671	5,932,755,816	3.2856	6,569,452,918	17.11
4	TMA日本債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	3,081,154,459	1.2652	3,898,503,768	1.2353	3,806,150,103	9.91

b. 投資有価証券の種類

東京海上セレクション・バランス30

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	97.01
合計	97.01

東京海上セレクション・バランス50

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	97.02
合計	97.02

東京海上セレクション・バランス70

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	97.02
合計	97.02

【投資不動産物件】

東京海上セレクション・バランス30

該当事項はありません。

東京海上セレクション・バランス50

該当事項はありません。

東京海上セレクション・バランス70

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

東京海上セレクション・バランス30

該当事項はありません。

東京海上セレクション・バランス50

該当事項はありません。

東京海上セレクション・バランス70

該当事項はありません。

（ご参考：親投資信託の投資資産）

投資有価証券の主要銘柄

a. 主要銘柄の明細

TMA日本株アクティブマザーファンド

順位	銘柄名	地域	業種	種類	株式数	帳簿価額		評価額		投資比率(%)
						単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	ソニーグループ	日本	電気機器	株式	1,715,500	3,006.13	5,157,028,042	4,024.00	6,903,172,000	5.19
2	トヨタ自動車	日本	輸送用機器	株式	1,793,200	2,844.28	5,100,373,221	3,356.00	6,017,979,200	4.53
3	三井住友フィナンシャルグループ	日本	銀行業	株式	1,041,400	4,198.55	4,372,374,333	5,041.00	5,249,697,400	3.95
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	銀行業	株式	1,977,100	2,245.66	4,439,895,739	2,493.00	4,928,910,300	3.71
5	三菱電機	日本	電気機器	株式	1,035,600	3,342.21	3,461,200,021	4,585.00	4,748,226,000	3.57
6	ソフトバンクグループ	日本	情報・通信業	株式	1,046,400	1,998.21	2,090,927,183	4,400.00	4,604,160,000	3.46
7	日本電気	日本	電気機器	株式	702,900	3,142.80	2,209,080,113	5,310.00	3,732,399,000	2.80
8	第一生命ホールディングス	日本	保険業	株式	2,699,100	1,121.95	3,028,260,862	1,303.50	3,518,276,850	2.64
9	村田製作所	日本	電気機器	株式	1,065,200	2,635.21	2,807,026,135	3,246.00	3,457,639,200	2.60
10	ルネサスエレクトロニクス	日本	電気機器	株式	1,551,500	2,233.10	3,464,664,622	2,140.00	3,320,210,000	2.49

11	リクルートホールディングス	日本	サービス業	株式	356,700	8,420.70	3,003,666,897	8,847.00	3,155,724,900	2.37
12	信越化学工業	日本	化学	株式	621,000	4,471.20	2,776,616,682	4,873.00	3,026,133,000	2.27
13	第一三共	日本	医薬品	株式	888,500	3,700.85	3,288,208,520	3,348.00	2,974,698,000	2.23
14	富士通	日本	電気機器	株式	645,400	3,031.10	1,956,274,131	4,329.00	2,793,936,600	2.10
15	アドバンテスト	日本	電気機器	株式	133,900	8,348.06	1,117,806,186	19,635.00	2,629,126,500	1.97
16	大成建設	日本	建設業	株式	177,200	14,362.64	2,545,060,219	14,835.00	2,628,762,000	1.97
17	三菱重工業	日本	機械	株式	683,300	3,086.18	2,108,792,517	3,840.00	2,623,872,000	1.97
18	中外製薬	日本	医薬品	株式	315,800	7,298.50	2,304,868,340	8,243.00	2,603,139,400	1.95
19	任天堂	日本	その他製品	株式	243,200	10,897.11	2,650,177,678	10,595.00	2,576,704,000	1.93
20	N T T	日本	情報・通信業	株式	15,635,600	157.93	2,469,333,451	157.70	2,465,734,120	1.85
21	三井物産	日本	卸売業	株式	480,100	3,257.17	1,563,769,632	4,643.00	2,229,104,300	1.67
22	東京エレクトロン	日本	電気機器	株式	64,600	33,444.00	2,160,482,845	34,320.00	2,217,072,000	1.66
23	オリックス	日本	その他金融業	株式	485,600	3,763.13	1,827,378,949	4,554.00	2,211,422,400	1.66
24	パンダイナムコホールディングス	日本	その他製品	株式	490,900	5,234.46	2,569,597,204	4,172.00	2,048,034,800	1.54
25	エムスリー	日本	サービス業	株式	880,400	1,927.04	1,696,569,675	2,114.00	1,861,165,600	1.40
26	三井不動産	日本	不動産業	株式	1,036,700	1,344.90	1,394,258,240	1,780.50	1,845,844,350	1.38
27	ディスコ	日本	機械	株式	35,800	39,344.69	1,408,539,984	48,170.00	1,724,486,000	1.29
28	武田薬品工業	日本	医薬品	株式	318,900	4,384.63	1,398,260,724	4,835.00	1,541,881,500	1.16
29	イビデン	日本	電気機器	株式	228,800	2,174.79	497,593,096	6,731.00	1,540,052,800	1.15
30	味の素	日本	食料品	株式	459,300	3,032.28	1,392,726,791	3,317.00	1,523,498,100	1.14

T M A 日本債券マザーファンド

順位	銘柄名	地域	種類	利率	償還期限	額面	帳簿価額		評価額		投資比率 (%)
							単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	第380回利付国債(10年)	日本	国債証券	1.700	2035/09/20	14,108,000,000	98.50	13,896,883,360	97.00	13,686,029,720	17.62
2	第194回利付国債(20年)	日本	国債証券	2.700	2045/09/20	10,821,000,000	97.72	10,574,446,290	96.46	10,438,261,230	13.44
3	第480回利付国債(2年)	日本	国債証券	1.100	2028/01/01	9,491,000,000	99.90	9,481,675,030	99.86	9,477,997,330	12.20
4	第88回利付国債(30年)	日本	国債証券	3.200	2055/09/20	5,991,000,000	99.13	5,939,057,050	96.97	5,809,592,520	7.48
5	第344回利付国債(10年)	日本	国債証券	0.100	2026/09/20	2,959,000,000	99.37	2,940,442,260	99.48	2,943,701,970	3.79
6	第166回利付国債(20年)	日本	国債証券	0.700	2038/09/20	1,495,000,000	84.01	1,256,005,310	81.69	1,221,355,200	1.57
7	第163回利付国債(20年)	日本	国債証券	0.600	2037/12/20	1,372,000,000	87.61	1,202,055,600	82.43	1,130,994,480	1.45
8	第85回利付国債(30年)	日本	国債証券	2.300	2054/12/20	1,396,000,000	84.33	1,177,255,250	80.31	1,121,211,360	1.44
9	第18回利付国債(40年)	日本	国債証券	3.100	2065/03/20	695,000,000	94.42	656,234,270	91.79	637,982,200	0.82
10	第345回利付国債(10年)	日本	国債証券	0.100	2026/12/20	636,000,000	99.27	631,361,220	99.24	631,172,760	0.81
11	第190回利付国債(20年)	日本	国債証券	1.800	2044/09/20	734,000,000	87.14	639,631,750	84.45	619,914,380	0.79

12	第168回利付国債(20年)	日本	国債証券	0.400	2039/03/20	770,000,000	78.03	600,831,000	77.20	594,440,000	0.76
13	第162回利付国債(20年)	日本	国債証券	0.600	2037/09/20	673,000,000	86.34	581,113,470	83.01	558,711,140	0.71
14	第173回利付国債(20年)	日本	国債証券	0.400	2040/06/20	723,000,000	74.95	541,888,500	74.12	535,894,830	0.69
15	第1回ソニーフィナンシャルグループ株式会社(劣後)	日本	社債券	2.431	2055/12/19	500,000,000	100.00	500,000,000	99.73	498,650,000	0.64
16	第1回パナソニック株式会社無担保社債(劣後)	日本	社債券	0.740	2081/10/14	500,000,000	98.76	493,825,000	99.42	497,125,000	0.64
17	第7回三菱商事株式会社無担保社債(劣後)	日本	社債券	0.510	2081/09/13	500,000,000	98.44	492,205,000	99.32	496,630,000	0.63
18	第189回利付国債(20年)	日本	国債証券	1.900	2044/06/20	538,000,000	87.40	470,218,120	86.21	463,842,080	0.59
19	第84回利付国債(30年)	日本	国債証券	2.100	2054/09/20	601,000,000	80.98	486,710,560	76.71	461,039,120	0.59
20	第164回東日本旅客鉄道株式会社無担保普通社債	日本	社債券	0.245	2031/04/15	500,000,000	93.12	465,600,000	91.86	459,315,000	0.59
21	第15回株式会社セブン銀行無担保社債	日本	社債券	1.289	2028/10/30	400,000,000	100.00	400,000,000	99.27	397,096,000	0.51
22	第2回武田薬品工業株式会社無担保社債(劣後)	日本	社債券	1.934	2084/06/25	400,000,000	98.96	395,840,000	98.49	393,976,000	0.50
23	第23回株式会社三井住友フィナンシャルグループ(劣後)	日本	社債券	1.813	2035/10/21	400,000,000	100.00	400,000,000	98.42	393,708,000	0.50
24	第82回東京電力パワーグリッド株式会社社債	日本	社債券	1.760	2030/05/28	400,000,000	100.00	400,000,000	98.18	392,748,000	0.50
25	第58回三井化学株式会社無担保社債	日本	社債券	0.662	2029/03/01	400,000,000	97.37	389,484,000	96.78	387,140,000	0.49
26	第28回三井住友信託銀行株式会社無担保社債	日本	社債券	0.544	2029/01/25	400,000,000	96.98	387,928,000	96.75	387,036,000	0.49
27	第16回利付国債(40年)	日本	国債証券	1.300	2063/03/20	670,000,000	57.93	388,158,320	55.21	369,920,400	0.47
28	第2回利付国債(5年)	日本	国債証券	0.500	2029/06/20	379,000,000	98.01	371,493,990	97.08	367,940,780	0.47
29	第17回利付国債(40年)	日本	国債証券	2.200	2064/03/20	447,000,000	75.96	339,541,200	72.79	325,411,530	0.41
30	第1回日本航空株式会社(劣後)	日本	社債券	3.218	2030/04/16	300,000,000	100.00	300,000,000	100.59	301,782,000	0.38

順位	銘柄名	地域	業種	種類	株式数	帳簿価額		評価額		投資比率 (%)
						単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	株式	283,200	18,557.05	5,255,358,485	29,467.72	8,345,259,210	8.37
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	株式	98,700	60,563.67	5,977,634,268	76,260.37	7,526,899,111	7.55
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	株式	127,200	30,521.37	3,882,318,518	36,332.87	4,621,542,234	4.63
4	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	株式	94,600	33,738.83	3,191,693,335	42,859.86	4,054,543,285	4.06
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	株式	76,600	25,513.01	1,954,297,148	49,090.95	3,760,367,045	3.77
6	VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ	金融サービス	株式	66,100	53,217.54	3,517,680,009	55,517.74	3,669,722,719	3.68
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	株式	73,600	25,840.22	1,901,840,780	49,220.89	3,622,658,122	3.63
8	MASTERCARD INC - A	アメリカ	金融サービス	株式	39,700	84,409.64	3,351,062,851	90,476.02	3,591,898,152	3.60
9	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	株式	93,200	24,965.65	2,326,798,990	29,067.39	2,709,081,344	2.71
10	TJX COMPANIES INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	株式	102,700	18,200.10	1,869,150,270	24,496.94	2,515,836,066	2.52
11	HERMES INTERNATIONAL	フランス	耐久消費財・アパレル	株式	6,300	459,311.65	2,893,663,399	387,277.33	2,439,847,179	2.44
12	CADENCE DESIGN SYS INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	株式	48,900	55,224.97	2,700,501,046	49,740.67	2,432,319,134	2.44
13	ELI LILLY AND COMPANY	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	株式	14,100	133,381.82	1,880,683,760	168,885.96	2,381,292,160	2.39
14	ASML HOLDING NV	オランダ	半導体・半導体製造装置	株式	14,100	123,961.92	1,747,863,142	167,150.44	2,356,821,260	2.36
15	O'REILLY AUTOMOTIVE INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	株式	153,300	14,018.38	2,149,018,021	14,369.07	2,202,779,473	2.21
16	HDFC Bank Ltd	アメリカ	銀行	株式	351,200	5,129.99	1,801,655,375	5,689.39	1,998,113,908	2.00
17	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	アメリカ	食品・飲料・タバコ	株式	78,400	24,032.09	1,884,116,316	25,353.32	1,987,700,789	1.99
18	SALESFORCE INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	株式	45,100	43,512.48	1,962,413,105	41,680.96	1,879,811,692	1.88
19	COSTCO WHOLESALE CORP	アメリカ	生活必需品流通・小売り	株式	12,800	140,722.39	1,801,246,597	135,869.03	1,739,123,589	1.74
20	ROCHE HOLDING AG-GENUSSS	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	株式	25,900	60,164.80	1,558,268,320	65,015.68	1,683,906,112	1.69

21	Taiwan Semiconductor Manufacturing	アメリカ	半導体・半導体 製造装置	株式	35,000	27,784.70	972,464,612	47,112.03	1,648,921,232	1.65
22	COPART INC	アメリカ	商業・専門サー ビス	株式	265,300	8,247.58	2,188,083,186	6,182.55	1,640,231,682	1.64
23	ROLLINS INC	アメリカ	商業・専門サー ビス	株式	167,400	8,379.57	1,402,740,329	9,514.15	1,592,668,910	1.59
24	ZOETIS INC	アメリカ	医薬品・バイオ テクノロジー・ ライフサイエン ス	株式	76,400	25,370.24	1,938,286,865	19,723.42	1,506,869,960	1.51
25	MSCI INC	アメリカ	金融サービス	株式	16,200	88,611.39	1,435,504,589	91,706.58	1,485,646,686	1.49
26	DOLLARAMA INC	カナダ	一般消費財・ サービス流通・ 小売り	株式	60,100	17,241.01	1,036,184,821	23,486.36	1,411,530,476	1.41
27	L'OREAL	フランス	家庭用品・パー ソナル用品	株式	20,200	66,469.39	1,342,681,839	67,335.74	1,360,182,129	1.36
28	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア機 器・サービス	株式	24,000	80,049.12	1,921,179,072	51,498.84	1,235,972,313	1.24
29	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体 製造装置	株式	22,200	52,224.29	1,159,379,310	54,700.49	1,214,351,064	1.21
30	NETFLIX INC	アメリカ	メディア・娯楽	株式	80,300	14,885.72	1,195,323,701	14,740.12	1,183,631,957	1.18

T M A 外国債券マザーファンド

順位	銘柄名	地域	種類	利率	償還期限	額面	帳簿価額		評価額		投資 比率 (%)
							単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	T 4 04/30/32	アメリカ	国債証券	4.000	2032/04/30	7,300,000	15,759.49	1,150,443,242	15,817.75	1,154,696,351	2.87
2	T 3 1/8 11/15/28	アメリカ	国債証券	3.125	2028/11/15	7,200,000	15,207.41	1,094,934,165	15,493.63	1,115,541,375	2.77
3	T 2 3/8 02/15/42	アメリカ	国債証券	2.375	2042/02/15	6,900,000	11,649.65	803,826,126	11,605.31	800,766,786	1.99
4	T 1 07/31/28	アメリカ	国債証券	1.000	2028/07/31	5,400,000	14,209.96	767,337,865	14,699.82	793,790,388	1.97
5	T 0 5/8 11/30/27	アメリカ	国債証券	0.625	2027/11/30	4,700,000	14,337.76	673,874,945	14,838.64	697,416,395	1.73
6	T 0 1/2 10/31/27	アメリカ	国債証券	0.500	2027/10/31	4,300,000	14,330.13	616,195,697	14,836.81	637,982,915	1.58
7	T 3 5/8 02/15/44	アメリカ	国債証券	3.625	2044/02/15	4,000,000	13,730.18	549,207,589	13,545.49	541,819,910	1.34
8	UKT 4 3/8 03/07/28	イギリス	国債証券	4.375	2028/03/07	2,500,000	21,320.03	533,000,991	21,412.34	535,308,516	1.33
9	T 3 1/8 05/15/48	アメリカ	国債証券	3.125	2048/05/15	4,200,000	12,236.44	513,930,826	11,995.79	503,823,534	1.25
10	MBONO 8 1/2 03/01/29	メキシコ	国債証券	8.500	2029/03/01	55,000,000	856.38	471,010,068	877.07	482,393,871	1.19
11	T 0 5/8 07/31/26	アメリカ	国債証券	0.625	2026/07/31	3,100,000	14,955.14	463,609,631	15,392.32	477,162,096	1.18
12	T 3 05/15/45	アメリカ	国債証券	3.000	2045/05/15	3,900,000	12,322.06	480,560,611	12,142.57	473,560,364	1.17
13	FRTR 3 1/2 11/25/33	フランス	国債証券	3.500	2033/11/25	2,500,000	18,686.44	467,161,067	18,739.50	468,487,690	1.16

14	T 4 3/8 12/15/26	アメリカ	国債証券	4.375	2026/12/15	2,900,000	15,756.90	456,950,324	15,782.23	457,684,721	1.13
15	T 1 1/4 03/31/28	アメリカ	国債証券	1.250	2028/03/31	3,000,000	14,465.28	433,958,633	14,908.36	447,250,943	1.11
16	T 3 3/4 12/31/28	アメリカ	国債証券	3.750	2028/12/31	2,700,000	15,528.48	419,269,206	15,761.80	425,568,606	1.05
17	T 0 5/8 12/31/27	アメリカ	国債証券	0.625	2027/12/31	2,800,000	14,300.16	400,404,647	14,802.56	414,471,805	1.03
18	T 2 1/2 02/15/46	アメリカ	国債証券	2.500	2046/02/15	3,600,000	11,172.63	402,214,868	10,995.89	395,852,175	0.98
19	UKT 4 5/8 01/31/34	イギリス	国債証券	4.625	2034/01/31	1,800,000	21,362.61	384,527,000	21,515.75	387,283,519	0.96
20	T 1 3/4 08/15/41	アメリカ	国債証券	1.750	2041/08/15	3,500,000	10,636.29	372,270,325	10,640.27	372,409,456	0.92
21	T 4 5/8 04/30/29	アメリカ	国債証券	4.625	2029/04/30	2,300,000	16,107.33	370,468,662	16,186.83	372,297,232	0.92
22	T 3 7/8 02/15/43	アメリカ	国債証券	3.875	2043/02/15	2,600,000	14,363.76	373,457,979	14,184.58	368,799,093	0.91
23	T 4 5/8 04/30/31	アメリカ	国債証券	4.625	2031/04/30	2,200,000	15,991.74	351,818,452	16,348.28	359,662,352	0.89
24	FRTR 3 11/25/34	フランス	国債証券	3.000	2034/11/25	2,000,000	17,798.93	355,978,648	17,881.13	357,622,758	0.88
25	T 4 1/4 06/30/31	アメリカ	国債証券	4.250	2031/06/30	2,200,000	15,751.58	346,534,859	16,063.91	353,406,067	0.87
26	T 4 1/8 03/31/32	アメリカ	国債証券	4.125	2032/03/31	2,100,000	15,914.51	334,204,840	15,931.20	334,555,262	0.83
27	FRTR 2 11/25/32	フランス	国債証券	2.000	2032/11/25	1,900,000	17,272.27	328,173,205	17,183.26	326,481,959	0.81
28	BTPS 3.8 08/01/28	イタリア	国債証券	3.800	2028/08/01	1,700,000	19,084.95	324,444,202	19,095.55	324,624,447	0.80
29	T 1 1/4 06/30/28	アメリカ	国債証券	1.250	2028/06/30	2,100,000	14,363.46	301,632,716	14,825.80	311,341,882	0.77
30	T 4 1/2 12/31/31	アメリカ	国債証券	4.500	2031/12/31	1,900,000	16,219.79	308,176,129	16,257.77	308,897,772	0.76

b. 投資有価証券の種類

TMA日本株アクティブマザーファンド

種類	国内/国外	業種	投資比率(%)
----	-------	----	---------

株式	国内	建設業	2.27
		食料品	2.50
		繊維製品	0.83
		化学	5.16
		医薬品	6.56
		非鉄金属	3.16
		機械	6.71
		電気機器	26.49
		輸送用機器	6.39
		精密機器	0.29
		その他製品	4.16
		陸運業	1.22
		情報・通信業	10.43
		卸売業	1.67
		小売業	1.72
		銀行業	7.66
		保険業	2.64
		その他金融業	1.66
		不動産業	1.61
		サービス業	6.09
合 計		99.32	

T M A 日本債券マザーファンド

種類	投資比率(%)
国債証券	66.49
社債券	33.14
合 計	99.64

T M A 外国株式マザーファンド

種類	国内 / 国外	業種	投資比率(%)
----	---------	----	---------

株式	国外	エネルギー	3.01
		素材	1.78
		資本財	1.85
		商業・専門サービス	4.30
		耐久消費財・アパレル	2.44
		メディア・娯楽	9.70
		一般消費財・サービス流通・小売り	10.79
		生活必需品流通・小売り	2.73
		食品・飲料・タバコ	3.04
		家庭用品・パーソナル用品	1.36
		ヘルスケア機器・サービス	1.66
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10.85
		銀行	2.00
		金融サービス	9.95
		ソフトウェア・サービス	12.60
		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.03
		公益事業	1.88
半導体・半導体製造装置	13.61		
合 計		98.68	

T M A 外国債券マザーファンド

種類	投資比率(%)
国債証券	98.57
合 計	98.57

投資不動産物件

T M A 日本株アクティブマザーファンド
該当事項はありません。

T M A 日本債券マザーファンド
該当事項はありません。

T M A 外国株式マザーファンド
該当事項はありません。

T M A 外国債券マザーファンド
該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

T M A 日本株アクティブマザーファンド
該当事項はありません。

T M A 日本債券マザーファンド
該当事項はありません。

T M A 外国株式マザーファンド
該当事項はありません。

T M A 外国債券マザーファンド

該当事項はありません。

(3)【運用実績】

【純資産の推移】

東京海上セレクション・バランス30

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第15計算期間末	(2016年 6月20日)	7,375	7,375	1.5556	1.5556
第16計算期間末	(2017年 6月20日)	8,345	8,345	1.6445	1.6445
第17計算期間末	(2018年 6月20日)	9,395	9,395	1.7132	1.7132
第18計算期間末	(2019年 6月20日)	10,199	10,199	1.7206	1.7206
第19計算期間末	(2020年 6月22日)	11,314	11,314	1.7862	1.7862
第20計算期間末	(2021年 6月21日)	13,159	13,159	1.9494	1.9494
第21計算期間末	(2022年 6月20日)	13,292	13,292	1.8777	1.8777
第22計算期間末	(2023年 6月20日)	15,299	15,299	2.0418	2.0418
第23計算期間末	(2024年 6月20日)	16,625	16,625	2.1815	2.1815
第24計算期間末	(2025年 6月20日)	16,445	16,445	2.1280	2.1280
2024年12月末日		16,753		2.1789	
2025年 1月末日		16,707		2.1646	
2月末日		16,363		2.1194	
3月末日		16,192		2.0966	
4月末日		16,121		2.0872	
5月末日		16,329		2.1104	
6月末日		16,644		2.1520	
7月末日		16,832		2.1660	
8月末日		16,909		2.1813	
9月末日		17,141		2.2091	
10月末日		17,717		2.2824	
11月末日		17,593		2.2755	
12月末日		17,485		2.2637	

東京海上セレクション・バランス50

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第15計算期間末	(2016年 6月20日)	16,691	16,691	1.6257	1.6257
第16計算期間末	(2017年 6月20日)	19,299	19,299	1.8001	1.8001
第17計算期間末	(2018年 6月20日)	21,692	21,692	1.9278	1.9278
第18計算期間末	(2019年 6月20日)	22,508	22,508	1.9034	1.9034
第19計算期間末	(2020年 6月22日)	25,172	25,172	2.0325	2.0325
第20計算期間末	(2021年 6月21日)	30,192	30,192	2.3362	2.3362
第21計算期間末	(2022年 6月20日)	30,308	30,308	2.2345	2.2345
第22計算期間末	(2023年 6月20日)	36,296	36,296	2.5573	2.5573
第23計算期間末	(2024年 6月20日)	41,545	41,545	2.8689	2.8689
第24計算期間末	(2025年 6月20日)	41,242	41,242	2.8150	2.8150
2024年12月末日		41,879		2.8708	

2025年 1月末日	41,833		2.8596	
2月末日	40,642		2.7776	
3月末日	40,117		2.7391	
4月末日	39,907		2.7229	
5月末日	40,898		2.7917	
6月末日	41,961		2.8669	
7月末日	42,671		2.9068	
8月末日	43,197		2.9482	
9月末日	44,158		3.0066	
10月末日	46,384		3.1567	
11月末日	46,241		3.1515	
12月末日	46,156		3.1396	

東京海上セレクション・バランス70

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第15計算期間末	(2016年 6月20日)	10,016	10,016	1.6496	1.6496
第16計算期間末	(2017年 6月20日)	11,981	11,981	1.9093	1.9093
第17計算期間末	(2018年 6月20日)	14,209	14,209	2.1022	2.1022
第18計算期間末	(2019年 6月20日)	14,556	14,556	2.0375	2.0375
第19計算期間末	(2020年 6月22日)	16,690	16,690	2.2289	2.2289
第20計算期間末	(2021年 6月21日)	21,396	21,396	2.6928	2.6928
第21計算期間末	(2022年 6月20日)	21,425	21,425	2.5528	2.5528
第22計算期間末	(2023年 6月20日)	26,933	26,933	3.0697	3.0697
第23計算期間末	(2024年 6月20日)	32,880	32,880	3.5957	3.5957
第24計算期間末	(2025年 6月20日)	32,884	32,884	3.5453	3.5453
	2024年12月末日	33,275		3.6023	
	2025年 1月末日	33,313		3.5993	
	2月末日	32,074		3.4694	
	3月末日	31,611		3.4087	
	4月末日	31,415		3.3854	
	5月末日	32,600		3.5171	
	6月末日	33,733		3.6353	
	7月末日	34,428		3.7099	
	8月末日	35,123		3.7898	
	9月末日	36,166		3.8888	
	10月末日	38,658		4.1438	
	11月末日	38,479		4.1393	
	12月末日	38,388		4.1274	

【分配の推移】

東京海上セレクション・バランス30
該当事項はありません。

東京海上セレクション・バランス50
該当事項はありません。

東京海上セレクション・バランス70
該当事項はありません。

【収益率の推移】

東京海上セレクション・バランス30

期	計算期間	収益率（％）（分配付）
第15計算期間	2015年 6月23日～2016年 6月20日	5.1
第16計算期間	2016年 6月21日～2017年 6月20日	5.7
第17計算期間	2017年 6月21日～2018年 6月20日	4.2
第18計算期間	2018年 6月21日～2019年 6月20日	0.4
第19計算期間	2019年 6月21日～2020年 6月22日	3.8
第20計算期間	2020年 6月23日～2021年 6月21日	9.1
第21計算期間	2021年 6月22日～2022年 6月20日	3.7
第22計算期間	2022年 6月21日～2023年 6月20日	8.7
第23計算期間	2023年 6月21日～2024年 6月20日	6.8
第24計算期間	2024年 6月21日～2025年 6月20日	2.5
第25中間計算期間	2025年 6月21日～2025年12月20日	5.8

東京海上セレクション・バランス50

期	計算期間	収益率（％）（分配付）
第15計算期間	2015年 6月23日～2016年 6月20日	10.0
第16計算期間	2016年 6月21日～2017年 6月20日	10.7
第17計算期間	2017年 6月21日～2018年 6月20日	7.1
第18計算期間	2018年 6月21日～2019年 6月20日	1.3
第19計算期間	2019年 6月21日～2020年 6月22日	6.8
第20計算期間	2020年 6月23日～2021年 6月21日	14.9
第21計算期間	2021年 6月22日～2022年 6月20日	4.4
第22計算期間	2022年 6月21日～2023年 6月20日	14.4
第23計算期間	2023年 6月21日～2024年 6月20日	12.2
第24計算期間	2024年 6月21日～2025年 6月20日	1.9
第25中間計算期間	2025年 6月21日～2025年12月20日	10.5

東京海上セレクション・バランス70

期	計算期間	収益率（％）（分配付）
第15計算期間	2015年 6月23日～2016年 6月20日	14.4
第16計算期間	2016年 6月21日～2017年 6月20日	15.7
第17計算期間	2017年 6月21日～2018年 6月20日	10.1
第18計算期間	2018年 6月21日～2019年 6月20日	3.1
第19計算期間	2019年 6月21日～2020年 6月22日	9.4
第20計算期間	2020年 6月23日～2021年 6月21日	20.8
第21計算期間	2021年 6月22日～2022年 6月20日	5.2
第22計算期間	2022年 6月21日～2023年 6月20日	20.2
第23計算期間	2023年 6月21日～2024年 6月20日	17.1
第24計算期間	2024年 6月21日～2025年 6月20日	1.4
第25中間計算期間	2025年 6月21日～2025年12月20日	15.1

(4)【設定及び解約の実績】

東京海上セレクション・バランス30

期	計算期間	設定口数(口)	解約口数(口)	発行済み口数(口)
第15計算期間	2015年 6月23日～2016年 6月20日	737,353,659	424,952,766	4,741,019,762
第16計算期間	2016年 6月21日～2017年 6月20日	851,848,846	517,917,376	5,074,951,232
第17計算期間	2017年 6月21日～2018年 6月20日	995,848,750	586,312,750	5,484,487,232
第18計算期間	2018年 6月21日～2019年 6月20日	937,330,085	493,818,004	5,927,999,313
第19計算期間	2019年 6月21日～2020年 6月22日	1,157,893,992	751,369,637	6,334,523,668
第20計算期間	2020年 6月23日～2021年 6月21日	1,151,261,292	735,173,193	6,750,611,767
第21計算期間	2021年 6月22日～2022年 6月20日	1,044,265,618	715,450,061	7,079,427,324
第22計算期間	2022年 6月21日～2023年 6月20日	1,017,533,232	603,765,337	7,493,195,219
第23計算期間	2023年 6月21日～2024年 6月20日	935,322,054	807,430,394	7,621,086,879
第24計算期間	2024年 6月21日～2025年 6月20日	806,130,430	699,052,950	7,728,164,359
第25中間計算期間	2025年 6月21日～2025年12月20日	429,077,116	430,568,292	7,726,673,183

東京海上セレクション・バランス50

期	計算期間	設定口数(口)	解約口数(口)	発行済み口数(口)
第15計算期間	2015年 6月23日～2016年 6月20日	1,414,327,085	807,809,379	10,267,489,373
第16計算期間	2016年 6月21日～2017年 6月20日	1,395,263,568	941,550,860	10,721,202,081
第17計算期間	2017年 6月21日～2018年 6月20日	1,537,635,326	1,006,494,751	11,252,342,656
第18計算期間	2018年 6月21日～2019年 6月20日	1,534,387,631	961,844,077	11,824,886,210
第19計算期間	2019年 6月21日～2020年 6月22日	1,845,128,151	1,285,174,994	12,384,839,367
第20計算期間	2020年 6月23日～2021年 6月21日	1,803,125,305	1,264,174,499	12,923,790,173
第21計算期間	2021年 6月22日～2022年 6月20日	1,717,131,633	1,076,804,648	13,564,117,158
第22計算期間	2022年 6月21日～2023年 6月20日	1,691,026,225	1,062,105,905	14,193,037,478
第23計算期間	2023年 6月21日～2024年 6月20日	1,601,778,264	1,313,266,742	14,481,549,000
第24計算期間	2024年 6月21日～2025年 6月20日	1,389,665,669	1,220,267,409	14,650,947,260
第25中間計算期間	2025年 6月21日～2025年12月20日	653,060,580	617,120,323	14,686,887,517

東京海上セレクション・バランス70

期	計算期間	設定口数(口)	解約口数(口)	発行済み口数(口)
第15計算期間	2015年 6月23日～2016年 6月20日	977,656,753	707,580,926	6,071,785,419
第16計算期間	2016年 6月21日～2017年 6月20日	977,047,955	773,282,465	6,275,550,909
第17計算期間	2017年 6月21日～2018年 6月20日	1,236,700,333	752,662,728	6,759,588,514
第18計算期間	2018年 6月21日～2019年 6月20日	1,133,160,102	748,405,338	7,144,343,278
第19計算期間	2019年 6月21日～2020年 6月22日	1,429,368,793	1,085,435,128	7,488,276,943
第20計算期間	2020年 6月23日～2021年 6月21日	1,471,907,293	1,014,272,500	7,945,911,736
第21計算期間	2021年 6月22日～2022年 6月20日	1,359,663,500	912,819,228	8,392,756,008
第22計算期間	2022年 6月21日～2023年 6月20日	1,247,990,369	866,555,873	8,774,190,504
第23計算期間	2023年 6月21日～2024年 6月20日	1,371,965,016	1,001,762,230	9,144,393,290
第24計算期間	2024年 6月21日～2025年 6月20日	1,092,845,427	961,595,248	9,275,643,469
第25中間計算期間	2025年 6月21日～2025年12月20日	508,041,082	486,850,956	9,296,833,595

< 参考情報 >

基準日: 2025年12月30日

基準価額・純資産の推移

バランス 30



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。※設定日は2001年9月25日です。

分配の推移

(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第20期	2021/06/21	0円
第21期	2022/06/20	0円
第22期	2023/06/20	0円
第23期	2024/06/20	0円
第24期	2025/06/20	0円
設定来累計		分配実績なし

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

バランス 50



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。※設定日は2001年9月25日です。

(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第20期	2021/06/21	0円
第21期	2022/06/20	0円
第22期	2023/06/20	0円
第23期	2024/06/20	0円
第24期	2025/06/20	0円
設定来累計		分配実績なし

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

次ページへ続く

- ・最新の運用実績は、委託会社のホームページで開示している場合があります。
- ・ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

バランス 70



決算期	決算日	分配金
第20期	2021/06/21	0円
第21期	2022/06/20	0円
第22期	2023/06/20	0円
第23期	2024/06/20	0円
第24期	2025/06/20	0円
設定来累計		分配実績なし

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

主要な資産の状況

資産構成

バランス 30

マザーファンド	組入比率	基本資産配分	差
TMA日本株アクティブマザーファンド	19.9%	20.0%	-0.1%
TMA日本債券マザーファンド	46.7%	47.0%	-0.3%
TMA外国株式マザーファンド	10.2%	10.0%	+0.2%
TMA外国債券マザーファンド	20.2%	20.0%	+0.2%
短期金融資産等	3.0%	3.0%	-0.0%

※組入比率は純資産総額に占める割合です。

※短期金融資産には未払金等が含まれるため、組入比率がマイナスとなる場合があります。

バランス 50

マザーファンド	組入比率	基本資産配分	差
TMA日本株アクティブマザーファンド	34.8%	35.0%	-0.2%
TMA日本債券マザーファンド	26.8%	27.0%	-0.2%
TMA外国株式マザーファンド	15.2%	15.0%	+0.2%
TMA外国債券マザーファンド	20.2%	20.0%	+0.2%
短期金融資産等	3.0%	3.0%	-0.0%

※組入比率は純資産総額に占める割合です。

※短期金融資産には未払金等が含まれるため、組入比率がマイナスとなる場合があります。

バランス 70

マザーファンド	組入比率	基本資産配分	差
TMA日本株アクティブマザーファンド	49.7%	50.0%	-0.3%
TMA日本債券マザーファンド	9.9%	10.0%	-0.1%
TMA外国株式マザーファンド	20.3%	20.0%	+0.3%
TMA外国債券マザーファンド	17.1%	17.0%	+0.1%
短期金融資産等	3.0%	3.0%	-0.0%

※組入比率は純資産総額に占める割合です。

※短期金融資産には未払金等が含まれるため、組入比率がマイナスとなる場合があります。

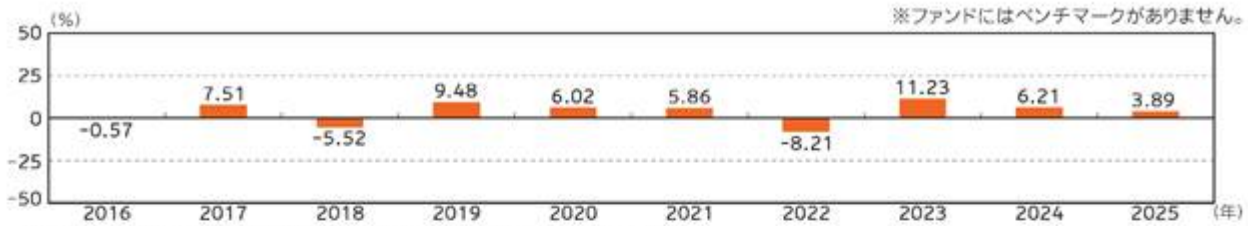
次ページへ続く

- ・最新の運用実績は、委託会社のホームページで開示している場合があります。
- ・ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

基準日:2025年12月30日

年間収益率の推移

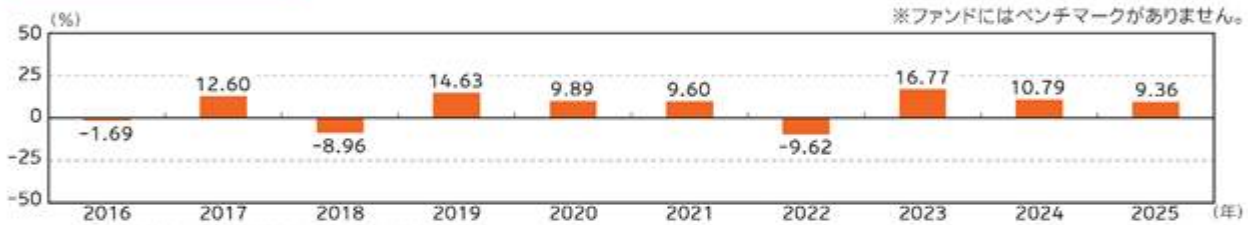
バランス 30



※ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したもものとして計算しています。

※当年は昨年末と基準日の騰落率です。

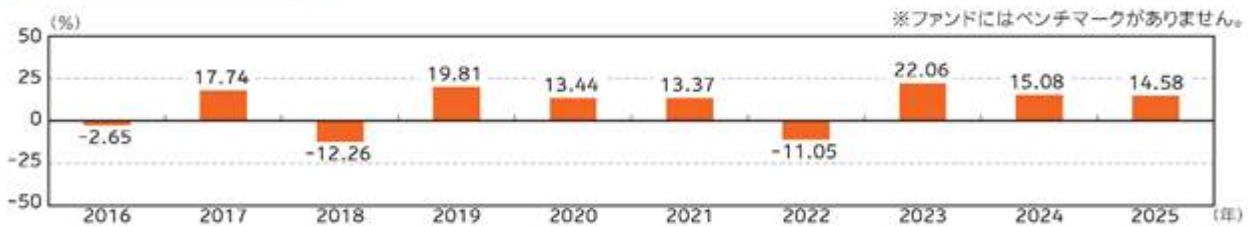
バランス 50



※ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したもものとして計算しています。

※当年は昨年末と基準日の騰落率です。

バランス 70



※ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したもものとして計算しています。

※当年は昨年末と基準日の騰落率です。

- ・最新の運用実績は、委託会社のホームページで開示している場合があります。
- ・ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

- a. 毎営業日にお申込みを受け付けます。「東京海上セレクション・バランス30」の取得申込者は、原則として確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて受益権の取得申込を行う資産管理機関および連合会等に限るものとします。ただし、「東京海上セレクション・バランス30」の設定・維持のため委託会社またはその関係会社が自己の資金をもって取得する場合はこの限りではありません。
- b. 当ファンドは、収益の分配がなされた場合、分配金を自動的に無手数料で再投資する自動けいぞく（累積）投資専用ファンドです。このため、取得申込者と販売会社の間で、自動けいぞく（累積）投資に関する契約を締結する必要があります。
- c. 販売会社によって申込単位は異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
なお、自動けいぞく（累積）投資に基づく収益分配金の再投資に際しては、1口の整数倍をもって取得できます。
- d. 取得申込の受付は、原則として午後3時30分までに、販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。受付時間を過ぎてからのお申込みについては翌営業日受付の取扱いとなります。なお、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- e. 受益権の取得申込価額は以下の通りです。
取得申込受付日の翌営業日の基準価額
基準価額は原則として委託会社の毎営業日に算出され、販売会社または委託会社サービスデスクにお問い合わせることにより知ることができます。
委託会社サービスデスク
東京海上アセットマネジメント サービスデスク
0120-712-016（営業日の9時～17時）
ホームページ
<https://www.tokiomarineam.co.jp/>
- f. 申込手数料は、前記「第1ファンドの状況 4手数料等及び税金 (1)申込手数料」をご覧ください。
- g. 上記にかかわらず、証券取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置を取った場合には、販売会社は、受益権の取得申込の受付を中止すること、および既に受け付けた取得申込の受付を取り消すことができます。
- h. 取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたはあらかじめ当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関等への通知を行うものとし、振替機関等は、委託会社から振替機関等への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関等の定める方法により、振替機関等へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行います。
- i. 各ファンド間でスイッチングが可能な場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- j. 定時定額購入サービスを選択した取得申込者は、販売会社との間で定時定額購入サービスに関する取り決めを行います。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

2【換金（解約）手続等】

- a. 受益者は、自己に帰属する受益権につき、一部解約の実行請求（解約請求）の方法によりご換金の請求を行うことができます。
- b. ご換金のお申込みは販売会社で受け付けます。なお、販売会社の買取りによるご換金の請求については、販売会社にお問い合わせください。
- c. 解約請求による換金のお申込みは、毎営業日に行うことができます。
- d. 解約単位は、販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- e. 解約請求のお申込みの受付は、原則として午後3時30分までに、販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日受付としてお取り扱いします。なお、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- f. 解約時の価額（解約価額）は、解約請求受付日の翌営業日の基準価額とします。
- g. 解約価額は、原則として委託会社の毎営業日に算出され、販売会社または委託会社サービスデスクに問い合わせることにより知ることができます。
- h. 解約にかかる手数料はありません。
- i. 解約代金は、原則として解約請求受付日から起算して5営業日目から、お支払いします。
- j. 委託会社は、証券取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受付を中止することができます。その場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日を解約請求受付日とする解約請求を撤回できません。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にその請求を受け付けたものとして取扱います。
- k. 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。ただし、確定拠出年金制度に基づく受益者である場合には制限はありません。
- l. 受益者が解約の請求をするときは、振替受益権をもって行うものとし、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請が行われ、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

- a. 基準価額は、受益権1口当たりの純資産価額（純資産総額を計算日における受益権総口数で除した金額）をいいます。ただし、便宜上1万口当たりに換算した価額で表示されることがあります。
- b. 純資産総額とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。なお、外貨建資産の円換算については、原則として日本における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算し、外国為替予約に基づく予約為替の評価は、原則として日本における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

< 主要投資対象資産の評価方法 >

対象	評価方法
マザーファンド 受益証券	原則として、当ファンドの基準価額計算日の基準価額で評価します。
株式	原則として、上場されている取引所における計算日（外国株式の場合は、計算時に知り得る直近の日）の最終相場で評価します。
公社債等	原則として、以下のいずれかの価額で評価します。 a. 日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値） b. 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く） c. 価格情報会社の提供する価額

- c. 基準価額は、原則として委託会社の毎営業日に算出され、販売会社または委託会社サービスデスクに問い合わせることにより知ることができます。

(2)【保管】

該当事項はありません。

(3)【信託期間】

原則として、2001年9月25日から無期限とします。ただし、後記「(5)その他 信託の終了（繰上償還）」に該当する場合には、信託を終了させることがあります。

(4)【計算期間】

原則として、毎年6月21日から翌年6月20日までとします。ただし、各計算期間の末日が休業日のときはその翌営業日（ ）を計算期間の末日とし、その翌日より次の計算期間が開始するものとします。

（ ）法令により、これと異なる日を計算期間の末日と定めている場合には、法令にしたがいます。

(5)【その他】

信託の終了（繰上償還）

- a. 委託会社は、信託契約の一部を解約することにより受益権の総口数が10億口を下ることとなったとき、信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- b. 委託会社は、上記a.の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面を信託契約にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託契約にかかる全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- c. 上記b.の公告および書面には、受益者で異議のある者は、1ヵ月以上の一定の期間内に委託会社に対し異議を述べるべき旨を付記します。
- d. 上記c.の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、上記a.の信託契約の解約をしません。
- e. 委託会社は、信託契約を解約しないこととしたときは、解約をしない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- f. 上記c.からe.の規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記c.の一定の期間が1ヵ月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合は適用しません。
- g. 信託契約を解約する場合において、上記c.の一定の期間内に異議を申し出た受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。
- h. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
- i. 委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社

の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、下記「 信託約款の変更」d.に該当する場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。

- j. 委託会社は、受託会社が委託会社の承諾を受けてその任務を辞任した後、あるいは裁判所が受託会社を解任した後、委託会社が新受託会社を選任できないときは、あらかじめ、監督官庁に届出のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更

- a. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、あらかじめ監督官庁に届出ることにより、信託約款を変更することができます。
- b. 変更事項のうち、その内容が重大なものとして内閣府令で定めるものに該当するときは、内閣府令で定めるところにより、あらかじめ変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつこれらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- c. 上記b.の公告および書面には、受益者で異議のある者は、1ヵ月以上の一定の期間内に委託会社に対し異議を述べるべき旨を付記します。
- d. 上記c.の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、上記a.の約款変更を行いません。その場合には、委託会社は、内閣府令で定めるところにより、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- e. その内容が重大なものとして内閣府令で定めるものに該当する信託約款の変更を行う場合において、上記c.の一定の期間内に異議を申し出た受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。
- f. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、上記b.からd.の規定にしたがいます。

関係会社との契約の更改等

委託会社と販売会社との間の募集・販売等の取扱いに関する契約は、当事者の別段の意思表示がない限り、1年ごとに自動更新されます。募集・販売等の取扱いに関する契約は、当事者間の合意により変更することができます。

運用報告書

毎決算時および償還時に、委託会社が、期間中の運用経過のほか、信託財産の内容などを記載した交付運用報告書を作成します。交付運用報告書は、販売会社を通じて知っている受益者に対して交付します。

公告

委託会社が受益者に対してする公告は、原則として電子公告の方法により行い、委託会社のホームページ (<https://www.tokiomarineam.co.jp/>) に掲載します。

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

4【受益者の権利等】

当ファンドの受益者の有する主な権利は以下の通りです。なお、議決権、受益者集会に関する権利は有しません。

収益分配金の請求権

収益分配金は、自動けいぞく（累積）投資に関する契約に基づき、自動的に無手数料で当ファンドに再投資されます。なお、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

償還金の請求権

償還金（信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権総口数で除した金額をいいます。以下同じ。）は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日（償還日が休業日の場合には当該償還日の翌営業日）から起算して5営業日まで）から、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）にお支払いします。ただし、受益者が償還金について、上記に規定する支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、委託会社が受託会社より交付を受けた金銭は委託会社に帰属します。

換金（解約）請求権

受益者は、自己に帰属する受益権について、一部解約の実行請求の方法により、換金を請求することができます。詳細は上記「2 換金（解約）手続等」をご参照ください。

買取請求権

信託契約を解約して信託を終了させるとき、および信託約款の変更を行う場合において、その内容が重大なものとして内閣府令で定めるものに該当するときは、委託会社によって定められた期間内に異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づいて、第24期計算期間(2024年6月21日から2025年6月20日まで)の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

【東京海上セレクション・バランス30】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第23期 [2024年 6月20日現在]	第24期 [2025年 6月20日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	494,160,466	491,995,150
親投資信託受益証券	16,134,012,022	15,956,284,070
未収入金	83,330,977	92,220,960
未収利息	921	6,308
流動資産合計	16,711,504,386	16,540,506,488
資産合計	16,711,504,386	16,540,506,488
負債の部		
流動負債		
未払解約金	5,811,074	19,170,337
未払受託者報酬	6,816,455	6,551,538
未払委託者報酬	73,033,284	69,105,219
その他未払費用	247,416	246,064
流動負債合計	85,908,229	95,073,158
負債合計	85,908,229	95,073,158
純資産の部		
元本等		
元本	1,762,086,879	1,772,164,359
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	9,004,509,278	8,717,268,971
（分配準備積立金）	3,551,479,750	3,337,499,865
元本等合計	16,625,596,157	16,445,433,330
純資産合計	16,625,596,157	16,445,433,330
負債純資産合計	16,711,504,386	16,540,506,488

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
営業収益		
受取利息	87,736	1,491,923
有価証券売買等損益	1,226,946,547	260,019,625
営業収益合計	1,227,034,283	258,527,702
営業費用		
支払利息	121,181	-
受託者報酬	13,543,242	13,187,069
委託者報酬	146,187,010	139,096,332
その他費用	494,832	493,480
営業費用合計	160,346,265	152,776,881
営業利益又は営業損失()	1,066,688,018	411,304,583
経常利益又は経常損失()	1,066,688,018	411,304,583
当期純利益又は当期純損失()	1,066,688,018	411,304,583
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	33,619,418	29,574,752
期首剰余金又は期首欠損金()	7,806,688,070	9,004,509,278
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,006,241,810	919,383,358
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,006,241,810	919,383,358
剰余金減少額又は欠損金増加額	841,489,202	824,893,834
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	841,489,202	824,893,834
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	1 -	1 -
期末剰余金又は期末欠損金()	9,004,509,278	8,717,268,971

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが、翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第23期 [2024年 6月20日現在]	第24期 [2025年 6月20日現在]
1. 1 期首元本額	7,493,195,219円	7,621,086,879円
期中追加設定元本額	935,322,054円	806,130,430円
期中一部解約元本額	807,430,394円	699,052,950円
2. 1 計算期間末日における受益権の総数	7,621,086,879口	7,728,164,359口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1 分配金の計算過程 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（174,487,540円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（858,581,060円）、投資信託約款に規定される収益調整金（5,478,617,288円）及び分配準備積立金（2,518,411,150円）より、分配対象額は9,030,097,038円（1万口当たり11,848.81円）であります。分配を行っておりません。	1 分配金の計算過程 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（94,885,386円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（5,916,103,893円）及び分配準備積立金（3,242,614,479円）より、分配対象額は9,253,603,758円（1万口当たり11,973.85円）であります。分配を行っておりません。

(金融商品に関する注記)

・金融商品の状況に関する事項

区 分	第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行なっております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	当ファンドが運用する主な金融商品は「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券であります。当該有価証券には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。 法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。 これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。	同左

・ 金融商品の時価等に関する事項

区 分	第23期 [2024年 6月20日現在]	第24期 [2025年 6月20日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

第23期（自 2023年6月21日 至 2024年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	1,193,110,370円
合計	1,193,110,370円

(注)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

第24期（自 2024年6月21日 至 2025年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	113,372,196円
合計	113,372,196円

(注)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(1口当たり情報に関する注記)

第23期 [2024年 6月20日現在]		第24期 [2025年 6月20日現在]	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2.1815円 21,815円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2.1280円 21,280円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

(単位：円)

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備 考
親投資信託 受益証券	T M A 日本株アクティブマザーファンド	1,041,799,489	3,273,542,354	
	T M A 日本債券マザーファンド	6,025,941,890	7,707,782,271	
	T M A 外国株式マザーファンド	225,852,001	1,651,904,120	
	T M A 外国債券マザーファンド	1,124,667,589	3,323,055,325	
親投資信託受益証券 合計		8,418,260,969	15,956,284,070	
合計		8,418,260,969	15,956,284,070	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【東京海上セレクション・バランス50】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第23期 [2024年 6月20日現在]	第24期 [2025年 6月20日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,235,088,110	1,234,502,946
親投資信託受益証券	40,318,961,840	40,015,724,081
未収入金	263,391,990	257,752,601
未収利息	2,302	15,828
流動資産合計	41,817,444,242	41,507,995,456
資産合計	41,817,444,242	41,507,995,456
負債の部		
流動負債		
未払解約金	33,637,904	34,579,801
未払受託者報酬	16,735,328	16,317,125
未払委託者報酬	220,917,493	214,581,346
その他未払費用	247,416	246,064
流動負債合計	271,538,141	265,724,336
負債合計	271,538,141	265,724,336
純資産の部		
元本等		
元本	14,481,549,000	14,650,947,260
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	27,064,357,101	26,591,323,860
（分配準備積立金）	13,906,485,061	12,997,532,592
元本等合計	41,545,906,101	41,242,271,120
純資産合計	41,545,906,101	41,242,271,120
負債純資産合計	41,817,444,242	41,507,995,456

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
営業収益		
受取利息	217,563	3,713,238
有価証券売買等損益	4,974,087,853	327,391,209
営業収益合計	4,974,305,416	323,677,971
営業費用		
支払利息	288,570	-
受託者報酬	32,763,487	32,804,161
委託者報酬	433,290,597	431,397,081
その他費用	494,832	493,480
営業費用合計	466,837,486	464,694,722
営業利益又は営業損失（ ）	4,507,467,930	788,372,693
経常利益又は経常損失（ ）	4,507,467,930	788,372,693
当期純利益又は当期純損失（ ）	4,507,467,930	788,372,693
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	146,358,947	82,918,706
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	22,103,397,987	27,064,357,101
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,647,509,364	2,510,118,110
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,647,509,364	2,510,118,110
剰余金減少額又は欠損金増加額	2,047,659,233	2,277,697,364
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	2,047,659,233	2,277,697,364
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	1 -	1 -
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	27,064,357,101	26,591,323,860

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが、翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第23期 [2024年 6月20日現在]	第24期 [2025年 6月20日現在]
1. 1 期首元本額	14,193,037,478円	14,481,549,000円
期中追加設定元本額	1,601,778,264円	1,389,665,669円
期中一部解約元本額	1,313,266,742円	1,220,267,409円
2. 1 計算期間末日における受益権の総数	14,481,549,000口	14,650,947,260口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
<p>1 分配金の計算過程</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（503,488,769円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（3,857,620,214円）、投資信託約款に規定される収益調整金（14,339,997,757円）及び分配準備積立金（9,545,376,078円）より、分配対象額は28,246,482,818円（1万口当たり19,505.13円）ですが、分配を行っておりません。</p>	<p>1 分配金の計算過程</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（207,221,795円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（15,790,949,337円）及び分配準備積立金（12,790,310,797円）より、分配対象額は28,788,481,929円（1万口当たり19,649.54円）ですが、分配を行っておりません。</p>

(金融商品に関する注記)

・金融商品の状況に関する事項

区 分	第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行なっております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	当ファンドが運用する主な金融商品は「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券であります。当該有価証券には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。 法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。 これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。	同左

・ 金融商品の時価等に関する事項

区 分	第23期 [2024年 6月20日現在]	第24期 [2025年 6月20日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

第23期（自 2023年6月21日 至 2024年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	4,699,610,606円
合計	4,699,610,606円

(注)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

第24期（自 2024年6月21日 至 2025年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	446,868円
合計	446,868円

(注)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(1口当たり情報に関する注記)

第23期 [2024年 6月20日現在]		第24期 [2025年 6月20日現在]	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2.8689円 28,689円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2.8150円 28,150円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

(単位:円)

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備 考
親投資信託 受益証券	T M A 日本株アクティブマザーファンド	4,572,274,374	14,367,000,537	
	T M A 日本債券マザーファンド	8,679,886,800	11,102,443,205	
	T M A 外国株式マザーファンド	849,493,895	6,213,283,297	
	T M A 外国債券マザーファンド	2,820,251,478	8,332,997,042	
親投資信託受益証券 合計		16,921,906,547	40,015,724,081	
合計		16,921,906,547	40,015,724,081	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【東京海上セレクション・バランス70】
(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第23期 [2024年 6月20日現在]	第24期 [2025年 6月20日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	976,994,514	985,625,160
親投資信託受益証券	31,910,576,439	31,906,424,707
未収入金	220,025,105	239,956,507
未収利息	1,821	12,637
流動資産合計	33,107,597,879	33,132,019,011
資産合計	33,107,597,879	33,132,019,011
負債の部		
流動負債		
未払解約金	11,825,156	30,715,870
未払受託者報酬	12,964,220	12,917,714
未払委託者報酬	201,793,218	203,498,201
その他未払費用	247,416	246,064
流動負債合計	226,830,010	247,377,849
負債合計	226,830,010	247,377,849
純資産の部		
元本等		
元本	1,914,393,290	1,927,643,469
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	23,736,374,579	23,608,997,693
（分配準備積立金）	12,250,917,593	11,159,956,328
元本等合計	32,880,767,869	32,884,641,162
純資産合計	32,880,767,869	32,884,641,162
負債純資産合計	33,107,597,879	33,132,019,011

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
営業収益		
受取利息	170,608	2,938,376
有価証券売買等損益	5,164,816,420	37,779,729
営業収益合計	5,164,987,028	34,841,353
営業費用		
支払利息	215,112	-
受託者報酬	24,913,003	25,932,982
委託者報酬	385,505,707	408,533,186
その他費用	494,832	493,480
営業費用合計	411,128,654	434,959,648
営業利益又は営業損失（ ）	4,753,858,374	469,801,001
経常利益又は経常損失（ ）	4,753,858,374	469,801,001
当期純利益又は当期純損失（ ）	4,753,858,374	469,801,001
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	178,508,177	92,388,610
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	18,159,683,098	23,736,374,579
剰余金増加額又は欠損金減少額	3,079,658,958	2,742,233,464
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	3,079,658,958	2,742,233,464
剰余金減少額又は欠損金増加額	2,078,317,674	2,492,197,959
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	2,078,317,674	2,492,197,959
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	1 -	1 -
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	23,736,374,579	23,608,997,693

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが、翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第23期 [2024年 6月20日現在]	第24期 [2025年 6月20日現在]
1. 1 期首元本額	8,774,190,504円	9,144,393,290円
期中追加設定元本額	1,371,965,016円	1,092,845,427円
期中一部解約元本額	1,001,762,230円	961,595,248円
2. 1 計算期間末日における受益権の総数	9,144,393,290口	9,275,643,469口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
<p>1 分配金の計算過程</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（423,186,780円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（4,152,163,417円）、投資信託約款に規定される収益調整金（12,785,658,820円）及び分配準備積立金（7,675,567,396円）より、分配対象額は25,036,576,413円（1万口当たり27,379.13円）ですが、分配を行っておりません。</p>	<p>1 分配金の計算過程</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（121,081,700円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（14,361,249,199円）及び分配準備積立金（11,038,874,628円）より、分配対象額は25,521,205,527円（1万口当たり27,514.20円）ですが、分配を行っておりません。</p>

(金融商品に関する注記)

・金融商品の状況に関する事項

区 分	第23期 自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	第24期 自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行なっております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	当ファンドが運用する主な金融商品は「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券であります。当該有価証券には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。 法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。 これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。	同左

・ 金融商品の時価等に関する事項

区 分	第23期 [2024年 6月20日現在]	第24期 [2025年 6月20日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

第23期（自 2023年6月21日 至 2024年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	4,855,513,299円
合計	4,855,513,299円

(注)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

第24期（自 2024年6月21日 至 2025年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	205,954,889円
合計	205,954,889円

(注)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(1口当たり情報に関する注記)

第23期 [2024年 6月20日現在]		第24期 [2025年 6月20日現在]	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3.5957円 35,957円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3.5453円 35,453円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

(単位：円)

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備 考
親投資信託 受益証券	T M A 日本株アクティブマザーファンド	5,209,979,810	16,370,798,558	
	T M A 日本債券マザーファンド	2,563,802,227	3,279,359,428	
	T M A 外国株式マザーファンド	903,336,149	6,607,090,927	
	T M A 外国債券マザーファンド	1,911,928,722	5,649,175,794	
親投資信託受益証券 合計		10,589,046,908	31,906,424,707	
合計		10,589,046,908	31,906,424,707	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（ご参考）

東京海上セレクション・バランス30、東京海上セレクション・バランス50、東京海上セレクション・バランス70は、「TMA日本株アクティブマザーファンド」、「TMA日本債券マザーファンド」、「TMA外国株式マザーファンド」、「TMA外国債券マザーファンド」を主要な投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同ファンドの受益証券です。なお、同ファンドの状況は次のとおりです。

なお、以下に記載した情報は監査の対象ではありません。

「TMA日本株アクティブマザーファンド」の状況

(1) 貸借対照表

区 分	注記 番号	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
金銭信託		100,265	789,281
コール・ローン		1,314,851,541	1,540,633,311
株式		108,754,364,200	111,510,480,030
未収入金		218,977,289	370,270,948
未収配当金		488,964,740	602,933,700
未収利息		2,451	19,753
流動資産合計		110,777,260,486	114,025,127,023
資産合計		110,777,260,486	114,025,127,023
負債の部			
流動負債			
未払金		219,199,341	67,579,814
未払解約金		682,420,921	714,683,582
流動負債合計		901,620,262	782,263,396
負債合計		901,620,262	782,263,396
純資産の部			
元本等			
元本	1	35,970,438,037	36,039,487,002
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		73,905,202,187	77,203,376,625
元本等合計		109,875,640,224	113,242,863,627
純資産合計		109,875,640,224	113,242,863,627
負債純資産合計		110,777,260,486	114,025,127,023

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
本書における開示対象ファンドの当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが、本書における開示対象ファンドの翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区 分	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	36,198,377,442円	35,970,438,037円
同期中における追加設定元本額	6,558,691,677円	6,287,890,200円
同期中における一部解約元本額	6,786,631,082円	6,218,841,235円
同期末における元本額	35,970,438,037円	36,039,487,002円
元本の内訳*		
日本株アクティブファンド<適格機関投資家限定>	102,162,261円	124,118,346円
東京海上セレクション・日本株式	15,944,196,975円	15,704,682,286円
東京海上セレクション・バランス30	1,074,268,612円	1,041,799,489円
東京海上セレクション・バランス50	4,692,044,167円	4,572,274,374円
東京海上セレクション・バランス70	5,300,005,469円	5,209,979,810円
東京海上・年金運用型戦略ファンド（年1回決算型）	510,320,273円	671,642,664円
TMAバランス25VA 適格機関投資家限定	7,045,699円	5,826,373円
TMAバランス50VA 適格機関投資家限定	17,530,204円	12,488,009円
TMAバランス75VA 適格機関投資家限定	2,406,179円	2,294,937円
東京海上・日本株式GARP<適格機関投資家限定>	8,320,458,198円	8,694,380,714円
計	35,970,438,037円	36,039,487,002円
2. 1 本書における開示対象ファンドの計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	35,970,438,037口	36,039,487,002口

(注) *は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

・ 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行なっております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	当ファンドが運用する主な金融商品は「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券であります。当該有価証券には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。</p> <p>法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。</p> <p>これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。</p>	同左

金融商品の時価等に関する事項

区 分	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

(自 2023年6月21日 至 2024年6月20日)

売買目的有価証券

種 類	当期間の損益に含まれた評価差額
株式	1,240,711,788円
合計	1,240,711,788円

(注1)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(2024年3月22日から2024年6月20日まで)を指しております。

(自 2024年6月21日 至 2025年6月20日)

売買目的有価証券

種 類	当期間の損益に含まれた評価差額
株式	3,153,273,001円
合計	3,153,273,001円

(注1)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(2025年3月22日から2025年6月20日まで)を指しております。

(1口当たり情報に関する注記)

[2024年 6月20日現在]		[2025年 6月20日現在]	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3.0546円 30,546円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3.1422円 31,422円)

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

(単位：円)

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価	金額	
鹿島建設	406,100	3,756.00	1,525,311,600	
高砂熱学工業	61,800	6,871.00	424,627,800	
キッコーマン	669,100	1,279.50	856,113,450	
味の素	515,400	3,676.00	1,894,610,400	
キューピー	220,500	3,261.00	719,050,500	
東レ	1,138,700	970.10	1,104,652,870	
レゾナック・ホールディングス	188,500	3,098.00	583,973,000	
信越化学工業	765,100	4,408.00	3,372,560,800	
東京応化工業	304,400	4,008.00	1,220,035,200	
富士フイルムホールディングス	211,000	3,084.00	650,724,000	
ライオン	407,600	1,507.50	614,457,000	
武田薬品工業	15,700	4,288.00	67,321,600	
日本新薬	95,600	3,400.00	325,040,000	
中外製薬	276,600	7,189.00	1,988,477,400	
JCRファーマ	611,700	542.00	331,541,400	
第一三共	780,300	3,308.00	2,581,232,400	
住友電気工業	221,200	2,862.00	633,074,400	
フジクラ	173,200	6,860.00	1,188,152,000	
三浦工業	170,200	2,801.00	476,730,200	
ディスコ	52,300	36,690.00	1,918,887,000	
荏原製作所	429,500	2,267.50	973,891,250	
THK	149,500	3,868.00	578,266,000	
三菱重工業	641,400	3,450.00	2,212,830,000	
イビデン	297,600	5,988.00	1,782,028,800	
日立製作所	282,000	3,990.00	1,125,180,000	
三菱電機	734,700	3,007.00	2,209,242,900	
ニデック	547,100	2,872.00	1,571,271,200	
ジーエス・ユアサ コーポレーション	172,000	2,573.50	442,642,000	
日本電気	789,400	4,094.00	3,231,803,600	
富士通	679,800	3,410.00	2,318,118,000	
ルネサスエレクトロニクス	1,305,000	1,932.50	2,521,912,500	
ソニーグループ	1,807,000	3,607.00	6,517,849,000	
日本光電工業	282,300	1,693.50	478,075,050	
アドバンテスト	253,100	9,831.00	2,488,226,100	
キーエンス	38,800	56,180.00	2,179,784,000	

シスメックス	273,100	2,453.00	669,914,300	
村田製作所	816,200	2,063.50	1,684,228,700	
東京エレクトロン	60,100	23,985.00	1,441,498,500	
川崎重工業	69,700	10,330.00	720,001,000	
トヨタ自動車	1,715,700	2,502.50	4,293,539,250	
アイシン	458,600	1,802.50	826,626,500	
スズキ	831,900	1,696.50	1,411,318,350	
シマノ	34,600	20,120.00	696,152,000	
HOYA	81,600	16,885.00	1,377,816,000	
バンダイナムコホールディングス	517,100	4,894.00	2,530,687,400	
任天堂	256,200	12,730.00	3,261,426,000	
東日本旅客鉄道	350,100	3,050.00	1,067,805,000	
山九	75,400	7,726.00	582,540,400	
九州旅客鉄道	158,100	3,751.00	593,033,100	
GMOペイメントゲートウェイ	131,400	8,930.00	1,173,402,000	
Appier Group	300,700	1,583.00	476,008,100	
野村総合研究所	190,300	5,838.00	1,110,971,400	
メルカリ	333,100	2,775.00	924,352,500	
LINEヤフー	2,740,300	538.40	1,475,377,520	
ANYCOLOR	146,400	5,080.00	743,712,000	
日本電信電話	13,248,800	152.30	2,017,792,240	
KADOKAWA	179,700	3,996.00	718,081,200	
東宝	121,000	8,149.00	986,029,000	
カプコン	216,500	4,712.00	1,020,148,000	
ソフトバンクグループ	345,600	8,979.00	3,103,142,400	
三井物産	327,500	2,922.50	957,118,750	
トラスコ中山	150,900	2,057.00	310,401,300	
良品計画	293,600	6,604.00	1,938,934,400	
パン・パシフィック・インターナショナル ホールディングス	218,700	4,778.00	1,044,948,600	
三菱UFJフィナンシャル・グループ	1,922,100	1,957.50	3,762,510,750	
三井住友フィナンシャルグループ	831,500	3,580.00	2,976,770,000	
第一生命ホールディングス	2,342,700	1,072.00	2,511,374,400	
オリックス	218,500	3,057.00	667,954,500	
SREホールディングス	95,200	3,600.00	342,720,000	
三井不動産	1,121,700	1,389.00	1,558,041,300	
エムスリー	675,100	1,994.00	1,346,149,400	
オリエンタルランド	196,500	3,200.00	628,800,000	
サイバーエージェント	815,300	1,547.50	1,261,676,750	
テクノプロ・ホールディングス	129,200	4,161.00	537,601,200	
リクルートホールディングス	280,700	7,772.00	2,181,600,400	
ベイカレント	130,800	7,329.00	958,633,200	
共立メンテナンス	153,600	3,333.00	511,948,800	
合 計	49,250,000	-	111,510,480,030	

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「TMA日本債券マザーファンド」の状況

(1) 貸借対照表

区 分	注記 番号	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
預金		557,000	
コール・ローン		352,499,518	606,423,258
国債証券		47,038,843,220	51,710,458,860
地方債証券		2,581,328,000	1,857,161,000
社債券		31,480,122,664	24,778,967,730
未収入金		1,134,821,410	9,424,680,540
未収利息		87,054,304	82,944,225
前払費用		43,517,632	75,234,342
流動資産合計		82,718,743,748	88,535,869,955
資産合計		82,718,743,748	88,535,869,955
負債の部			
流動負債			
未払金		1,093,856,440	9,434,977,830
未払解約金		246,802,225	242,081,631
流動負債合計		1,340,658,665	9,677,059,461
負債合計		1,340,658,665	9,677,059,461
純資産の部			
元本等			
元本	1	61,699,123,236	61,650,480,129
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		19,678,961,847	17,208,330,365
元本等合計		81,378,085,083	78,858,810,494
純資産合計		81,378,085,083	78,858,810,494
負債純資産合計		82,718,743,748	88,535,869,955

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券及び社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
本書における開示対象ファンドの当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが、本書における開示対象ファンドの翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区 分	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	59,298,643,500円	61,699,123,236円
同期中における追加設定元本額	15,705,407,818円	13,627,144,394円
同期中における一部解約元本額	13,304,928,082円	13,675,787,501円
同期末における元本額	61,699,123,236円	61,650,480,129円
元本の内訳*		
東京海上セレクション・バランス30	5,893,473,662円	6,025,941,890円
東京海上セレクション・バランス50	8,449,632,480円	8,679,886,800円
東京海上セレクション・バランス70	2,474,463,552円	2,563,802,227円
東京海上セレクション・日本債券	10,810,336,399円	10,408,675,366円
東京海上・日本債券オープン（野村SMA向け）	3,959,955,256円	3,137,597,938円
東京海上・日本債券オープン（野村SMA・EW向け）	28,735,777,014円	29,030,412,805円
東京海上・年金運用型戦略ファンド（年1回決算型）	1,191,210,515円	1,652,871,085円
TMAバランス25VA 適格機関投資家限定	98,686,111円	86,057,171円
TMAバランス50VA 適格機関投資家限定	81,843,748円	61,470,157円
TMAバランス75VA 適格機関投資家限定	3,744,499円	3,764,690円
計	61,699,123,236円	61,650,480,129円

2. 1 本書における開示対象ファンドの計算期間 末日における当該親投資信託の受益権の総 数	61,699,123,236口	61,650,480,129口
--	-----------------	-----------------

(注) *は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

・金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行なっております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	当ファンドが運用する主な金融商品は「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券及びデリバティブ取引であります。デリバティブ取引には、先物取引が含まれております。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。 法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。 これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。	同左

・金融商品の時価等に関する事項

区 分	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左

<p>2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項</p>	<p>(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 （デリバティブ取引等に関する注記）に記載しております。</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左</p>
<p>3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明</p>	<p>金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>	<p>同左</p>

（有価証券に関する注記）

（自 2023年6月21日 至 2024年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	683,949,190円
地方債証券	18,672,000円
社債券	73,075,305円
合計	775,696,495円

(注1)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(2024年3月22日から2024年6月20日まで)を指しております。

（自 2024年6月21日 至 2025年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	1,179,460円
地方債証券	23,038,000円
社債券	158,575,388円
合計	180,433,928円

(注1)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(2025年3月22日から2025年6月20日まで)を指しております。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（2024年6月20日現在）

該当事項はありません。

（2025年6月20日現在）

該当事項はありません。

（1口当たり情報に関する注記）

[2024年 6月20日現在]		[2025年 6月20日現在]	
1口当たり純資産額	1.3190円	1口当たり純資産額	1.2791円
（1万口当たり純資産額	13,190円）	（1万口当たり純資産額	12,791円）

（3）附属明細表

第1 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

(単位：円)

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備 考
国債証券	第 4 7 3 回利付国債（ 2 年）	5,935,000,000	5,944,080,550	
	第 1 7 8 回利付国債（ 5 年）	8,642,000,000	8,661,530,920	
	第 1 5 回利付国債（ 4 0 年）	263,000,000	146,383,170	
	第 1 7 回利付国債（ 4 0 年）	817,000,000	656,377,800	
	第 1 8 回利付国債（ 4 0 年）	1,600,000,000	1,601,424,000	
	第 2 回利付国債（ 5 年）	78,000,000	76,782,420	
	第 3 4 2 回利付国債（ 1 0 年）	2,063,000,000	2,057,429,900	
	第 3 4 3 回利付国債（ 1 0 年）	1,975,000,000	1,966,408,750	
	第 3 6 8 回利付国債（ 1 0 年）	2,722,000,000	2,550,786,200	
	第 5 2 回利付国債（ 3 0 年）	1,157,000,000	787,315,360	
	第 5 6 回利付国債（ 3 0 年）	1,040,000,000	742,175,200	
	第 5 7 回利付国債（ 3 0 年）	14,000,000	9,936,780	
	第 6 6 回利付国債（ 3 0 年）	1,118,000,000	669,111,820	
	第 6 7 回利付国債（ 3 0 年）	1,603,000,000	1,009,521,310	
	第 6 8 回利付国債（ 3 0 年）	515,000,000	321,514,500	
	第 6 9 回利付国債（ 3 0 年）	561,000,000	357,564,570	
	第 7 0 回利付国債（ 3 0 年）	1,262,000,000	798,656,700	
	第 8 1 回利付国債（ 3 0 年）	281,000,000	215,434,270	
	第 8 2 回利付国債（ 3 0 年）	695,000,000	558,522,850	
	第 8 3 回利付国債（ 3 0 年）	7,000,000	6,165,110	
	第 8 4 回利付国債（ 3 0 年）	1,079,000,000	928,447,130	
	第 8 6 回利付国債（ 3 0 年）	11,000,000	10,121,650	
	第 1 5 8 回利付国債（ 2 0 年）	3,262,000,000	2,900,700,880	
	第 1 5 9 回利付国債（ 2 0 年）	11,000,000	9,836,530	
	第 1 6 3 回利付国債（ 2 0 年）	1,461,000,000	1,275,029,310	
	第 1 6 5 回利付国債（ 2 0 年）	4,589,000,000	3,901,246,570	
	第 1 6 6 回利付国債（ 2 0 年）	769,000,000	667,468,930	
	第 1 6 7 回利付国債（ 2 0 年）	979,000,000	821,214,570	
	第 1 6 8 回利付国債（ 2 0 年）	2,380,000,000	1,953,765,800	
	第 1 6 9 回利付国債（ 2 0 年）	720,000,000	577,965,600	
	第 1 7 0 回利付国債（ 2 0 年）	1,063,000,000	847,168,480	
	第 1 7 1 回利付国債（ 2 0 年）	661,000,000	522,692,360	
	第 1 7 2 回利付国債（ 2 0 年）	685,000,000	546,540,950	
第 1 7 3 回利付国債（ 2 0 年）	3,098,000,000	2,454,111,680		
第 1 7 4 回利付国債（ 2 0 年）	993,000,000	780,934,920		
第 1 7 5 回利付国債（ 2 0 年）	338,000,000	268,348,340		
第 1 9 2 回利付国債（ 2 0 年）	4,083,000,000	4,107,742,980		
国債証券	合計	58,530,000,000	51,710,458,860	
地方債証券	令和 6 年度第 3 回北海道公募公債	100,000,000	96,444,000	
	令和 6 年度第 4 回京都府公募公債	100,000,000	97,102,000	
	令和 6 年度第 2 回兵庫県公募公債	200,000,000	191,670,000	
	令和 6 年度第 1 回静岡県公募公債	100,000,000	95,234,000	

	令和7年度第5回静岡県公募公債	100,000,000	101,219,000	
	令和6年度第3回愛知県公募公債(10年)	100,000,000	96,546,000	
	令和7年度第5回愛知県公募公債(10年)	100,000,000	101,080,000	
	令和6年度第1回広島県公募公債	200,000,000	191,748,000	
	令和6年度第1回埼玉県公募公債(10年)	100,000,000	95,153,000	
	令和7年度第4回埼玉県公募公債(10年)	100,000,000	101,079,000	
	令和6年度第2回千葉県公募公債	100,000,000	95,873,000	
	令和6年度第1回茨城県公募公債	100,000,000	96,483,000	
	第30回群馬県公募公債(10年)	100,000,000	96,831,000	
	第32回群馬県公募公債(10年)	100,000,000	101,290,000	
	第267回共同発行市場公募地方債	100,000,000	101,288,000	
	第528回名古屋市公募公債(10年)	100,000,000	96,831,000	
	第532回名古屋市公募公債(10年)	100,000,000	101,290,000	
地方債証券	合計	1,900,000,000	1,857,161,000	
社債券	第9回BPCE円貨社債(劣後)	200,000,000	197,114,000	
	第1回クレディ・アグリコル円貨社債(劣後)	100,000,000	100,016,000	
	第9回クレディ・アグリコル円貨社債	200,000,000	198,412,000	
	第11回ロイズ・バンキング・グループ円貨社債(2023)	100,000,000	99,464,000	
	第12回ロイズ・バンキング・グループ円貨社債(2023)	200,000,000	200,316,000	
	第2回ヤンマーホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	99,288,000	
	第70回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	26,258,000	26,090,999	
	第2回貸付債権担保T種住宅金融支援機構債券	21,236,000	20,892,826	
	第9回貸付債権担保T種住宅金融支援機構債券	40,250,000	39,139,905	
	第1回国際石油開発帝石株式会社無担保社債	100,000,000	99,512,000	
	第2回国際石油開発帝石株式会社無担保社債	100,000,000	94,260,000	
	第2回株式会社高松コンストラクショングループ無担保社債	200,000,000	198,996,000	
	第30回清水建設株式会社無担保社債	200,000,000	189,744,000	
	第14回株式会社長谷工コーポレーション無担保社債	100,000,000	95,306,000	

第12回西松建設株式会社無担保社債	100,000,000	97,248,000	
第25回大和ハウス工業株式会社無担保社債	100,000,000	93,636,000	
第4回大和ハウス工業株式会社無担保社債(劣後)	100,000,000	97,848,000	
第5回大和ハウス工業株式会社無担保社債(劣後)	200,000,000	198,900,000	
第2回積水ハウス株式会社無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	198,912,000	
第22回積水ハウス株式会社無担保社債	200,000,000	195,988,000	
第26回積水ハウス株式会社無担保社債	100,000,000	98,437,000	
第4回高砂熱学工業株式会社無担保社債	100,000,000	99,720,000	
ノルデア・バンクEMTN2025	300,000,000	300,003,000	
第22回森永乳業株式会社無担保社債	100,000,000	100,940,000	
第14回日本ハム株式会社無担保社債	300,000,000	283,320,000	
第17回日本ハム株式会社無担保社債	100,000,000	98,441,000	
第1回アサヒグループホールディングス無担保社債(劣後)	200,000,000	200,152,000	
第23回アサヒグループホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	95,812,000	
第26回アサヒグループホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	96,609,000	
第27回アサヒグループホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	99,737,000	
第19回麒麟ホールディングス株式会社無担保社債	200,000,000	198,742,000	
第35回双日株式会社無担保社債	100,000,000	98,271,000	
第1回アルフレッサホールディングス無担保社債	100,000,000	98,430,000	
第18回日本たばこ産業株式会社社債	100,000,000	99,770,000	
第6回日鉄興和不動産株式会社無担保社債	100,000,000	98,064,000	
第2回中央日本土地建物グループ株式会社無担保社債	100,000,000	97,386,000	
第7回中央日本土地建物グループ株式会社無担保社債	100,000,000	98,020,000	
第7回ヒューリック株式会社無担保社債(劣後)	100,000,000	100,062,000	
第6回日本アコモデーションファンド投資法人無担保投資法人債	200,000,000	185,026,000	
第15回野村不動産ホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	93,810,000	

第28回旭化成株式会社無担保社債	400,000,000	391,748,000	
第1回三井不動産ロジスティクスパーク投資法人債	100,000,000	94,566,000	
第28回北越コーポレーション株式会社無担保社債	300,000,000	296,832,000	
第3回日本酸素ホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	99,397,000	
第58回三井化学株式会社無担保社債	400,000,000	391,860,000	
第41回株式会社三菱ケミカルホールディングス無担保社債	300,000,000	279,738,000	
第16回ダイセル化学工業株式会社無担保社債	100,000,000	98,117,000	
第2回武田薬品工業株式会社無担保社債(劣後)	500,000,000	496,750,000	
第17回武田薬品工業株式会社無担保社債	100,000,000	100,475,000	
第19回武田薬品工業株式会社無担保社債	100,000,000	100,702,000	
第21回富士フイルムホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	98,717,000	
第23回富士フイルムホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	97,640,000	
第12回出光興産株式会社無担保社債	100,000,000	94,998,000	
第1回ENEOSホールディングス株式会社無担保社債(劣後)	200,000,000	198,786,000	
第5回AGC株式会社無担保社債	100,000,000	100,330,000	
第4回日本製鉄株式会社無担保社債(劣後)	200,000,000	195,638,000	
第22回三井金属鉱業株式会社無担保社債	100,000,000	98,505,000	
第32回住友電気工業株式会社無担保社債	100,000,000	97,082,000	
第18回株式会社フジクラ無担保社債	100,000,000	100,272,000	
第9回日本発条株式会社無担保社債	200,000,000	198,176,000	
第8回住友重機械工業株式会社無担保社債	100,000,000	97,933,000	
第9回住友重機械工業株式会社無担保社債	100,000,000	98,346,000	
第33回ダイキン工業株式会社無担保社債	100,000,000	97,258,000	
第12回株式会社ジェイテクト無担保社債	100,000,000	98,084,000	
第22回株式会社日立製作所無担保社債	100,000,000	97,320,000	
第1回株式会社安川電機無担保社債	100,000,000	99,350,000	

第16回日本電産株式会社無担保社債	100,000,000	98,497,000	
第1回パナソニック株式会社無担保社債(劣後)	500,000,000	496,400,000	
第40回ソニーグループ株式会社無担保社債	300,000,000	294,885,000	
第43回ソニーグループ株式会社無担保社債	200,000,000	199,732,000	
第14回TDK株式会社無担保社債	100,000,000	100,425,000	
第6回スタンレー電気株式会社無担保社債	100,000,000	98,579,000	
第31回いすゞ自動車株式会社無担保社債	100,000,000	97,870,000	
第26回トヨタ自動車株式会社無担保社債	200,000,000	199,016,000	
第8回株式会社ヤマハ発動機無担保社債	300,000,000	300,510,000	
第9回株式会社ヤマハ発動機無担保社債	100,000,000	100,287,000	
第1回日本生命第1回劣後ローン流動化株式会社無担保社債(劣後)	200,000,000	197,016,000	
第1回日本生命第2回劣後ローン流動化株式会社無担保社債(劣後)	300,000,000	294,294,000	
第4回シチズン時計株式会社無担保社債	100,000,000	98,290,000	
第5回兼松株式会社無担保社債	100,000,000	98,415,000	
第83回三菱商事株式会社無担保社債	200,000,000	190,806,000	
第7回三菱商事株式会社無担保社債(劣後)	500,000,000	495,000,000	
第3回岩谷産業株式会社無担保社債	100,000,000	97,105,000	
第44回株式会社丸井グループ無担保社債	200,000,000	195,642,000	
第27回株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(劣後)	200,000,000	200,610,000	
第20回三井住友トラスト・ホールディングス無担保社債(劣後)	100,000,000	98,723,000	
第23回三井住友トラスト・ホールディングス無担保社債(劣後)	100,000,000	99,087,000	
第9回三井住友トラスト・ホールディングス無担保社債(劣後)	100,000,000	100,465,000	
第22回株式会社三井住友フィナンシャルグループ(劣後)	100,000,000	100,420,000	
第1回株式会社三井住友フィナンシャルグループ	200,000,000	199,972,000	
第4回株式会社三井住友フィナンシャルグループ	200,000,000	199,194,000	

第2回株式会社北國銀行無担保社債(劣後)	200,000,000	199,162,000	
第28回三井住友信託銀行株式会社無担保社債	400,000,000	391,176,000	
第21回みずほフィナンシャルグループ(劣後)	300,000,000	300,222,000	
第1回芙蓉総合リース株式会社無担保社債(劣後)	100,000,000	99,872,000	
第34回NTTファイナンス株式会社無担保社債	400,000,000	390,936,000	
第36回NTTファイナンス株式会社無担保社債	300,000,000	294,789,000	
第38回NTTファイナンス株式会社無担保社債	100,000,000	96,195,000	
第4回東京センチュリー株式会社無担保社債(劣後)	100,000,000	99,496,000	
第82回株式会社ホンダファイナンス無担保社債	100,000,000	99,225,000	
第41回SBIホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	99,641,000	
第65回アイフル株式会社無担保社債	100,000,000	99,917,000	
第70回アイフル株式会社無担保社債	300,000,000	299,481,000	
第16回イオンフィナンシャルサービス株式会社無担保社債	100,000,000	99,993,000	
第17回イオンフィナンシャルサービス株式会社無担保社債	100,000,000	99,182,000	
第22回イオンフィナンシャルサービス株式会社無担保社債	300,000,000	296,550,000	
第24回イオンフィナンシャルサービス株式会社無担保社債	100,000,000	100,366,000	
第80回アコム株式会社無担保社債	100,000,000	99,583,000	
第82回アコム株式会社無担保社債	200,000,000	198,710,000	
第85回アコム株式会社無担保社債	200,000,000	195,806,000	
第32回株式会社ジャックス無担保社債	100,000,000	99,311,000	
第35回株式会社ジャックス無担保社債	100,000,000	98,827,000	
第7回オリックス株式会社無担保社債(劣後)	100,000,000	100,303,000	
第1回三菱HCキャピタル株式会社無担保社債(劣後)	200,000,000	197,948,000	
第46回株式会社大和証券グループ本社無担保社債	200,000,000	200,342,000	
第4回野村ホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	100,163,000	

第1回株式会社SBI証券無担保社債(劣後)	100,000,000	100,373,000	
第1回アニコムホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	99,869,000	
第1回株式会社T&Dホールディングス無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	196,350,000	
第3回株式会社T&Dホールディングス無担保社債(劣後)	100,000,000	95,139,000	
第89回三井不動産株式会社無担保社債	100,000,000	101,196,000	
第135回三菱地所株式会社無担保社債	100,000,000	93,558,000	
第4回東京建物株式会社無担保社債(劣後)	100,000,000	100,375,000	
第109回住友不動産株式会社無担保社債	100,000,000	93,613,000	
第110回住友不動産株式会社無担保社債	100,000,000	92,989,000	
第10回N.T.T都市開発リート投資法人無担保投資法人債	100,000,000	94,191,000	
第134回東武鉄道株式会社無担保社債	100,000,000	98,590,000	
第62回京成電鉄株式会社無担保社債	100,000,000	97,889,000	
第163回東日本旅客鉄道株式会社無担保普通社債	200,000,000	198,932,000	
第164回東日本旅客鉄道株式会社無担保普通社債	500,000,000	470,940,000	
第124回近鉄グループホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	98,018,000	
第126回近鉄グループホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	98,232,000	
第62回阪急阪神ホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	93,172,000	
第70回阪急阪神ホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	97,800,000	
第75回名古屋鉄道株式会社無担保社債	100,000,000	99,822,000	
第1回ヤマトホールディングス株式会社無担保社債	100,000,000	97,895,000	
第7回横浜高速鉄道株式会社無担保社債	100,000,000	93,212,000	
第8回九州旅客鉄道株式会社無担保社債	200,000,000	187,980,000	
第1回日本航空株式会社(劣後)	500,000,000	507,965,000	
第21回三菱倉庫株式会社無担保社債	100,000,000	94,725,000	
第4回株式会社ヤマタネ無担保社債	200,000,000	199,472,000	
第33回KDDI株式会社無担保社債	300,000,000	296,694,000	

第35回KDDI株式会社無担保社債	200,000,000	195,902,000	
第37回KDDI株式会社無担保社債	300,000,000	297,417,000	
第12回ソフトバンク無担保社債	100,000,000	97,132,000	
第21回ソフトバンク無担保社債	100,000,000	98,188,000	
第26回ソフトバンク無担保社債	300,000,000	296,016,000	
第46回株式会社光通信無担保社債	100,000,000	98,213,000	
第2回GMOインターネット株式会社無担保社債	100,000,000	99,141,000	
第1回関西電力株式会社無担保社債(劣後)	300,000,000	297,189,000	
第3回九州電力株式会社無担保社債(劣後)	100,000,000	96,319,000	
第82回東京電力パワーグリッド株式会社社債	400,000,000	400,972,000	
第83回東京電力パワーグリッド株式会社社債	100,000,000	101,358,000	
第2回大阪瓦斯株式会社無担保社債(劣後)	100,000,000	95,353,000	
第8回SCSK株式会社無担保社債	100,000,000	99,281,000	
第9回SCSK株式会社無担保社債	100,000,000	97,776,000	
第11回SCSK株式会社無担保社債	100,000,000	100,828,000	
社債券 合計	25,187,744,000	24,778,967,730	
合計	85,617,744,000	78,346,587,590	

第2 信用取引契約残高明細表
該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はありません。

「TMA外国株式マザーファンド」の状況

(1) 貸借対照表

区 分	注記 番号	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
		金額(円)	金額(円)
資産の部			
流動資産			
預金		377,713,396	1,124,583,040
コール・ローン		2,247,781,204	1,364,895,160
株式		89,599,046,249	84,052,770,116
未収配当金		55,926,171	41,164,894
未収利息		4,190	17,500
流動資産合計		92,280,471,210	86,583,430,710
資産合計		92,280,471,210	86,583,430,710
負債の部			
流動負債			
未払解約金		706,984,871	792,147,411
流動負債合計		706,984,871	792,147,411
負債合計		706,984,871	792,147,411
純資産の部			
元本等			
元本	1	11,897,984,434	11,729,557,086
剰余金			
剰余金又は欠損金()		79,675,501,905	74,061,726,213
元本等合計		91,573,486,339	85,791,283,299
純資産合計		91,573,486,339	85,791,283,299
負債純資産合計		92,280,471,210	86,583,430,710

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として本書における開示対象ファンドの計算期間末日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には、発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
本書における開示対象ファンドの当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが、本書における開示対象ファンドの翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区 分	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	11,881,066,942円	11,897,984,434円
同期中における追加設定元本額	2,179,540,525円	2,016,993,394円
同期中における一部解約元本額	2,162,623,033円	2,185,420,742円
同期末における元本額	11,897,984,434円	11,729,557,086円
元本の内訳*		
東京海上セレクション・外国株式	9,713,377,732円	9,450,775,925円
東京海上セレクション・バランス30	225,467,642円	225,852,001円
東京海上セレクション・バランス50	844,062,969円	849,493,895円
東京海上セレクション・バランス70	889,827,881円	903,336,149円

東京海上・年金運用型戦略ファンド（年1回決算型）	213,925,107円	291,163,568円
TMAバランス25VA 適格機関投資家限定	2,956,853円	2,526,462円
TMAバランス50VA 適格機関投資家限定	7,356,540円	5,414,255円
TMAバランス75VA 適格機関投資家限定	1,009,710円	994,831円
計	11,897,984,434円	11,729,557,086円
2. 1 本書における開示対象ファンドの計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	11,897,984,434口	11,729,557,086口

（注）* は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

・金融商品の状況に関する事項

区分	自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行なっております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	当ファンドが運用する主な金融商品は「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券及びデリバティブ取引であります。デリバティブ取引には、為替予約取引が含まれております。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としております。 法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っております。 これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。	同左

・金融商品の時価等に関する事項

区 分	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 （デリバティブ取引等に関する注記）に記載しております。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左

（有価証券に関する注記）

（自 2023年6月21日 至 2024年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当期間の損益に含まれた評価差額
株式	4,766,208,842円
合計	4,766,208,842円

(注1)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(2024年3月22日から2024年6月20日まで)を指しております。

（自 2024年6月21日 至 2025年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当期間の損益に含まれた評価差額
株式	1,738,632,222円
合計	1,738,632,222円

(注1)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(2025年3月22日から2025年6月20日まで)を指しております。

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(2024年6月20日現在)

該当事項はありません。

(2025年6月20日現在)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

[2024年 6月20日現在]		[2025年 6月20日現在]	
1口当たり純資産額	7.6966円	1口当たり純資産額	7.3141円
(1万口当たり純資産額	76,966円)	(1万口当たり純資産額	73,141円)

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価	金額	
米ドル	株	米ドル	米ドル	
CHEVRONTEXACO CORP	15,700	148.19	2,326,583.00	
CONOCOPHILLIPS	14,100	93.80	1,322,580.00	
EOG RESOURCES INC	12,200	123.78	1,510,116.00	
EXXON MOBIL CORPORATION	40,370	113.19	4,569,480.30	
HALLIBURTON CO	12,000	22.28	267,360.00	
KINDER MORGAN INC	12,000	27.57	330,840.00	
PHILLIPS 66	4,700	124.82	586,654.00	
SCHLUMBERGER LTD	10,000	35.85	358,500.00	
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	1,600	275.38	440,608.00	
BALL CORP	10,000	55.83	558,300.00	
CORTEVA INC	5,791	74.12	429,228.92	
DOW INC	5,791	28.50	165,043.50	
DUPONT DE NEMOURS INC	5,791	66.86	387,186.26	
ECOLAB INC	1,500	260.22	390,330.00	
INTERNATIONAL PAPER CO	5,000	46.12	230,600.00	
LINDE PLC	3,300	458.70	1,513,710.00	
PPG INDUSTRIES INC	2,200	108.24	238,128.00	
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	1,800	331.47	596,646.00	
AMETEK INC	23,100	177.76	4,106,256.00	
COPART INC	262,000	47.88	12,544,560.00	
ROLLINS INC	126,500	56.08	7,094,120.00	
VERISK ANALYTICS INC	37,300	306.27	11,423,871.00	
ALPHABET INC-CL A	90,800	173.32	15,737,456.00	
ALPHABET INC-CL C	91,200	173.98	15,866,976.00	
NETFLIX INC	13,700	1,222.29	16,745,373.00	
THE WALT DISNEY CO	32,800	117.86	3,865,808.00	

AMAZON.COM INC	132,600	212.52	28,180,152.00	
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	193,500	88.32	17,089,920.00	
POOL CORP	21,700	285.00	6,184,500.00	
TJX COMPANIES INC	102,700	122.54	12,584,858.00	
COSTCO WHOLESALE CORP	17,800	974.90	17,353,220.00	
MONDELEZ INTERNATIONAL INC	45,800	66.35	3,038,830.00	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	67,000	182.61	12,234,870.00	
CHURCH & DWIGHT CO INC	58,300	95.89	5,590,387.00	
MEDTRONIC PLC	28,500	85.73	2,443,305.00	
UNITEDHEALTH GROUP INC	39,100	307.20	12,011,520.00	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	7,500	55.24	414,300.00	
ELI LILLY AND COMPANY	15,100	785.03	11,853,953.00	
MERCK & CO. INC.	64,600	79.29	5,122,134.00	
ZOETIS INC	72,100	155.06	11,179,826.00	
HDFC Bank Ltd	142,800	74.40	10,624,320.00	
MASTERCARD INC - A	35,300	538.73	19,017,169.00	
MOODY'S CORP	7,100	470.51	3,340,621.00	
MSCI INC	28,300	543.72	15,387,276.00	
VISA INC-CLASS A SHARES	60,800	340.38	20,695,104.00	
ADOBE INC	23,200	378.04	8,770,528.00	
MICROSOFT CORP	103,200	480.24	49,560,768.00	
SALESFORCE INC	47,700	259.50	12,378,150.00	
APPLE INC	92,300	196.58	18,144,334.00	
ARISTA NETWORKS INC	39,600	90.24	3,573,504.00	
AMERICAN ELECTRIC POWER	4,900	101.20	495,880.00	
CONSTELLATION ENERGY	2,833	306.43	868,116.19	
DOMINION ENERGY INC	4,000	54.18	216,720.00	
DUKE ENERGY CORP	10,300	114.58	1,180,174.00	
EXELON CORP	8,500	42.37	360,145.00	
NEXTERA ENERGY INC	25,100	71.57	1,796,407.00	
PPL CORPORATION	30,600	33.59	1,027,854.00	
SOUTHERN CO	12,200	88.63	1,081,286.00	
NVIDIA CORP	289,800	145.48	42,160,104.00	
Taiwan Semiconductor Manufacturing	42,400	213.50	9,052,400.00	
米ドル小計	2,718,476		468,618,949.17 (68,113,764,261)	
	銘柄数	60		
	比率	79.4%	81.0%	
加ドル	株	加ドル	加ドル	
ENBRIDGE INC	13,000	61.48	799,240.00	
SOUTH BOW CORP-W/I	2,000	35.95	71,900.00	
SUNCOR ENERGY INC	12,900	55.14	711,306.00	
TC ENERGY CORP	10,000	65.00	650,000.00	

DOLLARAMA INC	72,600	189.29	13,742,454.00	
加ドル小計	110,500		15,974,900.00 (1,695,416,137)	
	銘柄数	5		
	比率	2.0%	2.0%	
ユーロ	株	ユーロ	ユーロ	
ENI SPA	25,400	14.25	362,102.40	
TOTALENERGIES SE	17,400	54.90	955,260.00	
AIR LIQUIDE	6,909	178.34	1,232,151.06	
AKZO NOBEL	5,333	56.60	301,847.80	
BASF SE	13,200	41.45	547,140.00	
SYMRISE AG	3,500	96.66	338,310.00	
HERMES INTERNATIONAL	6,800	2,226.00	15,136,800.00	
L'OREAL	23,100	363.60	8,399,160.00	
E.ON SE	50,000	15.18	759,000.00	
ENEL SPA	100,000	7.95	795,000.00	
ENGIE	8,000	19.52	156,160.00	
IBERDROLA SA	70,000	16.23	1,136,450.00	
ASML HOLDING NV	17,400	653.10	11,363,940.00	
ユーロ小計	347,042		41,483,321.26 (6,947,211,811)	
	銘柄数	13		
	比率	8.1%	8.3%	
英ポンド	株	英ポンド	英ポンド	
BP PLC	140,000	3.92	550,130.00	
SHELL PLC-NEW	47,300	26.98	1,276,154.00	
JOHNSON MATTHEY PLC	9,722	17.00	165,274.00	
ASTRAZENECA PLC	100,000	105.52	10,552,000.00	
NATIONAL GRID PLC	47,941	10.46	501,462.86	
英ポンド小計	344,963		13,045,020.86 (2,557,606,789)	
	銘柄数	5		
	比率	3.0%	3.0%	
スイスフラン	株	スイスフラン	スイスフラン	
GIVAUDAN-REG	300	4,035.00	1,210,500.00	
LONZA GROUP AG-REG	4,400	558.00	2,455,200.00	
ROCHE HOLDING AG-GENUSSS	25,600	260.00	6,656,000.00	
スイスフラン小計	30,300		10,321,700.00 (1,837,881,902)	
	銘柄数	3		
	比率	2.1%	2.2%	
スウェーデンクローネ	株	スウェーデン クローネ	スウェーデン クローネ	
ATLAS COPCO AB-A SHS	238,800	150.95	36,046,860.00	

スウェーデンクローネ小計	238,800		36,046,860.00 (544,307,586)	
	銘柄数	1		
	比率	0.6%	0.6%	
ノルウェークローネ	株	ノルウェークローネ	ノルウェークローネ	
EQUINOR ASA	45,000	285.90	12,865,500.00	
YARA INTERNATIONAL ASA	6,000	396.50	2,379,000.00	
ノルウェークローネ小計	51,000		15,244,500.00 (221,197,695)	
	銘柄数	2		
	比率	0.3%	0.3%	
デンマーククローネ	株	デンマーククローネ	デンマーククローネ	
NOVO NORDISK A/S-B	135,300	488.40	66,080,520.00	
デンマーククローネ小計	135,300		66,080,520.00 (1,483,507,674)	
	銘柄数	1		
	比率	1.7%	1.8%	
豪ドル	株	豪ドル	豪ドル	
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	7,228	25.63	185,253.64	
BHP GROUP LIMITED	40,000	36.13	1,445,200.00	
RIO TINTO LIMITED	10,000	103.55	1,035,500.00	
CSL LIMITED	17,800	238.71	4,249,038.00	
豪ドル小計	75,028		6,914,991.64 (651,876,261)	
	銘柄数	4		
	比率	0.8%	0.8%	
合計	株		円 84,052,770,116 (84,052,770,116)	
	4,051,409			

(注1) 通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2) 合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注3) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、および各小計欄の合計金額に対する比率であります。

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「TMA外国債券マザーファンド」の状況

(1) 貸借対照表

区 分	注記 番号	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
預金		137,912,830	164,417,568
コール・ローン		279,131,590	261,616,519
国債証券		35,343,477,002	35,343,821,600
未収入金		129,125,324	
未収利息		236,287,734	314,366,805
前払費用		47,265,529	31,801,842
流動資産合計		36,173,200,009	36,116,024,334
資産合計		36,173,200,009	36,116,024,334
負債の部			
流動負債			
未払金		132,359,656	
未払解約金		185,635,036	191,263,522
流動負債合計		317,994,692	191,263,522
負債合計		317,994,692	191,263,522
純資産の部			
元本等			
元本	1	11,866,020,160	12,158,366,869
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		23,989,185,157	23,766,393,943
元本等合計		35,855,205,317	35,924,760,812
純資産合計		35,855,205,317	35,924,760,812
負債純資産合計		36,173,200,009	36,116,024,334

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として本書における開示対象ファンドの計算期間末日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には、発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

(重要な会計上の見積りに関する注記)

自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
<p>本書における開示対象ファンドの当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが、本書における開示対象ファンドの翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。</p>	同左

(貸借対照表に関する注記)

区 分	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	11,205,436,529円	11,866,020,160円
同期中における追加設定元本額	2,557,745,612円	2,179,836,423円
同期中における一部解約元本額	1,897,161,981円	1,887,489,714円
同期末における元本額	11,866,020,160円	12,158,366,869円
元本の内訳*		
東京海上セレクション・外国債券	5,616,034,296円	5,576,551,372円
東京海上セレクション・バランス30	1,106,570,840円	1,124,667,589円
東京海上セレクション・バランス50	2,761,744,528円	2,820,251,478円
東京海上セレクション・バランス70	1,856,144,899円	1,911,928,722円

東京海上・年金運用型戦略ファンド（年1回決算型）	525,525,597円	724,967,708円
計	11,866,020,160円	12,158,366,869円
2. 1 本書における開示対象ファンドの計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	11,866,020,160口	12,158,366,869口

（注）＊は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

・金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2023年 6月21日 至 2024年 6月20日	自 2024年 6月21日 至 2025年 6月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行なっております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	当ファンドが運用する主な金融商品は「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券及びデリバティブ取引であります。デリバティブ取引には、為替予約取引が含まれております。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。 法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。 これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。	同左

・金融商品の時価等に関する事項

区 分	[2024年 6月20日現在]	[2025年 6月20日現在]
-----	-----------------	-----------------

1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	<p>(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 （デリバティブ取引等に関する注記）に記載しております。</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左

（有価証券に関する注記）

（自 2023年6月21日 至 2024年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	56,465,113円
合計	56,465,113円

(注1)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(2024年3月22日から2024年6月20日まで)を指しております。

（自 2024年6月21日 至 2025年6月20日）

売買目的有価証券

種 類	当期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	71,950,610円
合計	71,950,610円

(注1)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(2025年3月22日から2025年6月20日まで)を指しております。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（2024年6月20日現在）

該当事項はありません。

（2025年6月20日現在）

該当事項はありません。

（1口当たり情報に関する注記）

[2024年 6月20日現在]		[2025年 6月20日現在]	
1口当たり純資産額	3.0217円	1口当たり純資産額	2.9547円
（1万口当たり純資産額	30,217円）	（1万口当たり純資産額	29,547円）

（3）附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	米ドル			米ドル	
		T 0 1/2 10/31/27	4,300,000.00	3,972,125.00	
		T 0 3/4 01/31/28	1,000,000.00	922,304.69	
		T 0 3/4 04/30/26	1,800,000.00	1,748,045.73	
		T 0 3/4 05/31/26	400,000.00	387,463.94	
		T 0 3/4 08/31/26	200,000.00	192,269.53	
		T 0 3/8 09/30/27	900,000.00	831,339.84	
		T 0 5/8 07/31/26	3,100,000.00	2,983,507.82	
		T 0 5/8 11/30/27	4,900,000.00	4,529,341.80	
		T 0 5/8 12/31/27	2,800,000.00	2,581,140.63	
		T 1 07/31/28	5,400,000.00	4,944,796.84	
		T 1 1/4 03/31/28	3,000,000.00	2,792,050.77	
		T 1 1/4 04/30/28	1,900,000.00	1,764,699.21	
		T 1 1/4 05/31/28	300,000.00	278,109.37	
		T 1 1/4 06/30/28	2,100,000.00	1,942,417.97	
		T 1 1/4 09/30/28	100,000.00	91,878.90	
		T 1 1/8 08/31/28	700,000.00	642,031.25	
		T 1 3/4 08/15/41	3,500,000.00	2,288,466.81	
		T 1 3/8 10/31/28	100,000.00	92,066.40	
		T 1 3/8 11/15/40	1,000,000.00	628,027.34	
		T 2 1/2 02/15/46	3,600,000.00	2,453,906.23	
		T 2 11/15/41	1,000,000.00	677,675.78	
		T 2 3/4 05/31/29	1,000,000.00	956,992.19	
		T 2 3/4 08/15/42	1,200,000.00	904,359.37	
		T 2 3/4 11/15/42	200,000.00	150,023.43	
		T 2 3/8 02/15/42	6,900,000.00	4,942,529.27	
		T 2 3/8 04/30/26	2,600,000.00	2,560,301.17	
		T 2 5/8 02/15/29	300,000.00	286,851.56	
		T 2 7/8 04/30/29	200,000.00	192,468.75	
		T 2 7/8 05/15/43	1,500,000.00	1,139,062.50	
		T 2 7/8 08/15/28	200,000.00	193,898.43	
		T 2 7/8 11/15/46	200,000.00	144,882.81	
		T 3 02/15/47	1,600,000.00	1,182,000.00	
		T 3 02/15/49	1,100,000.00	796,662.10	
		T 3 05/15/45	3,900,000.00	2,939,015.62	
		T 3 05/15/47	2,200,000.00	1,621,125.00	
		T 3 1/2 01/31/28	1,400,000.00	1,386,246.09	
		T 3 1/8 02/15/43	1,600,000.00	1,267,687.50	
		T 3 1/8 05/15/48	4,200,000.00	3,133,593.75	
		T 3 1/8 08/15/44	500,000.00	388,300.78	
T 3 1/8 11/15/28	7,200,000.00	7,019,156.23			
T 3 3/4 06/30/30	1,800,000.00	1,779,820.30			

T 3 3/4 11/15/43	800,000.00	688,875.00	
T 3 3/4 12/31/28	2,700,000.00	2,685,234.36	
T 3 3/4 12/31/30	1,100,000.00	1,084,251.93	
T 3 5/8 02/15/44	4,000,000.00	3,374,843.76	
T 3 5/8 08/15/43	1,500,000.00	1,271,777.34	
T 3 5/8 09/30/31	1,000,000.00	973,222.66	
T 3 7/8 02/15/43	2,600,000.00	2,294,652.33	
T 3 7/8 05/15/43	1,100,000.00	968,214.84	
T 3 7/8 10/15/27	1,100,000.00	1,099,205.07	
T 4 01/31/29	1,000,000.00	1,002,539.05	
T 4 02/29/28	1,800,000.00	1,804,640.61	
T 4 1/2 02/15/44	1,900,000.00	1,810,566.41	
T 4 1/2 03/31/26	2,400,000.00	2,405,132.61	
T 4 1/4 02/28/29	1,300,000.00	1,314,396.48	
T 4 1/4 06/30/31	2,200,000.00	2,218,777.35	
T 4 1/8 08/15/44	2,000,000.00	1,807,109.38	
T 4 3/8 12/15/26	2,900,000.00	2,914,953.12	
T 4 5/8 04/30/31	2,200,000.00	2,262,777.35	
T 4 5/8 06/30/26	2,700,000.00	2,713,158.26	
T 4 7/8 04/30/26	5,000,000.00	5,028,507.15	
米ドル小計	123,200,000.00	109,451,477.76 (15,908,772,292)	
	銘柄数	61	
	比率	44.3%	45.0%
加ドル			加ドル
CAN 0 1/2 12/01/30	200,000.00	174,906.40	
CAN 1 1/2 06/01/31	1,000,000.00	915,726.77	
CAN 1 1/2 12/01/31	1,000,000.00	906,828.50	
CAN 1 1/4 06/01/30	700,000.00	645,284.72	
CAN 1 3/4 12/01/53	400,000.00	267,719.12	
CAN 2 06/01/32	800,000.00	742,477.67	
CAN 2 1/4 06/01/29	100,000.00	97,836.69	
CAN 2 12/01/51	700,000.00	506,687.92	
CAN 2 3/4 09/01/27	400,000.00	400,436.55	
CAN 2 3/4 12/01/55	200,000.00	168,212.18	
CAN 3 1/2 03/01/28	700,000.00	713,634.69	
CAN 3 1/2 09/01/29	100,000.00	102,429.31	
CAN 3 1/4 09/01/28	300,000.00	304,116.76	
CAN 3 1/4 12/01/33	200,000.00	199,844.01	
CAN 4 03/01/29	1,200,000.00	1,248,468.24	
CAN 4 06/01/41	100,000.00	105,989.34	
加ドル小計	8,100,000.00	7,500,598.87 (796,038,558)	
	銘柄数	16	

	比 率	2.2%	2.3%
メキシコペソ			メキシコペソ
MBONO 7 1/2 05/26/33		19,000,000.00	17,231,905.03
MBONO 7 3/4 11/13/42		31,000,000.00	25,543,145.33
MBONO 8 1/2 02/28/30		2,000,000.00	1,982,854.78
MBONO 8 1/2 03/01/29		55,000,000.00	54,753,219.95
MBONO 8 1/2 03/02/28		6,000,000.00	6,016,080.00
MBONO 8 1/2 05/31/29		5,000,000.00	4,973,055.15
MBONO 8 11/07/47		3,000,000.00	2,478,392.34
メキシコペソ小計		121,000,000.00	112,978,652.58 (863,699,203)
	銘柄数	7	
	比 率	2.4%	2.4%
ユーロ			ユーロ
BGB 0 10/22/27		100,000.00	95,499.75
BGB 0.35 06/22/32		100,000.00	84,861.05
BGB 0.8 06/22/27		400,000.00	391,079.80
BGB 0.8 06/22/28		100,000.00	96,221.60
BGB 2.15 06/22/66		100,000.00	64,006.76
BGB 2.85 10/22/34		300,000.00	295,459.74
BGB 3 1/2 06/22/55		200,000.00	185,797.20
BGB 3.1 06/22/35		100,000.00	99,914.50
BGB 3.3 06/22/54		300,000.00	270,039.37
BGB 3.45 06/22/43		100,000.00	97,487.55
BGB 4 03/28/32		200,000.00	215,813.50
BGB 4 1/4 03/28/41		500,000.00	542,127.50
BGB 5 03/28/35		500,000.00	581,190.35
BGB 5 1/2 03/28/28		200,000.00	218,179.20
BKO 2 12/10/26		400,000.00	400,881.12
BKO 2.2 03/11/27		200,000.00	201,198.30
BKO 2.7 09/17/26		100,000.00	101,033.15
BKO 2.9 06/18/26		600,000.00	606,093.72
BTPS 1.1 04/01/27		400,000.00	393,620.21
BTPS 2.55 02/25/27		300,000.00	302,292.78
BTPS 2.65 12/01/27		700,000.00	708,534.82
BTPS 2.8 06/15/29		100,000.00	101,348.81
BTPS 2.95 02/15/27		400,000.00	405,760.00
BTPS 3 10/01/29		400,000.00	407,159.40
BTPS 3.1 08/28/26		1,200,000.00	1,214,832.00
BTPS 3.15 11/15/31		400,000.00	404,084.84
BTPS 3.35 03/01/35		200,000.00	199,684.20
BTPS 3.35 07/01/29		100,000.00	103,225.50
BTPS 3.45 07/15/31		1,100,000.00	1,132,705.20
BTPS 3.65 08/01/35		600,000.00	608,986.56

BTPS 3.7 06/15/30	800,000.00	837,299.60	
BTPS 3.8 08/01/28	1,700,000.00	1,776,927.89	
BTPS 3.85 07/01/34	1,500,000.00	1,560,664.95	
BTPS 3.85 09/01/49	500,000.00	479,723.75	
BTPS 4 1/2 10/01/53	500,000.00	519,468.50	
BTPS 4 11/15/30	400,000.00	424,320.88	
BTPS 4 3/4 09/01/44	700,000.00	769,761.30	
BTPS 4.1 02/01/29	1,500,000.00	1,587,416.25	
BTPS 4.15 10/01/39	300,000.00	310,268.25	
BTPS 4.3 10/01/54	200,000.00	200,425.70	
BTPS 4.35 11/01/33	400,000.00	432,548.52	
BTPS 4.45 09/01/43	500,000.00	527,390.45	
BTPS 5 08/01/34	800,000.00	906,204.56	
BTPS 5 08/01/39	1,200,000.00	1,360,542.84	
BTPS 5 09/01/40	900,000.00	1,017,131.85	
BTPS 5 3/4 02/01/33	1,300,000.00	1,529,317.79	
DBR 1 05/15/38	200,000.00	162,609.73	
DBR 2 1/2 07/04/44	600,000.00	566,812.50	
DBR 2 1/2 08/15/46	600,000.00	562,818.37	
DBR 2.4 11/15/30	200,000.00	202,308.80	
DBR 2.6 05/15/41	200,000.00	193,755.80	
DBR 2.9 08/15/56	100,000.00	98,272.20	
DBR 3 1/4 07/04/42	400,000.00	421,527.48	
DBR 4 01/04/37	500,000.00	566,634.50	
DBR 4 3/4 07/04/40	500,000.00	618,505.50	
DBR 4.25 07/04/39	400,000.00	468,428.48	
FRTR 0 02/25/27	1,900,000.00	1,839,381.56	
FRTR 0 3/4 02/25/28	1,200,000.00	1,156,705.20	
FRTR 0 3/4 05/25/28	900,000.00	863,350.20	
FRTR 1 05/25/27	800,000.00	785,140.00	
FRTR 2 1/2 09/24/26	100,000.00	100,707.26	
FRTR 2 1/2 09/24/27	1,200,000.00	1,211,386.08	
FRTR 2 3/4 02/25/29	200,000.00	202,674.08	
FRTR 3 05/25/54	700,000.00	584,353.00	
FRTR 3 1/2 11/25/33	2,500,000.00	2,576,752.50	
FRTR 3 1/4 05/25/55	700,000.00	610,176.46	
FRTR 3 11/25/34	2,300,000.00	2,262,409.37	
FRTR 3 3/4 05/25/56	200,000.00	190,522.25	
FRTR 3.2 05/25/35	200,000.00	199,006.03	
FRTR 4 04/25/55	700,000.00	703,167.50	
FRTR 4 04/25/60	600,000.00	597,750.00	
FRTR 4 10/25/38	100,000.00	105,225.05	
FRTR 4 3/4 04/25/35	900,000.00	1,014,651.00	

FRTR4.5 04/25/41	1,300,000.00	1,433,991.91	
NETHER 0 01/15/29	300,000.00	278,510.77	
NETHER 0 3/4 07/15/28	300,000.00	288,725.64	
NETHER 2 01/15/54	100,000.00	79,359.22	
NETHER 2 1/2 01/15/30	300,000.00	303,440.43	
NETHER 3 1/4 01/15/44	200,000.00	206,264.80	
NETHER 3 3/4 01/15/42	400,000.00	438,792.40	
NETHER 4 01/15/37	300,000.00	334,192.80	
OBL 0 04/16/27	700,000.00	677,489.40	
OBL 2 1/2 10/11/29	1,300,000.00	1,322,958.00	
OBL 2.1 04/12/29	100,000.00	100,319.20	
OBL 2.2 04/13/28	200,000.00	201,733.00	
OBL 2.4 10/19/28	1,200,000.00	1,217,178.00	
RAGB 0 02/20/31	300,000.00	260,934.78	
RAGB 0 1/2 02/20/29	200,000.00	188,150.83	
RAGB 0 1/2 04/20/27	400,000.00	389,803.00	
RAGB 0 10/20/28	300,000.00	279,511.12	
RAGB 0 3/4 02/20/28	100,000.00	96,688.22	
RAGB 0 3/4 10/20/26	200,000.00	197,080.02	
RAGB 0.9 02/20/32	100,000.00	89,571.20	
RAGB 2.1 09/20/17	200,000.00	127,551.00	
RAGB 3.15 10/20/53	200,000.00	187,715.80	
RAGB 3.2 07/15/39	100,000.00	99,535.84	
RAGB 3.8 01/26/62	100,000.00	105,668.50	
SPGB 0 01/31/27	1,200,000.00	1,162,918.20	
SPGB 0 01/31/28	800,000.00	757,788.00	
SPGB 0.8 07/30/29	1,000,000.00	938,298.50	
SPGB 2 1/2 05/31/27	600,000.00	605,395.50	
SPGB 2.4 05/31/28	100,000.00	100,610.75	
SPGB 2.7 01/31/30	100,000.00	100,962.56	
SPGB 3 1/2 05/31/29	100,000.00	104,231.78	
SPGB 3 1/4 04/30/34	200,000.00	202,926.60	
SPGB 3.1 07/30/31	400,000.00	409,080.16	
SPGB 3.45 07/30/43	400,000.00	384,657.80	
SPGB 3.45 07/30/66	400,000.00	353,436.40	
SPGB 3.45 10/31/34	800,000.00	821,612.00	
SPGB 3.55 10/31/33	1,100,000.00	1,144,770.55	
SPGB 3.9 07/30/39	500,000.00	519,723.10	
SPGB 4 10/31/54	300,000.00	301,304.85	
SPGB 4.7 07/30/41	600,000.00	677,525.46	
SPGB 4.9 07/30/40	600,000.00	691,000.62	
SPGB 5.15 10/31/44	500,000.00	596,847.10	

ユーロ小計		61,100,000.00	62,411,818.27 (10,452,107,205)	
	銘柄数	115		
	比率	29.1%	29.6%	
英ポンド			英ポンド	
	UKT 0 7/8 07/31/33	1,000,000.00	765,272.00	
	UKT 1 1/2 07/22/26	300,000.00	292,857.90	
	UKT 1 5/8 10/22/54	200,000.00	93,253.40	
	UKT 2 1/2 07/22/65	700,000.00	389,907.70	
	UKT 3 1/2 01/22/45	400,000.00	318,918.40	
	UKT 3 1/2 07/22/68	700,000.00	503,352.50	
	UKT 3 1/4 01/22/44	300,000.00	232,712.70	
	UKT 3 1/4 01/31/33	300,000.00	279,772.20	
	UKT 3 3/4 03/07/27	2,000,000.00	1,995,390.00	
	UKT 3 3/4 10/22/53	500,000.00	388,908.50	
	UKT 4 01/22/60	600,000.00	483,502.80	
	UKT 4 1/2 03/07/35	600,000.00	598,573.80	
	UKT 4 1/2 06/07/28	900,000.00	914,933.70	
	UKT 4 1/4 07/31/34	1,200,000.00	1,181,000.40	
	UKT 4 1/4 12/07/40	500,000.00	462,567.00	
	UKT 4 1/4 12/07/46	900,000.00	790,731.90	
	UKT 4 1/4 12/07/49	600,000.00	519,681.22	
	UKT 4 1/4 12/07/55	900,000.00	764,348.40	
	UKT 4 1/8 01/29/27	200,000.00	200,662.60	
	UKT 4 1/8 07/22/29	400,000.00	402,491.20	
	UKT 4 10/22/31	800,000.00	792,644.80	
	UKT 4 10/22/63	500,000.00	399,760.00	
	UKT 4 3/4 10/22/43	500,000.00	477,934.50	
	UKT 4 3/8 01/31/40	100,000.00	94,350.90	
	UKT 4 3/8 03/07/28	400,000.00	404,509.60	
	UKT 4 3/8 03/07/30	100,000.00	101,476.40	
	UKT 4 3/8 07/31/54	600,000.00	520,818.60	
	UKT 4 5/8 01/31/34	1,000,000.00	1,014,984.00	
	UKT 4.5 09/07/34	500,000.00	502,568.50	
英ポンド小計		17,700,000.00	15,887,885.62 (3,114,978,854)	
	銘柄数	29		
	比率	8.7%	8.8%	

豪ドル			豪ドル	
	ACGB 1 1/2 06/21/31	100,000.00	88,199.00	
	ACGB 1 1/4 05/21/32	300,000.00	252,798.00	
	ACGB 1 11/21/31	1,600,000.00	1,348,208.00	
	ACGB 1 3/4 11/21/32	2,400,000.00	2,064,144.00	
	ACGB 2 1/4 05/21/28	400,000.00	387,944.00	
	ACGB 2 3/4 11/21/27	200,000.00	197,382.00	
	ACGB 3 03/21/47	500,000.00	379,245.00	
	ACGB 3 3/4 05/21/34	800,000.00	778,968.00	
	ACGB 4 1/2 04/21/33	2,000,000.00	2,070,720.00	
	ACGB 4 1/4 06/21/34	100,000.00	101,108.00	
	ACGB 4 3/4 04/21/27	1,100,000.00	1,128,149.00	
	ACGB 4 3/4 06/21/54	300,000.00	292,989.00	
豪ドル小計	9,800,000.00	9,089,854.00 (856,900,536)		
	銘柄数	12		
	比率	2.4%	2.4%	
オフショア人 民元			オフショア人民元	
	CGB 1.06 12/15/26	3,200,000.00	3,185,027.60	
	CGB 1.35 09/25/26	2,000,000.00	1,999,030.17	
	CGB 1.42 11/15/27	2,200,000.00	2,200,844.36	
	CGB 1.43 01/25/30	1,500,000.00	1,497,326.10	
	CGB 1.45 02/25/28	1,000,000.00	1,001,442.00	
	CGB 1.46 05/25/28	1,000,000.00	1,001,616.60	
	CGB 1.49 12/25/31	800,000.00	794,794.13	
	CGB 1.59 03/15/27	1,000,000.00	1,003,493.50	
	CGB 1.61 02/15/35	1,900,000.00	1,889,761.67	
	CGB 1.62 08/15/27	4,600,000.00	4,621,139.76	
	CGB 1.67 06/15/26	7,200,000.00	7,220,870.64	
	CGB 1.74 10/15/29	800,000.00	809,243.12	
	CGB 1.79 03/25/32	500,000.00	506,698.40	
	CGB 1.85 05/15/27	2,600,000.00	2,621,955.18	
	CGB 1.87 09/15/31	1,200,000.00	1,220,772.00	
	CGB 1.92 01/15/55	2,000,000.00	2,014,881.60	
	CGB 2 1/2 07/25/27	1,500,000.00	1,531,300.05	
	CGB 2 3/4 06/15/29	1,300,000.00	1,363,473.67	
	CGB 2.04 02/25/27	6,300,000.00	6,368,366.34	
	CGB 2.05 04/15/29	4,000,000.00	4,083,120.80	
	CGB 2.11 08/25/34	3,900,000.00	4,041,083.67	
	CGB 2.12 06/25/31	5,100,000.00	5,258,343.27	
	CGB 2.18 08/15/26	2,400,000.00	2,421,872.88	
CGB 2.27 05/25/34	1,000,000.00	1,049,278.70		
CGB 2.28 03/25/31	2,400,000.00	2,493,785.76		
CGB 2.35 02/25/34	8,100,000.00	8,537,500.44		

CGB 2.37 01/15/29	3,700,000.00	3,815,299.40	
CGB 2.37 01/20/27	900,000.00	913,837.59	
CGB 2.39 11/15/26	1,700,000.00	1,723,549.93	
CGB 2.4 07/15/28	3,800,000.00	3,909,098.76	
CGB 2.44 10/15/27	7,700,000.00	7,873,720.47	
CGB 2.48 04/15/27	900,000.00	917,717.85	
CGB 2.52 08/25/33	3,000,000.00	3,194,901.90	
CGB 2.54 12/25/30	6,700,000.00	7,046,637.90	
CGB 2.55 10/15/28	7,800,000.00	8,075,695.68	
CGB 2.6 09/01/32	1,800,000.00	1,922,480.46	
CGB 2.6 09/15/30	5,400,000.00	5,688,324.90	
CGB 2.62 04/15/28	600,000.00	619,735.80	
CGB 2.62 06/25/30	2,600,000.00	2,737,252.70	
CGB 2.62 09/25/29	1,000,000.00	1,046,244.30	
CGB 2.64 01/15/28	1,300,000.00	1,340,307.67	
CGB 2.67 05/25/33	2,000,000.00	2,150,333.60	
CGB 2.67 11/25/33	3,100,000.00	3,342,239.27	
CGB 2.68 05/21/30	400,000.00	422,031.48	
CGB 2.69 08/12/26	600,000.00	609,268.56	
CGB 2.69 08/15/32	500,000.00	536,550.80	
CGB 2.76 05/15/32	1,100,000.00	1,185,471.65	
CGB 2.79 12/15/29	6,700,000.00	7,077,725.23	
CGB 2.8 03/24/29	600,000.00	629,041.56	
CGB 2.8 03/25/30	900,000.00	953,843.49	
CGB 2.8 11/15/32	4,300,000.00	4,655,709.76	
CGB 2.88 02/25/33	1,500,000.00	1,636,684.50	
CGB 2.89 11/18/31	1,300,000.00	1,402,783.20	
CGB 2.91 10/14/28	400,000.00	419,182.12	
CGB 3 1/4 06/06/26	300,000.00	305,942.58	
CGB 3 1/4 11/22/28	1,000,000.00	1,063,774.90	
CGB 3 10/15/53	100,000.00	124,757.57	
CGB 3.01 05/13/28	200,000.00	209,262.40	
CGB 3.02 05/27/31	500,000.00	542,454.35	
CGB 3.12 10/25/52	3,200,000.00	4,007,090.24	
CGB 3.12 12/05/26	400,000.00	411,002.72	
CGB 3.19 04/15/53	1,300,000.00	1,655,915.95	
CGB 3.27 11/19/30	600,000.00	657,885.66	
CGB 3.32 04/15/52	800,000.00	1,033,035.84	
CGB 3.39 03/16/50	600,000.00	771,389.40	
CGB 3.53 10/18/51	1,200,000.00	1,595,998.44	
CGB 3.72 04/12/51	300,000.00	410,393.79	
CGB 3.81 09/14/50	3,500,000.00	4,859,003.45	
CGB 3.86 07/22/49	1,100,000.00	1,506,735.89	

オフショア人民元小計	156,900,000.00	165,737,336.12 (3,351,324,952)	
	銘柄数	69	
	比率	9.3%	9.5%
国債証券合計		円 35,343,821,600 (35,343,821,600)	
合計		円 35,343,821,600 (35,343,821,600)	

(注1) 通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2) 合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注3) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、および各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 信用取引契約残高明細表
該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はありません。

【中間財務諸表】

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第284条及び第307条の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づいて、当中間計算期間(2025年6月21日から2025年12月20日まで)の中間財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人により中間監査を受けております。

中間財務諸表

【東京海上セレクション・バランス30】

(1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

	前期 2025年 6月20日現在	当中間計算期間末 2025年12月20日現在
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	1,483,764
コール・ローン	491,995,150	530,689,629
親投資信託受益証券	15,956,284,070	16,961,631,203
未収入金	92,220,960	9,888,438
未収利息	6,308	13,196
流動資産合計	16,540,506,488	17,503,706,230
資産合計	16,540,506,488	17,503,706,230
負債の部		
流動負債		
未払解約金	19,170,337	34,944,857
未払受託者報酬	6,551,538	6,888,719
未払委託者報酬	69,105,219	72,661,695
その他未払費用	246,064	247,416
流動負債合計	95,073,158	114,742,687
負債合計	95,073,158	114,742,687
純資産の部		
元本等		
元本	1,728,164,359	1,726,673,183
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	8,717,268,971	9,662,290,360
（分配準備積立金）	3,337,499,865	3,157,063,259
元本等合計	16,445,433,330	17,388,963,543
純資産合計	16,445,433,330	17,388,963,543
負債純資産合計	16,540,506,488	17,503,706,230

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前中間計算期間 自 2024年 6月21日 至 2024年12月20日	当中間計算期間 自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
営業収益		
受取利息	461,375	1,203,445
有価証券売買等損益	27,544,014	1,028,983,071
営業収益合計	27,082,639	1,030,186,516
営業費用		
受託者報酬	6,635,531	6,888,719
委託者報酬	69,991,113	72,661,695
その他費用	247,416	247,416
営業費用合計	76,874,060	79,797,830
営業利益又は営業損失（ ）	103,956,699	950,388,686
経常利益又は経常損失（ ）	103,956,699	950,388,686
中間純利益又は中間純損失（ ）	103,956,699	950,388,686
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	7,919,871	37,949,946
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	9,004,509,278	8,717,268,971
剰余金増加額又は欠損金減少額	486,140,760	519,000,642
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	486,140,760	519,000,642
剰余金減少額又は欠損金増加額	423,102,389	486,417,993
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	423,102,389	486,417,993
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	8,971,510,821	9,662,290,360

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	前期 2025年 6月20日現在	当中間計算期間末 2025年12月20日現在
1. 1 期首元本額	7,621,086,879円	7,728,164,359円
期中追加設定元本額	806,130,430円	429,077,116円
期中一部解約元本額	699,052,950円	430,568,292円
2. 1 中間計算期間末日における受益権の総数	7,728,164,359口	7,726,673,183口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 2024年 6月21日 至 2024年12月20日	当中間計算期間 自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
該当事項はありません。	同 左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	前期 2025年 6月20日現在	当中間計算期間末 2025年12月20日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左
----------------------------	--	----

(1口当たり情報に関する注記)

前期 2025年 6月20日現在		当中間計算期間末 2025年12月20日現在	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2.1280円 21,280円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2.2505円 22,505円)

【東京海上セレクション・バランス50】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	前期 2025年 6月20日現在	当中間計算期間末 2025年12月20日現在
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	8,181,547
コール・ローン	1,234,502,946	1,396,506,610
親投資信託受益証券	40,015,724,081	44,557,294,127
未収入金	257,752,601	31,951,139
未収利息	15,828	34,728
流動資産合計	41,507,995,456	45,993,968,151
資産合計	41,507,995,456	45,993,968,151
負債の部		
流動負債		
未払解約金	34,579,801	41,569,929
未払受託者報酬	16,317,125	17,735,005
未払委託者報酬	214,581,346	233,227,454
その他未払費用	246,064	247,416
流動負債合計	265,724,336	292,779,804
負債合計	265,724,336	292,779,804
純資産の部		
元本等		
元本	14,650,947,260	14,686,887,517
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	26,591,323,860	31,014,300,830
（分配準備積立金）	12,997,532,592	12,462,059,232
元本等合計	41,242,271,120	45,701,188,347
純資産合計	41,242,271,120	45,701,188,347
負債純資産合計	41,507,995,456	45,993,968,151

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前中間計算期間 自 2024年 6月21日 至 2024年12月20日	当中間計算期間 自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
営業収益		
受取利息	1,147,422	3,084,773
有価証券売買等損益	151,241,471	4,602,471,772
営業収益合計	150,094,049	4,605,556,545
営業費用		
受託者報酬	16,487,036	17,735,005
委託者報酬	216,815,735	233,227,454
その他費用	247,416	247,416
営業費用合計	233,550,187	251,209,875
営業利益又は営業損失（ ）	383,644,236	4,354,346,670
経常利益又は経常損失（ ）	383,644,236	4,354,346,670
中間純利益又は中間純損失（ ）	383,644,236	4,354,346,670
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	28,328,888	117,950,373
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	27,064,357,101	26,591,323,860
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,314,180,297	1,308,449,689
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,314,180,297	1,308,449,689
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,132,866,695	1,121,869,016
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,132,866,695	1,121,869,016
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	26,890,355,355	31,014,300,830

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	前期 2025年 6月20日現在	当中間計算期間末 2025年12月20日現在
1. 1 期首元本額	14,481,549,000円	14,650,947,260円
期中追加設定元本額	1,389,665,669円	653,060,580円
期中一部解約元本額	1,220,267,409円	617,120,323円
2. 1 中間計算期間末日における受益権の総数	14,650,947,260口	14,686,887,517口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 2024年 6月21日 至 2024年12月20日	当中間計算期間 自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
該当事項はありません。	同 左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	前期 2025年 6月20日現在	当中間計算期間末 2025年12月20日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左
----------------------------	--	----

(1口当たり情報に関する注記)

前期 2025年 6月20日現在		当中間計算期間末 2025年12月20日現在	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額	2.8150円 28,150円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額	3.1117円 31,117円)

【東京海上セレクション・バランス70】

(1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

	前期 2025年 6月20日現在	当中間計算期間末 2025年12月20日現在
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	13,234,399
コール・ローン	985,625,160	1,162,014,486
親投資信託受益証券	31,906,424,707	37,009,753,350
未収入金	239,956,507	26,686,539
未収利息	12,637	28,896
流動資産合計	33,132,019,011	38,211,717,670
資産合計	33,132,019,011	38,211,717,670
負債の部		
流動負債		
未払解約金	30,715,870	43,126,877
未払受託者報酬	12,917,714	14,511,099
未払委託者報酬	203,498,201	228,599,417
その他未払費用	246,064	247,416
流動負債合計	247,377,849	286,484,809
負債合計	247,377,849	286,484,809
純資産の部		
元本等		
元本	9,275,643,469	9,296,833,595
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	23,608,997,693	28,628,399,266
（分配準備積立金）	11,159,956,328	10,590,026,931
元本等合計	32,884,641,162	37,925,232,861
純資産合計	32,884,641,162	37,925,232,861
負債純資産合計	33,132,019,011	38,211,717,670

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前中間計算期間 自 2024年 6月21日 至 2024年12月20日	当中間計算期間 自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
営業収益		
受取利息	907,298	2,515,339
有価証券売買等損益	204,597,329	5,202,252,171
営業収益合計	203,690,031	5,204,767,510
営業費用		
受託者報酬	13,015,268	14,511,099
委託者報酬	205,034,985	228,599,417
その他費用	247,416	247,416
営業費用合計	218,297,669	243,357,932
営業利益又は営業損失（ ）	421,987,700	4,961,409,578
経常利益又は経常損失（ ）	421,987,700	4,961,409,578
中間純利益又は中間純損失（ ）	421,987,700	4,961,409,578
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	35,481,636	161,759,429
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	23,736,374,579	23,608,997,693
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,448,719,497	1,462,068,674
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,448,719,497	1,462,068,674
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,235,472,287	1,242,317,250
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,235,472,287	1,242,317,250
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	23,563,115,725	28,628,399,266

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	前期 2025年 6月20日現在	当中間計算期間末 2025年12月20日現在
1. 1 期首元本額	9,144,393,290円	9,275,643,469円
期中追加設定元本額	1,092,845,427円	508,041,082円
期中一部解約元本額	961,595,248円	486,850,956円
2. 1 中間計算期間末日における受益権の総数	9,275,643,469口	9,296,833,595口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 2024年 6月21日 至 2024年12月20日	当中間計算期間 自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
該当事項はありません。	同 左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	前期 2025年 6月20日現在	当中間計算期間末 2025年12月20日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左
----------------------------	--	----

(1口当たり情報に関する注記)

前期 2025年 6月20日現在		当中間計算期間末 2025年12月20日現在	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3.5453円 35,453円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	4.0794円 40,794円)

（ご参考）

東京海上セレクション・バランス30、東京海上セレクション・バランス50、東京海上セレクション・バランス70は、「TMA日本株アクティブマザーファンド」、「TMA日本債券マザーファンド」、「TMA外国株式マザーファンド」、「TMA外国債券マザーファンド」を主要な投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同ファンドの受益証券です。なお、同ファンドの状況は次のとおりです。

なお、以下に記載した情報は監査の対象ではありません。

「TMA日本株アクティブマザーファンド」の状況

(1) 貸借対照表

区 分	注記 番号	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
金銭信託		789,281	199,644
コール・ローン		1,540,633,311	1,574,017,611
株式		111,510,480,030	130,848,237,440
未収入金		370,270,948	680,640,376
未収配当金		602,933,700	11,582,200
未収利息		19,753	19,571
流動資産合計		114,025,127,023	133,114,696,842
資産合計		114,025,127,023	133,114,696,842
負債の部			
流動負債			
未払金		67,579,814	897,167,018
未払解約金		714,683,582	122,109,204
流動負債合計		782,263,396	1,019,276,222
負債合計		782,263,396	1,019,276,222
純資産の部			
元本等			
元本	1	36,039,487,002	34,235,722,620
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		77,203,376,625	97,859,698,000
元本等合計		113,242,863,627	132,095,420,620
純資産合計		113,242,863,627	132,095,420,620
負債純資産合計		114,025,127,023	133,114,696,842

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	35,970,438,037円	36,039,487,002円
同期中における追加設定元本額	6,287,890,200円	2,272,692,101円
同期中における一部解約元本額	6,218,841,235円	4,076,456,483円
同中間期末における元本額	36,039,487,002円	34,235,722,620円
元本の内訳*		
日本株アクティブファンド<適格機関投資家限定>	124,118,346円	86,324,710円
東京海上セレクション・日本株式	15,704,682,286円	15,464,430,672円
東京海上セレクション・バランス30	1,041,799,489円	900,189,197円
東京海上セレクション・バランス50	4,572,274,374円	4,144,975,197円
東京海上セレクション・バランス70	5,209,979,810円	4,927,027,884円
東京海上・年金運用型戦略ファンド（年1回決算型）	671,642,664円	640,061,430円
TMAバランス25VA 適格機関投資家限定	5,826,373円	4,489,744円
TMAバランス50VA 適格機関投資家限定	12,488,009円	7,265,906円
TMAバランス75VA 適格機関投資家限定	2,294,937円	2,119,118円
東京海上・日本株式GARP<適格機関投資家限定>	8,694,380,714円	8,058,838,762円
計	36,039,487,002円	34,235,722,620円
2. 1 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	36,039,487,002口	34,235,722,620口

(注) *は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	<p>(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（1口当たり情報に関する注記）

2025年 6月20日現在		2025年12月20日現在	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3,142円 31,422円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3,858円 38,584円)

「TMA日本債券マザーファンド」の状況

(1) 貸借対照表

区 分	注記 番号	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
預金			1,947,000
コール・ローン		606,423,258	289,745,381
国債証券		51,710,458,860	52,082,639,850
地方債証券		1,857,161,000	
社債券		24,778,967,730	25,779,066,252
未収入金		9,424,680,540	298,364,220
未収利息		82,944,225	134,380,756
前払費用		75,234,342	166,790,642
流動資産合計		88,535,869,955	78,752,934,101
資産合計		88,535,869,955	78,752,934,101
負債の部			
流動負債			
未払金		9,434,977,830	
未払解約金		242,081,631	401,504,568
流動負債合計		9,677,059,461	401,504,568
負債合計		9,677,059,461	401,504,568
純資産の部			
元本等			
元本	1	61,650,480,129	63,355,249,186
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		17,208,330,365	14,996,180,347
元本等合計		78,858,810,494	78,351,429,533
純資産合計		78,858,810,494	78,351,429,533
負債純資産合計		88,535,869,955	78,752,934,101

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券及び社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時 価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示す る価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社 の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値 （平均値）等で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首にお ける当該親投資信託の元本額	61,699,123,236円	61,650,480,129円
同期中における追加設定元本額	13,627,144,394円	8,867,367,295円
同期中における一部解約元本額	13,675,787,501円	7,162,598,238円
同中間期末における元本額	61,650,480,129円	63,355,249,186円
元本の内訳*		
東京海上セレクション・バランス30	6,025,941,890円	6,654,266,706円
東京海上セレクション・バランス50	8,679,886,800円	10,058,026,060円
東京海上セレクション・バランス70	2,563,802,227円	3,099,683,350円
東京海上セレクション・日本債券	10,408,675,366円	10,302,592,147円
東京海上・日本債券オープン（野村SMA 向け）	3,137,597,938円	2,409,944,198円
東京海上・日本債券オープン（野村SMA・EW 向け）	29,030,412,805円	28,682,682,110円
東京海上・年金運用型戦略ファンド（年1 回決算型）	1,652,871,085円	2,013,169,098円
TMAバランス25VA 適格機関投資家限 定	86,057,171円	84,734,073円
TMAバランス50VA 適格機関投資家限 定	61,470,157円	45,707,438円
TMAバランス75VA 適格機関投資家限 定	3,764,690円	4,444,006円
計	61,650,480,129円	63,355,249,186円
2. 1 本書における開示対象ファンドの中間計算 期間末日における当該親投資信託の受益権 の総数	61,650,480,129口	63,355,249,186口

(注) *は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 （デリバティブ取引等に関する注記）に記載しております。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（2025年6月20日現在）

該当事項はありません。

（2025年12月20日現在）

該当事項はありません。

（1口当たり情報に関する注記）

2025年 6月20日現在		2025年12月20日現在	
1口当たり純資産額	1.2791円	1口当たり純資産額	1.2367円
（1万口当たり純資産額	12,791円）	（1万口当たり純資産額	12,367円）

「TMA外国株式マザーファンド」の状況

（1）貸借対照表

区 分	注記 番号	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
		金額（円）	金額（円）

資産の部		
流動資産		
預金	1,124,583,040	576,363,360
コール・ローン	1,364,895,160	1,113,902,320
株式	84,052,770,116	95,838,290,776
派生商品評価勘定		9,850
未収入金		2,478,187,156
未収配当金	41,164,894	26,123,292
未収利息	17,500	13,850
流動資産合計	86,583,430,710	100,032,890,604
資産合計	86,583,430,710	100,032,890,604
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		22,883
未払金		2,323,663,750
未払解約金	792,147,411	55,086,179
流動負債合計	792,147,411	2,378,772,812
負債合計	792,147,411	2,378,772,812
純資産の部		
元本等		
元本	1	11,729,557,086
剰余金		
剰余金又は欠損金()		74,061,726,213
元本等合計		85,791,283,299
純資産合計		85,791,283,299
負債純資産合計		86,583,430,710

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には、発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	11,897,984,434円	11,729,557,086円
同期中における追加設定元本額	2,016,993,394円	671,683,888円
同期中における一部解約元本額	2,185,420,742円	942,885,818円
同中間期末における元本額	11,729,557,086円	11,458,355,156円
元本の内訳*		
東京海上セレクション・外国株式	9,450,775,925円	9,258,671,003円
東京海上セレクション・バランス30	225,852,001円	204,084,831円
東京海上セレクション・バランス50	849,493,895円	805,468,474円
東京海上セレクション・バランス70	903,336,149円	893,620,232円
東京海上・年金運用型戦略ファンド（年1回決算型）	291,163,568円	290,219,986円
TMAバランス25VA 適格機関投資家限定	2,526,462円	2,035,711円
TMAバランス50VA 適格機関投資家限定	5,414,255円	3,294,031円
TMAバランス75VA 適格機関投資家限定	994,831円	960,888円

計	11,729,557,086円	11,458,355,156円
2. 1 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	11,729,557,086口	11,458,355,156口

（注）*は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	<p>(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 （デリバティブ取引等に関する注記）に記載していません。</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

(2025年6月20日現在)

該当事項はありません。

(2025年12月20日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち 1年超		
市場取引 以外の取引	為替予約取引				
	買建	484,080,402		484,057,519	22,883
	スイスフラン	103,755,793		103,754,471	1,322
	スウェーデンクローネ	192,207,484		192,200,623	6,861
	ノルウェークローネ	188,117,125		188,102,425	14,700
	売建	910,738,550		910,728,700	9,850
	米ドル	545,326,950		545,317,500	9,450
	ユーロ	365,411,600		365,411,200	400
	合計	1,394,818,952		1,394,786,219	13,033

(注)1.時価の算定方法

(1)本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2)本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

(3)上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。

2.換算において円未満の端数は切り捨てております。

3.契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報に関する注記)

2025年 6月20日現在		2025年12月20日現在	
1口当たり純資産額	7.3141円	1口当たり純資産額	8.5225円
(1万口当たり純資産額)	73,141円)	(1万口当たり純資産額)	85,225円)

「TMA外国債券マザーファンド」の状況

(1) 貸借対照表

区 分	注記 番号	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
預金		164,417,568	121,677,996
コール・ローン		261,616,519	221,614,886
国債証券		35,343,821,600	39,326,928,839
未収利息		314,366,805	345,771,555
前払費用		31,801,842	15,638,686
流動資産合計		36,116,024,334	40,031,631,962
資産合計		36,116,024,334	40,031,631,962
負債の部			
流動負債			
未払解約金		191,263,522	23,887,556
流動負債合計		191,263,522	23,887,556
負債合計		191,263,522	23,887,556
純資産の部			
元本等			
元本	1	12,158,366,869	12,286,062,592
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		23,766,393,943	27,721,681,814
元本等合計		35,924,760,812	40,007,744,406
純資産合計		35,924,760,812	40,007,744,406
負債純資産合計		36,116,024,334	40,031,631,962

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2025年 6月21日 至 2025年12月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には、発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	11,866,020,160円	12,158,366,869円
同期中における追加設定元本額	2,179,836,423円	1,021,180,927円
同期中における一部解約元本額	1,887,489,714円	893,485,204円
同中間期末における元本額	12,158,366,869円	12,286,062,592円
元本の内訳*		
東京海上セレクション・外国債券	5,576,551,372円	5,581,313,574円
東京海上セレクション・バランス30	1,124,667,589円	1,080,855,116円
東京海上セレクション・バランス50	2,820,251,478円	2,843,924,558円
東京海上セレクション・バランス70	1,911,928,722円	2,011,439,669円
東京海上・年金運用型戦略ファンド（年1回決算型）	724,967,708円	768,529,675円
計	12,158,366,869円	12,286,062,592円
2. 1 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	12,158,366,869口	12,286,062,592口

(注) *は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2025年 6月20日現在	2025年12月20日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	<p>(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 （デリバティブ取引等に関する注記）に記載しております。</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（2025年6月20日現在）

該当事項はありません。

（2025年12月20日現在）

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

2025年 6月20日現在		2025年12月20日現在	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2.9547円 29,547円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3.2564円 32,564円)

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

東京海上セレクション・バランス30

2025年12月30日 現在

種類	金額
資産総額	17,495,360,381 円
負債総額	9,666,148 円
純資産総額 (-)	17,485,694,233 円
発行済数量	7,724,302,796 口
1 単位当たり純資産額 (/)	2.2637 円

東京海上セレクション・バランス50

2025年12月30日 現在

種類	金額
資産総額	46,183,602,823 円
負債総額	26,895,447 円
純資産総額 (-)	46,156,707,376 円
発行済数量	14,701,425,033 口
1 単位当たり純資産額 (/)	3.1396 円

東京海上セレクション・バランス70

2025年12月30日 現在

種類	金額
資産総額	38,421,615,826 円
負債総額	33,442,837 円
純資産総額 (-)	38,388,172,989 円
発行済数量	9,300,835,583 口
1 単位当たり純資産額 (/)	4.1274 円

(ご参考：親投資信託の現況)

TMA日本株アクティブマザーファンド

2025年12月30日 現在

種類	金額
資産総額	133,514,115,135 円
負債総額	686,227,377 円
純資産総額 (-)	132,827,887,758 円
発行済数量	34,090,288,504 口
1 単位当たり純資産額 (/)	3.8964 円

TMA日本債券マザーファンド

2025年12月30日 現在

種類	金額
資産総額	88,756,783,780 円
負債総額	11,121,668,875 円

純資産総額(-)	77,635,114,905 円
発行済数量	62,847,908,782 口
1 単位当たり純資産額(/)	1.2353 円

T M A 外国株式マザーファンド

2025年12月30日 現在

種類	金額
資産総額	99,639,421,683 円
負債総額	7,098,682 円
純資産総額(-)	99,632,323,001 円
発行済数量	11,359,858,428 口
1 単位当たり純資産額(/)	8.7706 円

T M A 外国債券マザーファンド

2025年12月30日 現在

種類	金額
資産総額	40,707,836,386 円
負債総額	488,708,853 円
純資産総額(-)	40,219,127,533 円
発行済数量	12,241,045,724 口
1 単位当たり純資産額(/)	3.2856 円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

ファンドの受益権は、振替受益権となり、委託会社は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

1. 名義書換
該当事項はありません。
2. 受益者に対する特典
特典はありません。
3. 内国投資信託受益証券の譲渡制限の内容
譲渡制限はありません。

4. 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとし、

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとし、ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとし、

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

5. 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

6. 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとし、

7. 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）にお支払いします。

8. 質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

2025年12月末日現在、資本金の額は20億円です。なお、会社の発行可能株式総数は160,000株であり、38,300株を発行済みです。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

委託会社業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役の選任は株主総会において、議決権を行使することができる株主の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。取締役の任期は、選任後1年内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。取締役会はその決議をもって、取締役中より代表取締役を選任します。

投資信託の投資運用の意思決定プロセスは以下の通りです。

運用本部で運用計画案、収益分配方針案等の運用の基本方針案を作成します。

運用の基本方針は、運用本部長を委員長とする投資政策委員会で投資環境見通し等をふまえて決定されます。

決定された運用の基本方針に基づき、具体的運用計画を策定し、運用を行います。

売買の執行はトレーディング部が行います。

運用部門とは独立した運用リスク管理部門にて運用評価、ガイドライン遵守状況のチェックを行い、運用リスク管理部門担当役員を委員長としリスク管理部を事務局とする運用管理委員会に結果報告します。

運用管理委員会から投資政策委員会へ運用評価、ガイドライン遵守状況がフィードバックされ次の基本方針決定に生かされます。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。

2025年12月末日現在、委託会社が運用を行っている証券投資信託（親投資信託を除きます。）は次の通りです。

	本数	純資産総額（百万円）
追加型公社債投資信託	0	0
追加型株式投資信託	176	2,559,237
単位型公社債投資信託	1	1,816
単位型株式投資信託	20	89,166
合計	197	2,650,220

3【委託会社等の経理状況】

- 1 . 当社の財務諸表は「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
また、当社の中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第282条及び第306条により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
- 2 . 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第40期事業年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人により監査を受けております。
また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の中間財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人による中間監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

(単位：千円)

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	20,242,052	1,643,002
前払費用	523,560	504,626
関係会社短期貸付金	-	* 1 19,384,558
未収委託者報酬	3,523,505	3,544,046
未収収益	4,088,251	3,929,834
未収入金	-	12,841
その他の流動資産	26,495	34,763
流動資産計	28,403,865	29,053,672
固定資産		
有形固定資産	* 2 631,543	* 2 646,419
建物	434,854	387,569
器具備品	196,689	167,868
リース資産	-	90,981
無形固定資産	397,761	614,848
電話加入権	3,795	3,795
ソフトウェア	372,797	410,834
ソフトウェア仮勘定	21,168	200,219
投資その他の資産	3,566,905	3,375,118
投資有価証券	49,108	45,279
関係会社株式	1,668,529	1,641,087
その他の関係会社有価証券	80,000	80,000
長期前払費用	16,227	85,968
敷金	474,324	474,324
その他長期差入保証金	21,230	21,230
繰延税金資産	1,257,485	1,027,229
固定資産計	4,596,210	4,636,386
資産合計	33,000,075	33,690,058
負債の部		
流動負債		
未払金	4,260,390	4,569,098
未払手数料	1,583,647	1,597,903
その他未払金	2,676,743	2,971,194
未払費用	321,531	419,084
未払消費税等	420,603	176,930
未払法人税等	1,391,000	679,000
預り金	72,829	55,624
前受収益	2,583	2,517
賞与引当金	296,807	430,032
リース債務	-	18,913
その他の流動負債	24	1
流動負債計	6,765,771	6,351,202
固定負債		
長期未払金	-	7,284
退職給付引当金	927,210	929,235
リース債務	-	70,555
固定負債計	927,210	1,007,074
負債合計	7,692,982	7,358,277
純資産の部		
株主資本	25,296,494	26,322,588
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	400,000	400,000
その他資本剰余金	400,000	400,000

利益剰余金	22,896,494	23,922,588
利益準備金	500,000	500,000
その他利益剰余金	22,396,494	23,422,588
繰越利益剰余金	22,396,494	23,422,588
評価・換算差額等	10,599	9,192
その他有価証券評価差額金	10,599	9,192
純資産合計	25,307,093	26,331,781
負債・純資産合計	33,000,075	33,690,058

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第39期 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)	第40期 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)
営業収益		
委託者報酬	16,958,564	15,942,593
運用受託報酬	13,291,669	13,704,198
投資助言報酬	107,390	119,640
その他営業収益	678,515	698,269
営業収益計	31,036,140	30,464,702
営業費用		
支払手数料	7,801,482	7,184,184
広告宣伝費	203,242	208,842
調査費	8,650,200	9,117,522
調査費	3,298,847	3,569,637
委託調査費	5,351,353	5,547,885
委託計算費	116,944	130,446
営業雑経費	263,317	266,277
通信費	57,380	59,666
印刷費	157,178	154,034
協会費	24,327	26,294
諸会費	15,737	16,846
図書費	8,693	9,435
営業費用計	17,035,188	16,907,274
一般管理費		
給料	4,075,417	4,011,683
役員報酬	82,371	78,387
給料・手当	3,010,062	3,201,466
賞与	982,983	731,830
交際費	25,693	20,001
寄付金	9,893	1,400
旅費交通費	162,304	191,110
租税公課	246,078	92,032
不動産賃借料	468,091	468,092
退職給付費用	178,404	180,129
賞与引当金繰入	296,807	430,032
固定資産減価償却費	247,247	277,210
法定福利費	686,198	713,675
福利厚生費	14,385	13,064
諸経費	642,231	482,971
一般管理費計	7,052,753	6,881,403
営業利益	6,948,198	6,676,024
営業外収益		
受取利息	185	41,081

受取配当金	1,238	2,222
雑益	15,069	15,596
営業外収益計	16,493	58,900
営業外費用		
支払利息	-	686
為替差損	80,542	29,798
雑損	15,415	4,633
営業外費用計	95,958	35,118
経常利益	6,868,734	6,699,806
特別利益		
投資有価証券売却益	829	-
関係会社清算益	-	172,297
その他特別利益	402	-
特別利益計	1,232	172,297
特別損失		
固定資産除却損	30,348	14
関係会社清算損	382	2,236
特別損失計	30,731	2,251
税引前当期純利益	6,839,235	6,869,851
法人税、住民税及び事業税	2,410,514	1,825,606
法人税等調整額	305,632	230,702
法人税等合計	2,104,882	2,056,308
当期純利益	4,734,352	4,813,542

(3) 【株主資本等変動計算書】

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金
当期首残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	22,310,382
当期変動額					
剰余金の配当					4,648,241
当期純利益					4,734,352
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	-	-	86,111
当期末残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	22,396,494

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	22,810,382	25,210,382	5,624	5,624	25,216,006
当期変動額					
剰余金の配当	4,648,241	4,648,241			4,648,241
当期純利益	4,734,352	4,734,352			4,734,352

株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			4,974	4,974	4,974
当期変動額合計	86,111	86,111	4,974	4,974	91,086
当期末残高	22,896,494	25,296,494	10,599	10,599	25,307,093

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金
当期首残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	22,396,494
当期変動額					
剰余金の配当					3,787,448
当期純利益					4,813,542
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	-	-	1,026,094
当期末残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	23,422,588

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	22,896,494	25,296,494	10,599	10,599	25,307,093
当期変動額					
剰余金の配当	3,787,448	3,787,448			3,787,448
当期純利益	4,813,542	4,813,542			4,813,542
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			1,406	1,406	1,406
当期変動額合計	1,026,094	1,026,094	1,406	1,406	1,024,687
当期末残高	23,922,588	26,322,588	9,192	9,192	26,331,781

注記事項

（重要な会計方針）

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券

移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

当事業年度末日の市場価格等に基づく時価法

（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。また、取得価額が10万円以上20万円未満の少額減価償却資産については、一括償却資産として3年間で均等償却する方法を採用しております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係る有形固定資産中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額の当期負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、顧客への投資運用業及び投資助言・代理業に関するサービスから生じる委託者報酬、運用受託報酬等により収益を獲得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。

(1) 運用報酬

投資運用・助言サービスのうち運用資産残高等を基礎として算定される報酬（運用報酬）については、当該サービスに係る履行義務は日々充足されると判断し、運用期間にわたり収益として認識しております。確定した報酬は、月次、年4回、年2回もしくは年1回受け取ります。

(2) 成功報酬

成功報酬は、契約上定められる超過収益の達成等により履行義務を充足し、報酬額及び支払われることが確定した時点で収益として認識しております。確定した報酬は、履行義務充足時点から短期間で支払いを受けます。

（重要な会計上の見積り）

第39期 2024年3月31日現在	第40期 2025年3月31日現在
当事業年度の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌事業年度の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。	同左

（未適用の会計基準等）

第40期 自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日
<ul style="list-style-type: none"> ・「リースに関する会計基準」（企業会計基準第34号 2024年 9月13日） ・「リースに関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第33号 2024年 9月13日） <p>ほか、関連する企業会計基準、企業会計基準適用指針、実務対応報告及び移管指針の改定</p> <p>(1) 概要</p> <p>企業会計基準委員会において、日本基準を国際的に整合性のあるものとする取組みの一環として、借手の全てのリースについて資産および負債を認識するリースに関する会計基準の開発に向けて、国際的な会計基準を踏まえた検討が行われ、基本的な方針として、IFRS第16号の単一の会計処理モデルを基礎とするものの、IFRS第16号の全ての定めを採り入れるのではなく、主要な定めのみを採り入れることにより、簡素で利便性が高く、かつ、IFRS第16号の定めを個別財務諸表に用いても、基本的に修正が不要となることを目指したリース会計基準等が公表されました。</p> <p>借手の会計処理として、借手のリースの費用配分の方法については、IFRS第16号と同様に、リースがファイナンス・リースであるかオペレーティング・リースであるかにかかわらず、全てのリースについて使用権資産に係る減価償却費およびリース負債に係る利息相当額を計上する単一の会計処理モデルが適用されます。</p> <p>(2) 適用予定日 2028年3月期の期首から適用します。</p> <p>(3) 当該会計基準等の適用による影響 「リースに関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。</p>

(貸借対照表関係)

第39期 2024年 3月31日現在	第40期 2025年 3月31日現在						
-	<p>* 1 . 当社は、グループ全体の資金管理や資金効率の向上をはかることを目的として、キャッシュ・マネジメント・サービス（以下「CMS」）を導入しております。当社は、関係会社と、CMSによる貸出コミットメントを定めた金銭消費貸借契約を締結しています。「関係会社短期貸付金」は、これによる貸付金であります。CMSにおける貸出コミットメントに係る貸出未実行残高は次のとおりであります。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>貸出コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">30,000,000千円</td> </tr> <tr> <td>貸出実行残高</td> <td style="text-align: right;">19,384,558千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">10,615,441千円</td> </tr> </table> <p>なお、上記金銭消費貸借契約書において、経済情勢、金融情勢の変化、契約当事者の経営状態の変化、その他事由があるときには、貸出コミットメントの金額及び利息の条件について、契約当事者間で同意の上で変更できるものと定められており、必ずしも全額が貸出実行されるものではありません。また、当社の資金が不足している場合には、資金を借り入れる場合があります。</p>	貸出コミットメントの総額	30,000,000千円	貸出実行残高	19,384,558千円	差引額	10,615,441千円
貸出コミットメントの総額	30,000,000千円						
貸出実行残高	19,384,558千円						
差引額	10,615,441千円						
* 2 . 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。	* 2 . 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。						

建物	245,354千円	建物	292,639千円
器具備品	481,065千円	器具備品	533,641千円
		リース資産	8,271千円

(損益計算書関係)

第39期 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	第40期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
関係会社に対する営業外収益のうち、雑益の合計額は営業外収益の総額の100分の10を超えており、その金額は9,623千円であります。	関係会社に対する営業外収益のうち、雑益の合計額は営業外収益の総額の100分の10を超えており、その金額は7,222千円であります。

(株主資本等変動計算書関係)

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

(単位：株)

株式の種類	2023年4月1日 現在	増加	減少	2024年3月31日 現在
普通株式	38,300	-	-	38,300

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2023年6月29日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	4,648,241千円
(ロ) 1株当たり配当額	121,364円
(ハ) 基準日	2023年3月31日
(ニ) 効力発生日	2023年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2024年6月26日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	3,787,448千円
(ロ) 配当の原資	繰越利益剰余金
(ハ) 1株当たり配当額	98,889円
(ニ) 基準日	2024年3月31日
(ホ) 効力発生日	2024年6月26日

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

(単位：株)

株式の種類	2024年4月1日 現在	増加	減少	2025年3月31日 現在
普通株式	38,300	-	-	38,300

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2024年6月26日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	3,787,448千円
(ロ) 1株当たり配当額	98,889円
(ハ) 基準日	2024年3月31日
(ニ) 効力発生日	2024年6月26日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2025年6月26日の定時株主総会において、次のとおり配当を提案する予定であります。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	3,850,796千円
(ロ) 配当の原資	繰越利益剰余金
(ハ) 1株当たり配当額	100,543円
(ニ) 基準日	2025年3月31日
(ホ) 効力発生日	2025年6月26日

(リース取引関係)

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

所有権移転外ファイナンス・リース取引

1. リース資産の内容

・有形固定資産 主として、社内システム用ハードウェア（器具備品）であります。

2. リース資産の減価償却の方法

「重要な会計方針」の「2. 固定資産の減価償却の方法」に記載の通りであります。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

第39期 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	第40期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
(1) 金融商品に対する取組方針 当社の資本は本来の事業目的のために使用することを基本とし、資産の運用に際しては、資産運用リスクを極力最小限に留めることを基本方針としております。	(1) 金融商品に対する取組方針 同左
(2) 金融商品の内容及びそのリスク 営業債権である未収収益は顧客の信用リスクに晒されており、未収委託者報酬は市場リスクに晒されております。投資有価証券は、主にファンドの自己設定に関連する投資信託であり、基準価額の変動リスクに晒されております。 営業債務である未払金は、ほとんど1年以内の支払期日であり、流動性リスクに晒されております。	(2) 金融商品の内容及びそのリスク 同左
(3) 金融商品に係るリスク管理体制 信用リスク 未収収益については、管理部門において取引先ごとに期日及び残高を把握することで、回収懸念の早期把握や軽減を図っております。 市場リスク 未収委託者報酬には、運用資産の悪化から回収できず当社が損失を被るリスクが存在しますが、過去の回収実績からリスクは僅少であると判断しております。 投資有価証券については、管理部門において定期的に時価を把握する体制としております。 流動性リスク 当社は、日々資金残高管理を行っており流動性リスクを管理しております。	(3) 金融商品に係るリスク管理体制 信用リスク 同左 市場リスク 同左 流動性リスク 同左

2. 金融商品の時価等に関する事項

第39期(2024年3月31日現在)

2024年3月31日現在における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券			
その他有価証券	49,108	49,108	-
敷金	474,324	472,538	1,786
資産計	523,432	521,646	1,786

(注1)以下の金融商品については、現金であること、及び短期で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

現金・預金
未収委託者報酬
未収収益
預り金
未払金
未払費用

(注2)関係会社株式及びその他の関係会社有価証券については、市場価格のない株式等に該当することから、時価を注記しておりません。これらの貸借対照表計上額は、それぞれ以下のとおりです。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額
関係会社株式	
子会社株式	1,640,302
関連会社株式	28,227
その他の関係会社有価証券	80,000

(注3)金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの	-	18,872	1,912	1,101
合計	-	18,872	1,912	1,101

第40期(2025年3月31日現在)

2025年3月31日現在における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券			
その他有価証券	45,279	45,279	-
敷金	474,324	471,310	3,013
資産計	519,603	516,589	3,013
リース債務(注3)	89,468	88,245	1,222
長期未払金(注4)	9,317	8,824	492
負債計	98,785	97,070	1,715

(注1)以下の金融商品については、現金であること、及び短期で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

現金・預金
関係会社短期貸付金
未収委託者報酬
未収収益
未収入金

預り金
未払金（1年内返済予定の長期未払金を除く）
未払費用

（注2）関係会社株式及びその他の関係会社有価証券については、市場価格のない株式等に該当することから、時価を注記しておりません。これらの貸借対照表計上額は、それぞれ以下のとおりです。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額
関係会社株式 子会社株式	1,641,087
その他の関係会社有価証券	80,000

（注3）リース債務については、1年内返済予定のリース債務を含めております。

（注4）長期未払金については、1年内返済予定の長期未払金を含んでおります。

（注5）金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
関係会社短期貸付金	19,384,558	-	-	-
投資有価証券 その他有価証券のうち満期が あるもの	866	8,257	8,534	-
合計	19,385,424	8,257	8,534	-

（注6）リース債務及び長期未払金の決算日後の返済予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース債務（注3）	18,913	19,247	19,586	19,932	11,789	-
長期未払金（注4）	2,032	2,032	2,032	2,032	1,185	-
合計	20,946	21,279	21,619	21,965	12,974	-

3．金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

第39期（2024年3月31日現在）

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

(1)時価で貸借対照表に計上している金融商品

（単位：千円）

	時価			合計
	レベル1	レベル2	レベル3	
投資有価証券 その他有価証券	-	49,108	-	49,108
資産計	-	49,108	-	49,108

(2)時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

（単位：千円）

時価

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
敷金	-	472,538	-	472,538
資産計	-	472,538	-	472,538

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

投資有価証券

投資信託は基準価額を用いて評価しており、活発な市場における相場価格とはいえないことから、レベル2の時価に分類しております。

敷金

敷金は、回収可能性を反映した将来キャッシュ・フローを残存期間に対応する国債の利回り等で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

第40期(2025年3月31日現在)

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

- レベル1の時価 : 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価
- レベル2の時価 : 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価
- レベル3の時価 : 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位: 千円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券 其他有価証券	-	45,279	-	45,279
資産計	-	45,279	-	45,279

(2) 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(単位: 千円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
敷金	-	471,310	-	471,310
資産計	-	471,310	-	471,310
リース債務	-	88,245	-	88,245
長期未払金	-	8,824	-	8,824
負債計	-	97,070	-	97,070

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

投資有価証券

投資信託は基準価額を用いて評価しており、活発な市場における相場価格とはいえないことから、レベル2の時価に分類しております。

敷金

敷金は、回収可能性を反映した将来キャッシュ・フローを残存期間に対応する国債の利回り等で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

リース債務

リース債務の時価については、元利金の合計額を同様の新規リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定しており、レベル2の時価に分類しております。

長期未払金

長期未払金の時価については、新規に同様の契約を行なった場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(注2) リース債務については、1年内返済予定のリース債務を含めております。

(注3) 長期未払金については、1年内返済予定の長期未払金を含んでおります。

(有価証券関係)

第39期 2024年3月31日現在	第40期 2025年3月31日現在																																																				
<p>1. 子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券</p> <p>子会社株式及び関連会社株式（貸借対照表計上額 子会社株式1,640,302千円、関連会社株式28,227千円）並びにその他の関係会社有価証券（貸借対照表計上額 80,000千円）は、市場価格のない株式等に該当することから、記載していません。</p> <p>2. その他有価証券 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸借対照表計上額</th> <th>取得原価</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託</td> <td style="text-align: right;">37,893</td> <td style="text-align: right;">20,877</td> <td style="text-align: right;">17,015</td> </tr> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託</td> <td style="text-align: right;">11,214</td> <td style="text-align: right;">12,953</td> <td style="text-align: right;">1,738</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">49,108</td> <td style="text-align: right;">33,831</td> <td style="text-align: right;">15,277</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 当事業年度中に売却したその他有価証券 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>売却額</th> <th>売却益の合計額</th> <th>売却損の合計額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>債券</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">5,767</td> <td style="text-align: right;">829</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">5,767</td> <td style="text-align: right;">829</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託	37,893	20,877	17,015	貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託	11,214	12,953	1,738	合計	49,108	33,831	15,277	区分	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額	株式	-	-	-	債券	-	-	-	その他	5,767	829	-	合計	5,767	829	-	<p>1. 子会社株式及びその他の関係会社有価証券</p> <p>子会社株式（貸借対照表計上額 1,641,087千円）及びその他の関係会社有価証券（貸借対照表計上額 80,000千円）は、市場価格のない株式等に該当することから、記載していません。</p> <p>2. その他有価証券 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸借対照表計上額</th> <th>取得原価</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託</td> <td style="text-align: right;">33,551</td> <td style="text-align: right;">17,453</td> <td style="text-align: right;">16,098</td> </tr> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託</td> <td style="text-align: right;">11,727</td> <td style="text-align: right;">14,402</td> <td style="text-align: right;">2,674</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">45,279</td> <td style="text-align: right;">31,855</td> <td style="text-align: right;">13,423</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 当事業年度中に売却したその他有価証券 該当する取引はありません。</p>	区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託	33,551	17,453	16,098	貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託	11,727	14,402	2,674	合計	45,279	31,855	13,423
区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額																																																		
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託	37,893	20,877	17,015																																																		
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託	11,214	12,953	1,738																																																		
合計	49,108	33,831	15,277																																																		
区分	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額																																																		
株式	-	-	-																																																		
債券	-	-	-																																																		
その他	5,767	829	-																																																		
合計	5,767	829	-																																																		
区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額																																																		
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託	33,551	17,453	16,098																																																		
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託	11,727	14,402	2,674																																																		
合計	45,279	31,855	13,423																																																		

(収益認識関係)

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	運用報酬	成功報酬	合計
委託者報酬	16,958,564	-	16,958,564
運用受託報酬	12,488,818	802,851	13,291,669
投資助言報酬	107,390	-	107,390
その他営業収益	678,515	-	678,515
合計	30,233,289	802,851	31,036,140

2. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

顧客との契約から生じた債権等

顧客との契約から生じた債権（期首残高） 6,222,195千円

顧客との契約から生じた債権（期末残高） 7,611,757千円

（*）なお、当事業年度の期首及び期末において、顧客との契約から生じた契約資産及び契約負債はありません。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1．顧客との契約から生じる収益を分解した情報

（単位：千円）

	運用報酬	成功報酬	合計
委託者報酬	15,928,520	14,072	15,942,593
運用受託報酬	13,578,919	125,279	13,704,198
投資助言報酬	119,640	-	119,640
その他営業収益	698,269	-	698,269
合計	30,325,350	139,352	30,464,702

2．顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

顧客との契約から生じた債権等

顧客との契約から生じた債権（期首残高） 7,611,757千円

顧客との契約から生じた債権（期末残高） 7,473,880千円

（*）なお、当事業年度の期首及び期末において、顧客との契約から生じた契約資産及び契約負債はありません。

（退職給付関係）

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1．採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に備えるため、非積立型の確定給付制度及び確定拠出年金制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、当社従業員を制度対象として、給与と勤続年数に基づき算出した一時金を支給しております。受入出向者については退職給付負担金を支払っており、損益計算書上の退職給付費用には当該金額が含まれております。貸借対照表上は出向期間3年以下の出向者に係る金額が退職給付引当金に、出向期間3年超の出向者に係る金額がその他未払金にそれぞれ含まれております。

2．確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	869,667千円
勤務費用	73,630千円
利息費用	6,822千円
数理計算上の差異の発生額	29,062千円
退職給付の支払額	38,184千円
退職給付債務の期末残高	940,999千円

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	-
年金資産	-
	-
非積立型制度の退職給付債務	940,999千円

未積立退職給付債務	940,999千円
未認識数理計算上の差異	13,789千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	927,210千円
退職給付引当金	927,210千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	927,210千円

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	73,630千円
利息費用	6,822千円
数理計算上の差異の費用処理額	1,778千円
その他	10,687千円
確定給付制度に係る退職給付費用	89,362千円

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表しております。）

割引率 0.9%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、89,041千円であります。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に備えるため、非積立型の確定給付制度及び確定拠出年金制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、当社従業員を制度対象として、給与と勤続年数に基づき算出した一時金を支給しております。受入出向者については退職給付負担金を支払っており、損益計算書上の退職給付費用には当該金額が含まれております。貸借対照表上は出向期間3年以下の出向者に係る金額が退職給付引当金に、出向期間3年超の出向者に係る金額がその他未払金にそれぞれ含まれております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	940,999千円
勤務費用	69,192千円
利息費用	8,142千円
数理計算上の差異の発生額	54,402千円
退職給付の支払額	76,437千円
退職給付債務の期末残高	887,494千円

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	-
年金資産	-
	-
非積立型制度の退職給付債務	887,494千円
未積立退職給付債務	887,494千円
未認識数理計算上の差異	41,740千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	929,235千円

退職給付引当金	929,235千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	929,235千円

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	69,192千円
利息費用	8,142千円
数理計算上の差異の費用処理額	1,127千円
その他	10,501千円
確定給付制度に係る退職給付費用	88,963千円

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表しております。）

割引率 1.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、91,165千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
繰延税金資産		
退職給付引当金	283,911千円	292,894千円
未払金	3,362千円	3,308千円
賞与引当金	90,882千円	131,675千円
未払法定福利費	12,359千円	15,190千円
未払事業所税	4,097千円	4,044千円
未払事業税	73,982千円	39,392千円
未払調査費	108,813千円	99,432千円
減価償却超過額	7,259千円	12千円
繰延資産超過額	12,236千円	14,842千円
未払確定拠出年金	2,331千円	2,352千円
未収実績連動報酬	264,384千円	38,200千円
前払費用	-	562千円
未払費用	404,707千円	397,773千円
繰延税金資産小計	1,268,329千円	1,039,682千円
評価性引当額	-	-
繰延税金資産合計	1,268,329千円	1,039,682千円
繰延税金負債		
前払費用	6,166千円	8,221千円
その他有価証券評価差額金	4,677千円	4,231千円
繰延税金負債合計	10,844千円	12,453千円
繰延税金資産の純額	1,257,485千円	1,027,229千円

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	同左

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（令和7年法律第13号）が2025年3月31日に国会で成立し、2026年4月1日以後開始する事業年度より「防衛特別法人税」の課税が行われることになりました。

これに伴い、2026年4月1日以後開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異等に係る繰延税金資産及び繰延税金負債については、法定実効税率を30.62%から31.52%に変更して計算しております。

この変更により、当事業年度の繰延税金資産（繰延税金負債の金額を控除した金額）が8,670千円、法人税等調整額が8,791千円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が120千円減少しております。

4. 法人税及び地方法人税に関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しているため、法人税及び地方法人税の会計処理またはこれらに関する税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）を適用しています。

（セグメント情報等）

第39期 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	第40期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
<p>[セグメント情報]</p> <p>当社は「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社であり証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として運用（投資運用業）を行っております。また「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っております。</p> <p>当社は、投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメントを報告セグメントとしております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。</p>	<p>[セグメント情報]</p> <p>同左</p>

[関連情報]

1. 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	その他	合計
27,411,151	3,624,988	31,036,140

(注) 営業収益は顧客の所在地を基準とし、国ごとに分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております

3. 主要な顧客ごとの情報

(1) 投資信託の名称

東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）

(2) 委託者報酬

3,106,318千円

(3) 関連するセグメント名

投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメント

[関連情報]

1. 製品及びサービスごとの情報

同左

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	その他	合計
26,788,631	3,676,070	30,464,702

(注) 営業収益は顧客の所在地を基準とし、国ごとに分類しております。

(2) 有形固定資産

同左

3. 主要な顧客ごとの情報

当社は、外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等重要な取引はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等重要な取引はありません。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (千円)	事業の 内容 又は 職業	議決権 の所有 割合	関連当 事者との 関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の 親会社 をもつ 会社	東京海上 日動火災 保険 株式会社	東京都 千代田区	101,994,694	損害 保険業	なし	投資信託 の取扱 役員 の兼任	投資信託 に係る 事務代行 手数料の 支払	1,337,087	未払 手数料	450,379

(注) *取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

*取引金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等重要な取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する情報

(1) 親会社情報

東京海上ホールディングス株式会社（東京証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等重要な取引はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (USD)	事業の 内容 又は 職業	議決権 の所有 割合	関連 当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
子会社	Tokio Marine Asset Management (USA), Ltd.	米国・ ニュー ヨーク	500,000	投資運用業 投資助言業	直接100%	運用及び調 査の委託 役員の兼任	調査費等 の支払 (注1)	969,960	未払金	377,132

(注1)取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (千円)	事業の 内容 又は 職業	議決権 の所有 割合	関連 当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の 親会社 をもつ 会社	東京海上 日動火災 保険 株式会社	東京都 千代田区	101,994,694	損害 保険業	なし	投資信託 の取扱 役員の 兼任 資金の 貸付	投資信託 に係る事 務代行手 数料の支 払(注1)	1,559,839	未払 手数料	496,183
							資金の 貸付 (注2)	14,166,773	関係会社 短期 貸付金	19,384,558
							資金の 貸付に 係る利息 受取(注2)	39,806	関係会社 未収収益	-

(注1)取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

(注2)資金の貸付については、CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)にかかるものであり、適用金利は、市場金利等を勘案して合理的に決定しております。また資金の貸付に係る取引金額は、当事業年度における平均貸付残高を記載しております。

(注3)取引金額には、消費税等を含めておりません。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等重要な取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する情報

(1) 親会社情報

東京海上ホールディングス株式会社（東京証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

(1株当たり情報)

第39期	
自 2023年 4月 1日	
至 2024年 3月31日	
1株当たり純資産額	660,759円61銭
1株当たり当期純利益金額	123,612円34銭
<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。</p>	
(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎	
貸借対照表の純資産の部の合計額	25,307,093千円
純資産の部の合計額から控除する金額	-
普通株式に係る当期末の純資産額	25,307,093千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた当期末の普通株式の数	38,300株
1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益金額	4,734,352千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る当期純利益金額	4,734,352千円
普通株式の期中平均株式数	38,300株

第40期	
自 2024年 4月 1日	
至 2025年 3月31日	
1株当たり純資産額	687,513円86銭
1株当たり当期純利益金額	125,679円97銭
<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。</p>	
(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎	
貸借対照表の純資産の部の合計額	26,331,781千円
純資産の部の合計額から控除する金額	-
普通株式に係る当期末の純資産額	26,331,781千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた当期末の普通株式の数	38,300株
1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益金額	4,813,542千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る当期純利益金額	4,813,542千円
普通株式の期中平均株式数	38,300株

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

当中間会計期間		
(2025年9月30日現在)		
資産の部		
流動資産		
現金・預金		1,635,994
金銭の信託		302,881
前払費用		492,646
関係会社短期貸付金	* 1	16,658,081
未収委託者報酬		4,095,820
未収収益		4,717,739
未収入金		5,782
その他の流動資産		25,153
流動資産計		27,934,100
固定資産		
有形固定資産	* 2	599,630
建物		364,271
器具備品		130,709
リース資産		104,649
無形固定資産		618,815
電話加入権		3,795
ソフトウェア		574,500
ソフトウェア仮勘定		40,519
投資その他の資産		3,490,573
投資有価証券		55,840
関係会社株式		1,647,722
その他の関係会社有価証券		82,100
長期前払費用		82,660
敷金		474,324
その他長期差入保証金		10,030
繰延税金資産		1,137,895
固定資産計		4,709,018
資産合計		32,643,119
負債の部		
流動負債		
未払金		4,380,712
未払手数料		1,858,868
その他未払金		2,521,844
未払費用		597,178
未払消費税等		306,936
未払法人税等		1,160,000
預り金		67,450
前受収益		6,947
賞与引当金		395,919
リース債務		24,518
その他の流動負債		14
流動負債計		6,939,677
固定負債		
長期未払金		8,360
退職給付引当金		941,539

リース債務	81,046
固定負債計	1,030,946
負債合計	7,970,623
純資産の部	
株主資本	24,658,012
資本金	2,000,000
資本剰余金	400,000
その他資本剰余金	400,000
利益剰余金	22,258,012
利益準備金	500,000
その他利益剰余金	21,758,012
繰越利益剰余金	21,758,012
評価・換算差額等	14,482
その他有価証券評価差額金	14,482
純資産合計	24,672,495
負債・純資産合計	32,643,119

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業収益	
委託者報酬	8,562,283
運用受託報酬	6,778,943
投資助言報酬	59,113
その他営業収益	324,147
営業収益計	15,724,487
営業費用	
支払手数料	3,903,819
広告宣伝費	62,933
調査費	4,871,379
調査費	1,818,930
委託調査費	3,052,448
委託計算費	55,767
営業雑経費	138,115
通信費	32,139
印刷費	77,518
協会費	12,575
諸会費	10,697
図書費	5,184
営業費用計	9,032,015
一般管理費	
給料	1,873,571
役員報酬	45,090
給料・手当	1,638,938
賞与	189,542
交際費	7,428
旅費交通費	94,212
租税公課	90,086
不動産賃借料	234,045
退職給付費用	81,106
賞与引当金繰入	395,919

固定資産減価償却費	* 1	166,649
法定福利費		375,290
福利厚生費		9,716
諸経費		260,612
一般管理費計		3,588,639
営業利益		3,103,831
営業外収益		
受取利息		75,382
受取配当金		1,188
金銭の信託運用益		2,882
雑益		5,711
営業外収益計		85,165
営業外費用		
支払利息		1,066
為替差損		26,805
雑損		3,573
営業外費用計		31,445
経常利益		3,157,551
特別利益		
投資有価証券売却益		129
特別利益計		129
特別損失		
ゴルフ会員権売却損		1,400
特別損失計		1,400
税引前中間純利益		3,156,280
法人税、住民税及び事業税		1,083,159
法人税等調整額		113,100
法人税等合計		970,059
中間純利益		2,186,221

(3) 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金
				繰越利益 剰余金	
当期首残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	23,422,588
当中間期変動額					
剰余金の配当					3,850,796
中間純利益					2,186,221
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	-	-	-	-	1,664,575
当中間期末残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	21,758,012

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	23,922,588	26,322,588	9,192	9,192	26,331,781
当中間期変動額					
剰余金の配当	3,850,796	3,850,796			3,850,796
中間純利益	2,186,221	2,186,221			2,186,221
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			5,289	5,289	5,289
当中間期変動額合計	1,664,575	1,664,575	5,289	5,289	1,659,285
当中間期末残高	22,258,012	24,658,012	14,482	14,482	24,672,495

注記事項

(重要な会計方針)

当中間会計期間 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日
<p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの 中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) 市場価格のない株式等 移動平均法による原価法</p> <p>2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 運用目的の金銭の信託 時価法</p> <p>3. 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。また、取得価額が10万円以上20万円未満の少額減価償却資産については、一括償却資産として3年間で均等償却する方法を採用しております。</p> <p>(2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p> <p>(3) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リースに係る有形固定資産中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>4. 引当金の計上基準</p> <p>(1) 賞与引当金 従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。</p> <p>(2) 退職給付引当金</p>

従業員の退職給付に備えるため、当中間会計期間末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。

5. 収益及び費用の計上基準

当社は、顧客への投資運用業及び投資助言・代理業に関するサービスから生じる委託者報酬、運用受託報酬等により収益を獲得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。

(1) 運用報酬

投資運用・助言サービスのうち運用資産残高等を基礎として算定される報酬（運用報酬）については、当該サービスに係る履行義務は日々充足されると判断し、運用期間にわたり収益として認識しております。確定した報酬は、月次、年4回、年2回もしくは年1回受け取ります。

(2) 成功報酬

成功報酬は、契約上定められる超過収益の達成等により履行義務を充足し、報酬額及び支払われることが確定した時点で収益として認識しております。確定した報酬は、履行義務充足時点から短期間で支払いを受けます。

(中間貸借対照表関係)

	当中間会計期間 (2025年9月30日現在)						
* 1. 貸出コミットメント	<p>当社は、グループ全体の資金管理や資金効率の向上をはかることを目的として、キャッシュ・マネジメント・サービス（以下「CMS」）を導入しております。当社は、関係会社と、CMSによる貸出コミットメントを定めた金銭消費貸借契約を締結しています。「関係会社短期貸付金」は、これによる貸付金であります。CMSにおける貸出コミットメントに係る貸出未実行残高は次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>貸出コミットメントの総額</td> <td>30,000,000千円</td> </tr> <tr> <td>貸出実行残高</td> <td>16,658,081千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>13,341,918千円</td> </tr> </table> <p>なお、上記金銭消費貸借契約書において、経済情勢、金融情勢の変化、契約当事者の経営状態の変化、その他事由があるときには、貸出コミットメントの金額及び利息の条件について、契約当事者間で同意の上で変更できるものと定められており、必ずしも全額が貸出実行されるものではありません。また、当社の資金が不足している場合には、資金を借り入れる場合があります。</p>	貸出コミットメントの総額	30,000,000千円	貸出実行残高	16,658,081千円	差引額	13,341,918千円
貸出コミットメントの総額	30,000,000千円						
貸出実行残高	16,658,081千円						
差引額	13,341,918千円						
* 2. 有形固定資産の減価償却累計額	<table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>315,937千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>573,954千円</td> </tr> <tr> <td>リース資産</td> <td>24,094千円</td> </tr> </table>	建物	315,937千円	器具備品	573,954千円	リース資産	24,094千円
建物	315,937千円						
器具備品	573,954千円						
リース資産	24,094千円						

(中間損益計算書関係)

	当中間会計期間 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日

* 1. 減価償却実施額	有形固定資産	63,611千円
	無形固定資産	87,214千円
	リース資産	15,823千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日				
1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項				
株式の種類	当事業年度期首 (株)	当中間会計期間 増加 (株)	当中間会計期間 減少 (株)	当中間会計期間末 (株)
普通株式	38,300	-	-	38,300
2. 配当に関する事項				
配当金支払額				
2025年6月26日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。				
・普通株式の配当に関する事項				
(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・3,850,796千円				
(ロ) 1株当たり配当額・・・・・・・・・・100,543円				
(ハ) 基準日・・・・・・・・・・2025年3月31日				
(ニ) 効力発生日・・・・・・・・・・2025年6月26日				

(リース取引関係)

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

1. リース資産の内容

・有形固定資産 主として、社内システム用ハードウェア(器具備品)であります。

2. リース資産の減価償却の方法

「重要な会計方針」の「3. 固定資産の減価償却の方法」に記載の通りであります。

(金融商品関係)

当中間会計期間(2025年9月30日現在)

1. 金融商品の時価等に関する事項

2025年9月30日現在における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
金銭の信託	302,881	302,881	-
投資有価証券			
その他有価証券	55,840	55,840	-
敷金	474,324	473,379	944
資産計	833,046	832,101	944
リース債務(注3)	105,564	104,695	869
長期未払金(注4)	10,991	10,469	521
負債計	116,556	115,164	1,391

(注1)以下の金融商品については、現金であること、及び短期で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

現金・預金

関係会社短期貸付金

未収委託者報酬

未収収益

未収入金

預り金
未払金（1年内返済予定の長期未払金を除く）
未払費用

（注2）関係会社株式及びその他の関係会社有価証券については、市場価格のない株式等に該当することから、時価を注記しておりません。これらの中間貸借対照表計上額は、それぞれ以下のとおりです。

（単位：千円）

	中間貸借対照表計上額
関係会社株式	
子会社株式	1,647,722
その他の関係会社有価証券	82,100

（注3）リース債務については、1年内返済予定のリース債務を含めております。

（注4）長期未払金については、1年内返済予定の長期未払金を含んでおります。

2. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

- レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価
- レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価
- レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

(1)時価で中間貸借対照表に計上している金融商品

（単位：千円）

	時価			合計
	レベル1	レベル2	レベル3	
金銭の信託（注2）	2,082	304,963	-	302,881
投資有価証券				
其他有価証券	-	55,840	-	55,840
資産計	2,082	360,804	-	358,721

(2)時価で中間貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

（単位：千円）

	時価			合計
	レベル1	レベル2	レベル3	
敷金	-	473,379	-	473,379
資産計	-	473,379	-	473,379
リース債務（注3）	-	104,695	-	104,695
長期未払金（注4）	-	10,469	-	10,469
負債計	-	115,164	-	115,164

（注1）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（銀行勘定貸等）で構成されております。

信託財産のうち、投資信託は基準価額を用いて評価しており、活発な市場における相場価格とはいえないことから、レベル2の時価に分類しております。

信託財産のうち、デリバティブ取引に関しては、株価指数先物の取引所の価額により算定しており、活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、レベル1の時価に分類しております。

信託財産のうち、銀行勘定貸については、取引先金融機関から提供された価格により算定しており、活発な市場における相場価格とはいえないことから、レベル2の時価に分類しております。

投資有価証券

投資信託は基準価額を用いて評価しており、活発な市場における相場価格とはいえないことから、レベル2の時価に分類しております。

敷金

敷金は、回収可能性を反映した将来キャッシュ・フローを残存期間に対応する国債の利回り等で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

リース債務

リース債務の時価については、元金金の合計額を同様の新規リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定しており、レベル2の時価に分類しております。

長期未払金

長期未払金の時価については、新規に同様の契約を行なった場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(注2) 金銭の信託の信託財産のうち、デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、で示しております。

(注3) リース債務については、1年内返済予定のリース債務を含めております。

(注4) 長期未払金については、1年内返済予定の長期未払金を含んでおります。

(有価証券関係)

当中間会計期間(2025年9月30日現在)

その他有価証券

(単位:千円)

	種類	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	証券投資信託	45,559	22,365	23,194
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	証券投資信託	10,281	12,327	2,046
合計		55,840	34,692	21,148

(金銭の信託関係)

当中間会計期間(2025年9月30日現在)

運用目的の金銭の信託

(単位:千円)

	中間貸借対照表計上額	当中間会計期間の損益に含まれた評価差額
運用目的の金銭の信託	302,881	5,117

(収益認識関係)

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	運用報酬	成功報酬	合計
委託者報酬	8,529,657	32,626	8,562,283
運用受託報酬	6,778,943	-	6,778,943
投資助言報酬	59,113	-	59,113
その他営業収益	324,147	-	324,147
合計	15,691,861	32,626	15,724,487

2. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当中間会計期間末において存在する顧客との契約から当中間会計期間の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

顧客との契約から生じた債権等

顧客との契約から生じた債権(期首残高) 7,473,880千円

顧客との契約から生じた債権（期末残高） 8,813,560千円

（*）なお、当中間会計期間の期首及び期末において、顧客との契約から生じた契約資産及び契約負債はありません。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

当社は「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社であり証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として運用（投資運用業）を行っております。また「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っております。

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメントを報告セグメントとしております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

[関連情報]

当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1．製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

(1) 営業収益

（単位：千円）

日本	その他	合計
13,880,574	1,843,912	15,724,487

（注）営業収益は顧客の所在地を基準とし、国ごとに分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

当社は、外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

当中間会計期間 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日	
1株当たり純資産額	644,190円48銭
1株当たり中間純利益金額	57,081円49銭
なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	
（注） 1株当たり純資産額の算定上の基礎	
中間貸借対照表の純資産の部の合計額	24,672,495千円
純資産の部の合計額から控除する金額	-
普通株式に係る中間会計期間末の純資産額	24,672,495千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間会計期間末の普通株式の数	38,300株
1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎	
中間損益計算書上の中間純利益金額	2,186,221千円

普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る中間純利益金額	2,186,221千円
普通株式の期中平均株式数	38,300株

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。)又は子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引又は金融デリバティブ取引を行うこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

(1)定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

(2)訴訟事件その他の重要事項

提出日現在、訴訟事件その他委託会社等に重要な影響を及ぼした事実、及び重要な影響を与えることが予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

- ・名称 三菱UFJ信託銀行株式会社
(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)
- ・資本金の額 324,279百万円(2025年3月末日現在)
- ・事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

<参考情報：再信託受託会社の概要>

- ・名称 日本マスタートラスト信託銀行株式会社
- ・資本金の額 10,000百万円(2025年3月末日現在)
- ・事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額()	事業の内容
株式会社SBI証券	54,323百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
松井証券株式会社	11,945百万円	
マネックス証券株式会社	13,195百万円	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	7,196百万円	
楽天証券株式会社	19,495百万円(注1)	
株式会社八十二長野銀行	52,243百万円(注2)	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
東京海上日動火災保険株式会社	101,994百万円	保険業法に基づき損害保険業を営んでいます。

() 2025年3月末日現在。

(注1) 2024年12月末日現在。

(注2) 2026年1月1日現在。

2【関係業務の概要】

受託会社は、信託財産の保管・管理等を行います。また、当ファンドにかかる信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することがあります。

販売会社は、募集・販売の取扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払い等を行います。

3【資本関係】

資本関係はありません。

第3【その他】

- 1．目論見書の表紙にロゴ・マーク、図案を使用し、委託会社の名称、ファンドの基本的性格等を記載することがあります。
- 2．目論見書の表紙に委託会社の金融商品取引業者登録番号および目論見書の使用を開始する日を記載する場合があります。
- 3．請求目論見書に当ファンドの約款を添付します。
- 4．目論見書の別称として「投資信託説明書（目論見書）」、「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を使用することがあります。
- 5．目論見書は電子媒体として使用されたり、インターネット等に掲載されることがあります。

独立監査人の監査報告書

2025年6月5日

東京海上アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 石井章悟
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 奈良将太郎
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている東京海上アセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第40期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上アセットマネジメント株式会社の2025年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2025年8月29日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 奈良 将太郎

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上セレクション・バランス30の2024年6月21日から2025年6月20日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上セレクション・バランス30の2025年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2025年8月29日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 奈良 将太郎

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上セレクション・バランス50の2024年6月21日から2025年6月20日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上セレクション・バランス50の2025年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2025年8月29日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 奈良 将太郎

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上セレクション・バランス70の2024年6月21日から2025年6月20日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上セレクション・バランス70の2025年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年12月3日

東京海上アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 石井章悟
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 奈良将太郎
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている東京海上アセットマネジメント株式会社の2025年4月1日から2026年3月31日までの第41期事業年度の中間会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、東京海上アセットマネジメント株式会社の2025年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2026年2月27日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 奈良 将太郎

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上セレクション・バランス30の2025年6月21日から2025年12月20日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、東京海上セレクション・バランス30の2025年12月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年6月21日から2025年12月20日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合

は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2026年2月27日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 奈良 将太郎

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上セレクション・バランス50の2025年6月21日から2025年12月20日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、東京海上セレクション・バランス50の2025年12月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年6月21日から2025年12月20日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合

は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2026年2月27日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 奈良 将太郎

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上セレクション・バランス70の2025年6月21日から2025年12月20日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、東京海上セレクション・バランス70の2025年12月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年6月21日から2025年12月20日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合

は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。